平成２６年度版　川を題材とした

# 総合的な学習の時間
# 活動事例集







平成２７年３月

岐阜県県土整備部河川課・砂防課
岐　阜　県　河　川　協　会
岐　阜　県　砂　防　協　会

# はじめに

平成１２年度から始まった小中学校の「総合的な学習の時間」において、川を題材とした学習に取り組む小中学校に対し、岐阜県河川課及び砂防課では、平成１４年度から支援を行ってきました。

また、県では、「清流」の恵みに感謝し、「清流」に育まれた、自然・歴史・伝統・文化・技をふるさとの宝物として、活かし、伝えるため、平成２５年度に「清流の国ぎふ」の基本理念となる「清流の国ぎふ憲章」を発表しました。

この様な背景の下、次の世代を担う子ども達に川への関心や防災意識を高めてもらうため、川の中に入り、川とふれ合いながら学習する場を提供するなど、川を題材とした「総合的な学習の時間」への支援に積極的に取り組んできました。

更に、昨年発生した水難事故のうち、未成年の事故が全体の５割程度を占めていることから、川遊びのルールを伝えることにも努めてきました。

この冊子は、平成２６年度に各土木事務所でお手伝いをさせていただいた活動事例を紹介させていただくものであり、子ども達の環境学習、防災教育を進められる方々に参考としていただければ幸いです。

平成２７年３月

岐阜県県土整備部次長兼河川課長　　岩﨑　福久

砂防課長　　野原　克浩

# 目　　次

はじめに

目　　次

１　支援活動事例・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１
　１）これまでの支援活動の経緯・・・・・・・・・・・・・・・・・　１
　２）平成２６年度支援活動一覧表・・・・・・・・・・・・・・・・　６
　　山県市立高富小学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１０
　　瑞穂市立牛牧小学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１１
　　瑞穂市立本田小学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１２
　　北方町立北方西小学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１３
　　岐阜市立方県小学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１４
　　山県市立高富小学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１５
　　岐阜市立合渡小学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１６
　　岐阜市立長良小学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１８
　　子供塾 for Kaizu・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１９
　　垂井町立岩手小学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２０
　　垂井町立表佐小学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２１
　　水門川の川底学習会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２２
　　養老町立上多度小学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２３
　　海津市立下多度小学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２４
　　大垣市立赤坂小学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２５
　　池田町立池田小学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２６
　　岐阜県立揖斐特別支援学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・２７
　　揖斐川町立谷汲中学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２８
　　大垣市立綾里小学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２９
　　組合立養基小学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３０
　　美濃市立牧谷小学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３１
　　関市立上之保小学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３２
　　関市立武儀東小学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３３
　　関市立博愛小学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３４
　　関市立安桜小学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３５

関市立富野小学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３６
関市立金竜小学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３７
関市立瀬尻小学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３８
郡上市立大和南小学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３９
郡上市立大中小学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４０
郡上市立明宝小学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４１
郡上市立和良小学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４２
七宗町立神渕小学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４３
可児市立広見小学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４４
岐阜県立東濃高等学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４５
川辺町立川辺西小学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４６
御嵩町立上之郷小学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４７
白川町・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４８
白川町立白川小学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４９
美濃加茂市立山手小学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５０
土岐市立鶴里小学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５１
多治見市立池田小学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５２
多治見市立昭和小学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５３
多治見市立南姫小学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５４
瑞浪市立釜戸小学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５５
多治見市立精華小学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５６
多治見市立南姫小学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５７
多治見市立滝呂小学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５８
多治見市立根本小学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５９
多治見市立滝呂小学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　６０
多治見市立市之倉小学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　６１
瑞浪市立土岐小学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　６２
多治見市立精華小学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　６３
多治見市立根本小学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　６４
名古屋市立稲西小学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　６５
多治見市立共栄小学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　６６
土岐市立肥田小学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　６７
多治見市立池田小学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　６８
恵那市立岩邑小学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　６９
恵那市立大井小学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　７０
恵那市立中野方小学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　７１

中津川市立付知南小学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　７２
中津川市立蛭川中学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　７３
下呂市立尾崎小学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　７４
下呂市立宮田小学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　７５
下呂市立尾崎小学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　７６
高山市立宮小学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　７７
高山市立清見小学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　７８
高山市立東小学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　７９
高山市立南小学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　８０
高山市・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　８１
飛騨市立神岡小学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　８２
飛騨市立古川西小学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　８３
岐阜治水会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　８５

２　巻末資料・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　８６

３　支援窓口一覧表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１０７

# 支　援　活　動　事　例

## １)これまでの支援活動の経緯

岐阜県では、次の世代を担う子ども達に身近な川の環境を体感してもらうとともに、私達の暮らしを守る川の役割を知ってもらうことによって、未来の地球環境や水害軽減のための取り組みを考えるパートナーを育むことを目的に、平成１４年度より、川を題材とした「総合的な学習の時間」に取り組まれている小中学校への支援を積極的に行ってきました。

**平成１３年度**

岐阜県内で河川や水辺を利用した自然学習を実践している代表校の先生や関係市町村役場職員、有識者、河川管理者等で「川を利用した自然学習懇談会～教育関係者と河川管理者の実務担当者懇談会～」を開催し、自然学習の結果報告や今後の教育連携のあり方について意見交換し、課題や問題点をまとめ、今後の自然学習を広める方策を検討しました。

**平成１４年度**

学校への支援活動は、８建設事務所、１６市町村、小中学校１９校、２０学年、実施人数 1,000 余名、実施回数４４回の支援を行いました。また、８月には指導者のための河川水質調査研修会、３月には「ぎふ発子供たちによる川のフォーラム２００３～これでわたしも川博士～」を開催しました。

**平成１５年度**

学校への支援活動は、１０建設事務所、１７市町村、小学校２２校、２３学年、実施人数 1,110 名、実施回数４８回の支援を行いました。また、７月には県主催の河川環境メッセにおいて、子供たちの日頃の川に関する取り組みについてのパネル展示や、関連イベントとして、「川の自然観察会」を行いました。

**平成１６年度**

学校への支援活動は、１０建設事務所、１７市町、小中学校１８校、２６学年、実施人数約 1,700 名、実施回数３５回の支援を行いました。また、７月には県主催の河川環境メッセにおいて、子供たちの日頃の川に関する取り組みについてのパネル展示を行いました。

**平成１７年度**

学校への支援活動は、１１建設事務所、１７市町、小中学校２２校、２７学年、実施人数約 1,680 名、実施回数３５回の支援を行いました。また、７月には県主催の河川環境メッセにおいて、子供たちの日頃の川に関する取り組みについてのパネル展示や、環境学習を実施している小学校による学習発表会を行いました。

**平成１８年度**

学校への支援活動は、１０土木事務所、１８市町、小中学校３１校、３３学年、実施人数約 2,050 名、実施回数３９回の支援を行いました。また、７月には県主催の河川環境メッセにおいて、子供たちの日頃の川に関する取り組みについてのパネル展示や、環境学習を実施している小学校による学習発表会を行いました。

※　砂防課所管分も合算。

【内訳】河川課所管分　17 市町、小中学校 27 校、29 学年、実施人数約 1,960 名、実施回数 35 回

砂防課所管分　4 市町、小中学校４校、４学年、実施人数約 90 名、実施回数 4 回

**平成１９年度**

学校への支援活動は、１１土木事務所、１９市町、小中学校４０校、４６学年、実施人数約 2,460 名、実施回数５４回の支援を行いました。また、８月～１１月には県主催の自然共生パネル展において、子供たちの日頃の川に関する取り組みについてのパネル展示を行いました。

※砂防課所管分も合算。

【内訳】河川砂防課合同分 6 市町、小中学校 9 校、10 学年、実施人数約 860 名、実施回数 15 回

河川課所管分 15 市町、小中学校 27 校、32 学年、実施人数約 1,490 名、実施回数 34 回

砂防課所管分　4 市町、小中学校４校、　4 学年、実施人数約 110 名、実施回数５回

**平成２０年度**

学校への支援活動は、１１土木事務所、２１市町、小中学校３９校、４１学年、実施人数約 2,650 名、実施回数４８回の支援を行いました。

※砂防課所管分も合算。

【内訳】河川課砂防課合同分　4 市町、小中学校 4 校、 4 学年、実施人数約 620 名、実施回数 9 回
河川課所管分 15 市町、小中学校 28 校、30 学年、実施人数約 1,550 名、実施回数 32 回
砂防課所管分　6 市町、小中学校 7 校、 7 学年、実施人数約 300 名、実施回数 7 回

**平成２１年度**

学校への支援活動は、１１土木事務所、２０市町、小中学校４６校、５１学年、実施人数約 2,940 名、実施回数５６回の支援を行いました。

※砂防課所管分も合算。

【内訳】河川砂防課合同分 5 市町、小中学校 8 校、10 学年、実施人数約 640 名、実施回数 14 回
河川課所管分 14 市町、小中学校 32 校、30 学年、実施人数約 2,020 名、実施回数 36 回
砂防課所管分　6 市町村、小中学校 6 校、 9 学年、実施人数約 290 名、実施回数 6 回

**平成２２年度**

学校への支援活動は、１１土木事務所、１８市町、小中学校４４校、５１学年、実施人数約 2,790 名、実施回数５９回の支援を行いました。

※砂防課所管分も合算。

【内訳】河川砂防課合同分 3 市、小中学校 9 校、18 学年、実施人数約　230 名、実施回数 8 回
河川課所管分 15 市町、小中学校 32 校、30 学年、実施人数約 2,460 名、実施回数 47 回
砂防課所管分　4 市町、小中学校 4 校、 4 学年、実施人数約　110 名、実施回数 4 回

**平成２３年度**

学校への支援活動は、１１土木事務所、１８市町、小中学校５３校、５３学年、実施人数約 3,340 名、実施回数６６回の支援を行いました。

※砂防課所管分も合算。

【内訳】河川砂防課合同分 3 市、小中学校 8 校、 8 学年、実施人数約　200 名、実施回数 8 回
河川課所管分 16 市町、小中学校 42 校、42 学年、実施人数約 3,080 名、実施回数 55 回
砂防課所管分　3 市町、小中学校 3 校、 3 学年、実施人数約　 60 名、実施回数 3 回

**平成２４年度**

学校への支援活動は、１１土木事務所、２２市町、小中学校４５校、４７学年、実施人数約 3,170 名、実施回数５５回の支援を行いました。

※砂防課所管分も合算。

【内訳】河川砂防課合同分　2 市、小中学校 6 校、 6 学年、実施人数約　324 名、実施回数 6 回
河川課所管分　18 市町、小中学校 33 校、34 学年、実施人数約 2,640 名、実施回数 43 回
砂防課所管分　5 市町、小中学校 6 校、 7 学年、実施人数約 206 名、実施回数 6 回

**平成２５年度**

学校への支援活動は、１１土木事務所、２７市町、小中学校６１校、６９学年、実施人数約 4,000 名、実施回数７５回の支援を行いました。

※砂防課所管分も合算。

【内訳】河川砂防課合同分　4 市、小中学校 9 校、13 学年、実施人数約　420 名、実施回数 11 回
河川課所管分　24 市町、小中学校 47 校、51 学年、実施人数約 3,440 名、実施回数 59 回
砂防課所管分　4 市町、小中学校 5 校、 5 学年、実施人数約 140 名、実施回数 5 回

**平成２６年度**

学校への支援活動は、１１土木事務所、２８市町、小中学校６２校、８５学年、実施人数約 3,790 名、実施回数８０回の支援を行いました。

※砂防課所管分も合算。

【内訳】河川砂防課合同分　5 市町、小中学校 8 校、14 学年、実施人数約　250 名、実施回数 9 回
河川課所管分　26 市町、小中学校 50 校、66 学年、実施人数約 3,410 名、実施回数 66 回
砂防課所管分　4 市町、小中学校 5 校、 5 学年、実施人数約 130 名、実施回数 5 回

（参考）H26 支援校一覧

| | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 山県市立<br>高富小学校 | 2<br>回 | 海津市立<br>下多度小学校 | 1<br>回 | 関市立<br>富野小学校 | 1<br>回 | 白川町 | 1<br>回 | 瑞浪市立<br>土岐小学校 | 1<br>回 | 高山市立<br>清見小学校 | 1<br>回 |
| 瑞穂市立<br>牛牧小学校 | 1<br>回 | 大垣市立<br>赤坂小学校 | 1<br>回 | 関市立<br>金竜小学校 | 1<br>回 | 白川町立<br>白川小学校 | 1<br>回 | 名古屋市立<br>稲西小学校 | 1<br>回 | 高山市立<br>東小学校 | 1<br>回 |
| 瑞穂市立<br>本田小学校 | 2<br>回 | 池田町立<br>池田小学校 | 1<br>回 | 関市立<br>瀬尻小学校 | 1<br>回 | 美濃加茂市立<br>山手小学校 | 1<br>回 | 多治見市立<br>共栄小学校 | 1<br>回 | 高山市立<br>南小学校 | 1<br>回 |
| 北方町立<br>北方西小学校 | 2<br>回 | 岐阜県立<br>揖斐特別支援学校 | 1<br>回 | 郡上市立<br>大和南小学校 | 1<br>回 | 土岐市立<br>鶴里小学校 | 1<br>回 | 土岐市立<br>肥田小学校 | 1<br>回 | 高山市 | 1<br>回 |
| 岐阜市立<br>方県小学校 | 1<br>回 | 揖斐川町立<br>谷汲中学校 | 1<br>回 | 郡上市立<br>大中小学校 | 1<br>回 | 多治見市立<br>池田小学校 | 2<br>回 | 恵那市立<br>岩邑小学校 | 2<br>回 | 飛騨市立<br>神岡小学校 | 1<br>回 |
| 岐阜市立<br>合渡小学校 | 2<br>回 | 大垣市立<br>綾里小学校 | 1<br>回 | 郡上市立<br>明宝小学校 | 1<br>回 | 多治見市立<br>昭和小学校 | 1<br>回 | 恵那市立<br>大井小学校 | 2<br>回 | 飛騨市立<br>古川西小学 | 2<br>回 |
| 岐阜市立<br>長良小学校 | 1<br>回 | 組合立<br>養基小学校 | 1<br>回 | 郡上市立<br>和良小学校 | 1<br>回 | 多治見市立<br>南姫小学校 | 2<br>回 | 恵那市立<br>中野方小学校 | 1<br>回 | 岐阜治水会 | 1<br>回 |
| 子供塾 for Kaizu | 1<br>回 | 美濃市立<br>牧谷小学校 | 1<br>回 | 七宗町立<br>神渕小学校 | 1<br>回 | 瑞浪市立<br>釜戸小学校 | 1<br>回 | 中津川市立<br>付知南小学校 | 1<br>回 | | |
| 垂井町立<br>岩手小学校 | 1<br>回 | 関市立<br>上之保小学校 | 1<br>回 | 可児市立<br>広見小学校 | 1<br>回 | 多治見市立<br>精華小学校 | 2<br>回 | 中津川市立<br>蛭川中学校 | 1<br>回 | | |
| 垂井町立<br>表佐小学校 | 1<br>回 | 関市立<br>武儀東小学校 | 1<br>回 | 岐阜県立<br>東濃高等学校 | 1<br>回 | 多治見市立<br>滝呂小学校 | 2<br>回 | 下呂市立<br>尾崎小学校 | 2<br>回 | | |
| 水門川の<br>川底学習会 | 1<br>回 | 関市立<br>博愛小学校 | 1<br>回 | 川辺町立<br>川辺西小学校 | 1<br>回 | 多治見市立<br>根本小学校 | 2<br>回 | 下呂市立<br>宮田小学校 | 1<br>回 | | |
| 養老町立<br>上多度小学校 | 1<br>回 | 関市立<br>安桜小学校 | 1<br>回 | 御嵩町立<br>上之郷小学校 | 1<br>回 | 多治見市立<br>市之倉小学校 | 1<br>回 | 高山市立<br>宮小学校 | 1<br>回 | | |

## ２)平成26年度　支援活動一覧表

| 事務所 | No. | 支援校名 | H25~継続校 | 分類 | テーマ | 実施時期・対象 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 岐阜 | 1 | 山県市立高富小学校 | ○ | 治水<br>環境<br>安全 | 防災学習と石田川の河川環境<br>石田川の水質を他の川と比べながらパックテストを使って調べよう | 6 月, 11 月･4 年生 |
| | 2 | 瑞穂市立牛牧小学校 | | 環境<br>安全 | パックテストを用いて、近隣の河川環境や水質汚染について学ぶ | 6 月・4 年生 |
| | 3 | 瑞穂市立本田小学校 | ○ | 治水<br>環境<br>安全 | 瑞穂市の河川の水質・生き物 | 6 月・4 年生 |
| | 4 | 北方町立北方西小学校 | ○ | 環境<br>安全 | 糸貫川の生き物と水質 | 7 月, 11 月･4 年生 |
| | 5 | 岐阜市立方県小学校 | | 治水<br>環境 | 伊自良川に生息する水生生物の特徴について学び、川に興味を持ってもらう | 11 月・5 年生 |
| | 6 | 岐阜市立合渡小学校 | ○ | 治水<br>安全 | 集中豪雨・水害について<br>排水機場・逆水樋門の役割 | 11 月・5 年生他 |
| | 7 | 岐阜市立長良小学校 | | 治水 | 長良川の伝統的防災施設（霞堤） | 2 月・5 年生 |
| 大垣 | 8 | 子供塾 for Kaizu | | 環境<br>安全 | カワゲラウォッチング | 6 月・4-6 年生 |
| | 9 | 垂井町立岩手小学校 | | 治水<br>環境<br>安全 | 河川環境を学ぶ | 7 月・1-2 年生 |
| | １０ | 垂井町立表佐小学校 | | 治水<br>環境<br>安全 | 河川環境を学ぶ | 7 月・4 年生 |
| | １１ | 水門川の川底学習会 | ○ | 治水<br>環境 | 水門川の現状や環境等を学ぶ | 7 月・4-6 年生 |
| | １２ | 養老町立上多度小学校 | ○ | 砂防 | 「土砂災害」及び「砂防」について | 10 月・4 年生 |
| | １３ | 海津立下多度小学校 | ○ | 治水<br>環境 | 川の環境について学ぼう | 11 月・3 年生 |
| | １４ | 大垣市立赤坂小学校 | | 治水<br>環境 | 近くを流れる杭瀬川で行われている川の工事と身近な杭瀬川の生物を知ろう！ | 11 月・4 年生 |
| 揖斐 | １５ | 池田町立池田小学校 | ○ | 砂防<br>安全 | 土砂災害とは、土石流とは、<br>砂防えん堤の役割 | 4 月・5 年生 |
| | １６ | 岐阜県立揖斐特別支援学校 | | 環境<br>安全 | 管瀬川調査活動 | 9 月・1-3 年生 |
| | １７ | 揖斐川町立谷汲中学校 | ○ | 治水<br>環境<br>安全 | 管瀬川の水質について<br>管瀬川に生息する生物について<br>身の周りの危険について | 10 月・1 年生 |
| | １８ | 大垣市立綾里小学校 | ○ | 環境<br>砂防 | 杭瀬川の上流の川の様子・生き物<br>人と自然<br>砂防ダムとは | 10 月・3 年生 |
| | １９ | 組合立養基小学校 | | 治水 | 社会科授業「きょう土を開く」<br>粕川に見られる伝統的防災施設である霞堤について学ぼう | 10 月・4 年生 |
| 美濃 | ２０ | 美濃市立牧谷小学校 | ○ | 環境<br>安全 | カワゲラウォッチング、パックテストを通して板取川の環境について学ぶ | 6 月・5 年生 |
| | ２１ | 関市立上之保小学校 | ○ | 環境<br>安全 | カワゲラウォッチング、パックテストを通して津保川の環境について学ぶ | 6 月・4 年生 |

| 事務所 | No. | 支援校名 | H25~継続校 | 分類 | テーマ | 実施時期・対象 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 美濃 | ２２ | 関市立武儀東小学校 | ○ | 環境安全 | パックテストを通して河川の環境について学ぶ | 6月・4年生 |
| | ２３ | 関市立博愛小学校 | ○ | 環境安全 | カワゲラウォッチングとパックテストを通して河川の環境について学ぶ | 7月・5年生 |
| | ２４ | 関市立安桜小学校 | | 環境安全 | カワゲラウォッチングとパックテストを通して河川の環境について学ぶ | 7月・5年生 |
| | ２５ | 関市立富野小学校 | ○ | 環境安全 | カワゲラウォッチングとパックテストを通して河川の環境について学ぶ | 7月・5年生 |
| | ２６ | 関市立金竜小学校 | ○ | 治水 | 昔から伝わる「伝統的防災施設」を学ぶ | 9月・4年生 |
| | ２７ | 関市立瀬尻小学校 | ○ | 治水 | 昔から伝わる「伝統的防災施設」を学ぶ | 11月・6年生 |
| 郡上 | ２８ | 郡上市立大和南小学校 | | 治水環境 | 川を題材にした総合学習 | 6月・4年生 |
| | ２９ | 郡上市立大中小学校 | | 環境 | カワゲラウォッチング | 6月・4年生 |
| | ３０ | 郡上市立明宝小学校 | ○ | 環境砂防 | 土石流と砂防えん堤の役割 | 9月・4年生 |
| | ３１ | 郡上市立和良小学校 | ○ | 砂防安全 | 砂防えん堤の役割と土砂災害に対する備えについて | 1月・5年生 |
| 可茂 | ３２ | 七宗町立神渕小学校 | ○ | 環境 | 川をきれいに | 5月・4年生 |
| | ３３ | 可児市立広見小学校 | ○ | 治水安全 | ２０１０年７月１５日におきた可児川の災害について | 6月・5年生 |
| | ３４ | 岐阜県立東濃高等学校 | | 砂防安全 | 土砂災害から学ぶ、災害にそなえる | 7月・2年生 |
| | ３５ | 川辺町立川辺西小学校 | ○ | 環境安全 | 川をきれいに | 7月・5年生 |
| | ３６ | 御嵩町立上之郷小学校 | ○ | 砂防安全 | ２０１１年９月２０日に御嵩町でおきた災害について | 7月・5年生 |
| | ３７ | 白川町 | | 環境 | 川をきれいに | 8月・小学生他 |
| | ３８ | 白川町立白川小学校 | | 環境砂防安全 | 川をきれいに | 9月・5,6年生 |
| | ３９ | 美濃加茂市立山手小学校 | | 治水安全 | 昭和５８年９月２８日豪雨災害について | 2月・5年生 |
| 多治見 | ４０ | 土岐市立鶴里小学校 | ○ | 治水環境安全 | 河川環境を学ぶ | 5月・4年生 |
| | ４１ | 多治見市立池田小学校 | ○ | 治水環境安全 | 河川環境を学ぶ | 5,10月・4年生 |
| | ４２ | 多治見市立昭和小学校 | ○ | 治水環境安全 | 河川環境を学ぶ | 5月・3年生 |
| | ４３ | 多治見市立南姫小学校 | ○ | 治水環境安全 | 河川環境を学ぶ | 5,6月・4年生 |
| | ４４ | 瑞浪市立釜戸小学校 | ○ | 治水環境安全 | 河川環境を学ぶ | 6月・5年生 |
| | ４５ | 多治見市立精華小学校 | ○ | 治水環境安全 | 河川環境を学ぶ | 6,9月・5年生 |

| 事務所 | No. | 支援校名 | H25~継続校 | 分類 | テーマ | 実施時期・対象 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 多治見 | ４６ | 多治見市立滝呂小学校 | ○ | 治水<br>環境<br>安全 | 河川環境を学ぶ | 6 月・5 年生<br>7 月・2 年生 |
| | ４７ | 多治見市立根本小学校 | ○ | 治水<br>環境<br>安全 | 河川環境を学ぶ | 6, 9 月・4 年生 |
| | ４８ | 多治見市立市之倉小学校 | ○ | 治水<br>環境<br>安全 | 河川環境を学ぶ | 7 月・4 年生 |
| | ４９ | 瑞浪市立土岐小学校 | ○ | 治水<br>環境<br>安全 | 河川環境を学ぶ | 7 月・5 年生 |
| | ５０ | 名古屋市立稲西小学校 | ○ | 治水<br>環境<br>安全 | 河川環境を学ぶ | 9 月・3 年生 |
| | ５１ | 多治見市立共栄小学校 | | 治水<br>環境<br>安全 | 河川環境を学ぶ | 10 月・3 年生 |
| | ５２ | 土岐市立肥田小学校 | ○ | 治水<br>環境<br>安全 | 河川環境を学ぶ | 10 月・3 年生 |
| 恵那 | ５３ | 恵那市立岩邑小学校 | ○ | 治水<br>環境<br>安全 | ダム、災害及び河川環境を学ぶ | 6 月・4 年生 |
| | ５４ | 恵那市立大井小学校 | | 治水<br>環境<br>安全 | 河川環境を学ぶ | 7 月・4 年生 |
| | ５５ | 恵那市立中野方小学校 | ○ | 治水 | ダムの役割を学ぶ | 7 月・4 年生 |
| | ５６ | 中津川立付知南小学校 | | 治水<br>環境<br>安全 | 河川環境を学ぶ | 7 月・4 年生 |
| | ５７ | 中津川立蛭川中学校 | | 治水<br>環境<br>安全 | 河川環境を学ぶ | 7 月・3 年生 |
| 下呂 | ５８ | 下呂市立尾崎小学校 | ○ | 環境<br>安全 | 河川環境を学ぶ<br>土砂災害について | 7 月・4 年生<br>12 月・5 年生 |
| | ５９ | 下呂市立宮田小学校 | ○ | 治水 | ダムの役割について | 7 月・4 年生 |
| 高山 | ６０ | 高山市立宮小学校 | ○ | 治水<br>環境<br>砂防<br>安全 | カワゲラウオッチング<br>川と山の災害について | 5 月・5 年生 |
| | ６１ | 高山市立清見小学校 | | 治水<br>環境<br>砂防<br>安全 | カワゲラウオッチング<br>川と山の災害について | 6 月・4 年生 |
| | ６２ | 高山市立東小学校 | | 環境<br>安全 | カワゲラウオッチング<br>川の安全利用講習 | 7 月・5 年生 |
| | ６３ | 高山市立南小学校 | ○ | 環境<br>安全 | カワゲラウオッチング<br>山と川の安全利用講習 | 7 月・4 年生 |
| | ６４ | 高山市 | ○ | 治水<br>環境<br>砂防<br>安全 | カワゲラウオッチング<br>山と川の安全利用講習 | 7 月・1-6 年生 |
| 古川 | ６５ | 飛騨市立神岡小学校 | | 環境<br>安全 | 身近な河川環境 | 7 月・4 年生 |
| | ６６ | 飛騨市立古川西小学校 | ○ | 治水<br>環境<br>安全 | 身近な河川環境<br>伝統的防災マップを活用した地域防災教育 | 9 月・4 年生<br>11 月・5 年生 |
| 河川課 | ６７ | 岐阜治水会 | | 治水 | 地域を洪水から守る「伝統的防災施設（輪中堤・霞堤）」を学ぶ | 8 月・3-6 年生 |

様式①　　（岐阜土木事務所　河川砂防課）

| 支援学校名 | 山県市立高富小学校 | 担当教員名 | 島戸先生 | 対象学年・人数 | ４年生　３０名 |
|---|---|---|---|---|---|
| 実　施　日 | ６月１０日(火) | | 実施場所 | 高富小学校（石田川） | |
| テ　ー　マ | 「防災学習と石田川の河川環境」<br>河川の水害、及び石田川の今昔や環境について学ぶ | | 分　類 | 治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発 | |
| | | | 連携機関 | | |

学習内容①：川の学習と防災について

水害の恐ろしさや水害対策について説明することで、川についての理解を深め、豪雨時の対応について学習した。



学習内容②：石田川について

航空写真を使用して石田川周辺の変化を確認し、過去の水害をもとに、改修事業の必要性や環境に配慮した施工などについて説明した。



学習内容③：

学習内容④：

【学習結果と考察】

・川に対する知識を得ることで、防災意識を高めることができた。
・昔と比べることで、石田川周辺の土地利用及び環境の変化がわかった。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

・石田川の歴史を知ることで、子ども達に川に興味を持ってもらうことができたと思う。
・過去の水害について説明し、河川改修の必要性を理解してもらえたと思う。

| 備　　考 | |
|---|---|

| 記入者 | 所属：河川第一係 | 氏名：大野　孝之 | 電話番号（内線） | ２７８１ |
|---|---|---|---|---|

様式①　　（岐阜土木事務所　河川砂防課）

| 支援学校名 | 瑞穂市立牛牧小学校 | 担当教員名 | 広瀬先生 | 対象学年・人数 | ４年生　１０５名 |
|---|---|---|---|---|---|
| 実　施　日 | ６月１８日(水) | | 実施場所 | | 牛牧小学校 |
| テ　ー　マ | パックテストを用いて、近隣の河川環境や水質汚染について学ぶ | | 分　類 | 治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発 | |
| | | | 連携機関 | | |

学習内容①：パックテストについて

パックテストについて説明を行い、河川ごとに検査を行った。



学習内容②：テスト結果の取りまとめ

パックテストの結果について取りまとめを行い、各班の結果を比較した。




学習内容③：河川の水質について考察

採水箇所ごとの比較や、ジュースを加えた場合の水質の変化について説明し、考察を行った。



学習内容④：

【学習結果と考察】

・水質調査としてパックテストのやり方を学習した。
・犀川や五六川の上流と下流の水質の違いについて比較するとともに、ジュースを小量加えることでどの程度水質が悪化するのかを確認した。
・河川の水質をきれいに保つことの大切さを学習した。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

・パックテストという簡易な検査を用いて身近にある河川の水質を調べることで、河川について興味を持ってもらえたと思う。
・河川にゴミを捨てることによって水質が悪化することを理解してもらえたと思う。

| 備　　考 | |
|---|---|

| 記入者 | 所属：河川第一係 | 氏名：林　靖弘 | 電話番号（内線） | ２７７９ |
|---|---|---|---|---|

様式①　　（岐阜土木事務所　河川砂防課）

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 支援学校名 | 瑞穂市立本田小学校 | 担当教員名 | 小木曽先生<br>宮島先生 | 対象学年・人数 | ４年生　９１名 |
| 実　施　日 | ６月２３日(月)・２４日(火) | | 実施場所 | | 糸貫川・小学校多目的室 |
| テ　ー　マ | 「瑞穂市の河川の水質・生き物」 | | 分　類 | 治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発 | |
| | | | 連携機関 | | |

学習内容①：河川環境（糸貫川の生き物について）

糸貫川に生息する水生生物を採取し、身近な河川の自然環境について学んだ。



学習内容②：河川環境（糸貫川の生き物について）

糸貫川に生息する水生生物を観察し、図鑑と見比べながら名前を当てるクイズを実施した。
川にどんな生き物が棲んでいるかについて学んだ。



学習内容③：河川環境（瑞穂市内の河川の水質）

瑞穂市の河川（糸貫川・犀川・五六川・中川の上下流）のCODパックテストを全員で実施し、グループごとに取りまとめて発表した。



学習内容④：岐阜土木事務所の仕事

岐阜土木事務所の仕事内容（主に河川砂防の仕事）について紹介した。



【学習結果と考察】

・瑞穂市内の河川ごとの水質の差が確認できた。また上流と下流の水質の違いも学べた。
・身近な河川に触れ合い、そこに生息する水生生物について学べた。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

・学校近隣の河川で生物調査を行うことにより、川への関心が高まったと思う。
・それぞれ３０分程度で実施したが、もう少し時間を確保する必要があった。

| | |
|---|---|
| 備　　考 | |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 記入者 | 所属：河川第一係 | 氏名：小原　光博 | 電話番号（内線） | ２７７９ |

様式①　　（岐阜土木事務所　河川砂防課）

| 支援学校名 | 北方町立北方西小学校 | 担当教員名 | 榎本先生 | 対象学年・人数 | ４年生　４１名 |
|---|---|---|---|---|---|
| 実　施　日 | ７月８日(火)・１１月１１日(火) | | 実施場所 | | 小学校教室・糸貫川 |
| テ　ー　マ | 「糸貫川の生き物と水質」 | | 分　類 | 治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発 | |
| | | | 連携機関 | 北方町役場<br>岐阜県野生生物保護推進委員 | |

学習内容①：糸貫川の生物調査について

小学校の近くを流れる糸貫川で採取した生物について解説を行った。



学習内容②：糸貫川の水質について

ＣＯＤパックテストにより、糸貫川の水と糸貫川の水にジュースを混ぜたものを比較する実験を行い、環境への影響を考える授業を行った。



学習内容③：糸貫川の生物調査について

糸貫川に生息する水生生物を採取し、身近な河川の自然環境について学んだ。



学習内容④：糸貫川の生物調査について

糸貫川で採取した水生生物について解説を行った。
水生生物の特徴により糸貫川の水質について学んだ。



【学習結果と考察】

・身近な河川に棲む生物に関して学ぶことができた。
・糸貫川の水質と空き缶のポイ捨てによる川の汚染について学ぶことができた。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

・河川の締切工事に合わせて生物調査ができたことは良かった。
・採取した魚を児童がじっくり観察することができた。
・ＣＯＤパックテストも一定の成果があったと思う。

| 備　　考 | 11 月 12 日（水）中日新聞（岐阜版）、11 月 17 日（月）岐阜新聞（岐阜版）に総合学習の記事が掲載された。【巻末資料８６頁掲載】<br>子ども達から感想の手紙をいただきました。【巻末資料８７頁掲載】 |
|---|---|

| 記入者 | 所属：河川第一係 | 氏名：小原　光博 | 電話番号（内線） | ２７７９ |
|---|---|---|---|---|

様式①　　（岐阜土木事務所　河川砂防課）

| 支援学校名 | 岐阜市立方県小学校 | 担当教員名 | 川出先生 | 対象学年・人数 | ５年生　１８名 |
|---|---|---|---|---|---|
| 実　施　日 | １１月１２日(水) | | 実施場所 | 伊自良川・岐阜市安食 | |
| テ　ー　マ | 伊自良川に生息する水生生物の特徴について学び、川に興味を持ってもらう | | 分　類 | 治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・安全啓発 | |
| | | | 連携機関 | 岐阜市自然環境課<br>岐阜県野生生物保護推進員（寺町氏） | |

学習内容①：伊自良川に棲む水生生物ついて

伊自良川に生息する水生生物について学び、それぞれの水生生物の特徴について学んだ。



学習内容②：　河川改修について

河川改修について説明することで、岐阜土木事務所の仕事について理解してもらった。



学習内容③：水生生物とのふれあい

採取した水生生物について、直に見て触れ合うことで伊自良川に興味を持ってもらった。



学習内容④：

【学習結果と考察】

・伊自良川の水生生物の種類と特徴について学習し、伊自良川がきれいな川かどうか確認した。
・水生生物を直接見て、触れてもらった。
・河川の改修工事について理解してもらった。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

・身近にある河川の魚類などを見てもらうことで、川について学び、興味を持ってもらえたと思う。

| 備　　考 | |
|---|---|

| 記入者 | 所属：河川第一係 | 氏名：林　靖弘 | 電話番号（内線） | ２７７９ |
|---|---|---|---|---|

様式①　　（岐阜土木事務所　河川砂防課）

| 支援学校名 | 山県市立高富小学校 | 担当教員名 | 島戸先生 | 対象学年・人数 | ４年生　５８名 |
|---|---|---|---|---|---|
| 実　施　日 | １１月１３日(木) | | 実施場所 | 石田川（高富小学校） | |
| テ　ー　マ | 石田川の水質を他の川と比べながらパックテストを使って調べよう | | 分　類 | 治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発 | |
| | | | 連携機関 | | |

学習内容①：パックテストについて

パックテストについて説明を行い、河川ごとに検査を行った。



学習内容②：テスト結果の比較

テスト結果について取りまとめを行い、川の水質について比較した。



学習内容③：

学習内容④：

【学習結果と考察】

・水質調査としてパックテストを学習した。
・石田川の上流、中流、下流及び他の河川と比較して、どこの水がきれいなのかを確認した。
・河川の水質をきれいに保つことの大切さについて学習した。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

・パックテストという簡易な検査で、身近にある河川の水質を調べることで、川の環境について興味を持ってもらえたと思う。

| 備　　考 | |
|---|---|

| 記入者 | 所属：河川第一係 | 氏名：大野　孝之 | 電話番号（内線） | ２７８１ |
|---|---|---|---|---|

様式①　　（岐阜土木事務所　河川砂防課）

| 支援学校名 | 岐阜市立合渡小学校 | 担当教員名 | 杉本先生 | 対象学年・人数 | ５年生　６８名 |
|---|---|---|---|---|---|
| 実　施　日 | １１月１４日(金) | | 実施場所 | 合渡小学校(ワークスペース) | |
| テ　ー　マ | 「集中豪雨・水害について」<br>「排水機場・逆水樋門の役割」 | | 分　類 | 治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発 | |
| | | | 連携機関 | | |

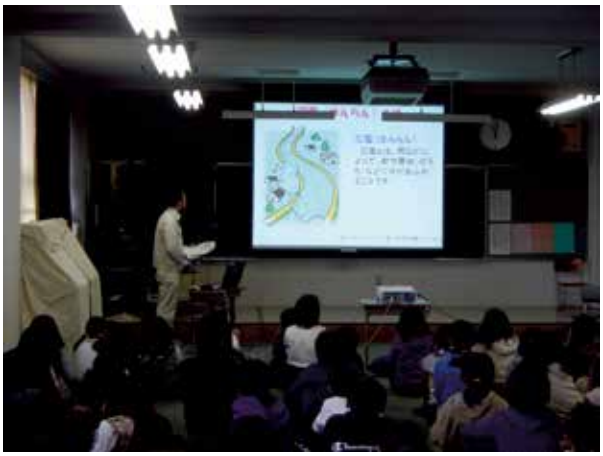
学習内容①：集中豪雨

岐阜県作成のDVD「集中豪雨に備えよう～7.15豪雨災害の教訓～」を鑑賞し、集中豪雨の恐ろしさと豪雨の際の避難方法を学んだ。



学習内容②：水害について

学習用スライドを用いて、洪水の起こり方や過去に起きた水害について学んだ。



学習内容③：逆水樋門と排水機場の役割

排水機場の模型を用いて、逆水樋門と排水機場の役割を学んだ。



学習内容④：

【学習結果と考察】

・過去の災害を紹介することで、集中豪雨等の危険性を学ぶことができた。
・模型を使用することにより、逆水樋門と排水機場の役割をよりわかりやすく学ぶことができた。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

・もともと防災に対する意識が高いクラスであったため、よく理解していただけたと思う。
・近くにある排水機場について説明することにより、水害への意識を高めることができたと思う。

| 備　　考 | |
|---|---|

| 記入者 | 所属：河川第一係 | 氏名：大野　孝之 | 電話番号（内線） | ２７８１ |
|---|---|---|---|---|

様式①　　（岐阜土木事務所　河川砂防課）

| 支援学校名 | 岐阜市立合渡小学校 | 担当教員名 | 杉江教頭 | 対象学年・人数 | 児童等　２３名 |
|---|---|---|---|---|---|
| 実　施　日 | １１月２２日(土) | | 実施場所 | 合渡小学校(ワークスペース) | |
| テ　ー　マ | 「集中豪雨・水害について」<br>「排水機場・逆水樋門の役割」 | | 分　類 | 治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発 | |
| | | | 連携機関 | | |

学習内容①：集中豪雨

岐阜県作成のDVD「集中豪雨に備えよう～7.15豪雨災害の教訓～」を鑑賞し、集中豪雨の恐ろしさと豪雨の際の避難方法を学んだ。



学習内容②：水害について

学習用スライドを用いて、洪水の起こり方や過去に起きた水害について学んだ。



学習内容③：逆水樋門と排水機場の役割

排水機場の模型を用いて、逆水樋門と排水機場の役割を学んだ。



学習内容④：

【学習結果と考察】

・過去の災害を紹介することで、集中豪雨等の危険性を学ぶことができた。
・模型を使用することにより、逆水樋門と排水機場の役割をよりわかりやすく学ぶことができた。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

・排水機場のような治水施設を説明することにより、水害への意識を高めることができたと思う。
・アンダーパス等の増水時の危険箇所を理解していただけたと思う。

| 備　　考 | |
|---|---|

| 記入者 | 所属：河川第一係 | 氏名：大野　孝之 | 電話番号（内線） | ２７８１ |
|---|---|---|---|---|

様式①　　（岐阜土木事務所　河川砂防課）

| 支援学校名 | 岐阜市立長良小学校 | 担当教員名 | 宮川先生<br>鈴木先生 | 対象学年・人数 | ５年生　７０名 |
|---|---|---|---|---|---|
| 実　施　日 | ２月５日(木) | | 実施場所 | | 小学校教室 |
| テ　ー　マ | 「長良川の伝統的防災施設（霞堤）」 | | 分　類 | 治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発 | |
| | | | 連携機関 | | |

| 学習内容①：治水について学ぶ | 学習内容②：模型実験（霞堤の役割について） |
|---|---|
| 長良川の改修経緯と伝統的防災施設（霞堤）を説明し、治水のための工夫について説明した。 | 霞堤の模型に水を流して、霞堤の役割について説明した。 |
|  |  |
| 学習内容③：治水について学ぶ | 学習内容④：模型実験（霞堤の役割について） |
| 長良川の改修経緯と伝統的防災施設（霞堤）を説明し、治水のための工夫について説明した。 | 霞堤の模型に水を流して、霞堤の役割について説明した。 |
|  |  |

| 【学習結果と考察】 | 【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】 |
|---|---|
| ・長良川上流にある霞堤によって下流の岐阜市街地は守られていることを学習した。<br>・霞堤の模型による実験において、実際の水の流れや役割について理解を深めることができた。 | ・長良川の改修と伝統的防災施設について説明を行うことにより、治水への関心が高まったと思う。<br>・模型による実験は、生徒の興味をひくことができて、視覚的に霞堤の役割を学べるので効果的であると感じた。 |

| 備　　考 | |
|---|---|

| 記入者 | 所属：河川第二係 | 氏名：池﨑　毅 | 電話番号（内線） | ２７８１ |
|---|---|---|---|---|

様式①　　（大垣土木事務所　河川砂防課）

| 支援学校名 | 子供塾 for Kaizu | 担当教員名 | 松田市議 | 対象学年・人数 | ４−６年生　３６名 |
|---|---|---|---|---|---|
| 実　施　日 | ６月１５日(日) | | 実施場所 | 徳田谷（三之輪橋上流） | |
| テ　ー　マ | カワゲラウォッチング<br>「ぼくのとこの裏の川には、どんな生き物がすんどるんや？」 | | 分　類 | 治水 ・ 環境 ・ 砂防・ 安全啓発 | |
| | | | 連携機関 | 子供塾 for Kaizu | |

学習内容①：　川とのふれあい方を学ぶ

徳田谷に入って川の危険性を学ぶとともに、どんな場所に生物が生息しているのか、実際に確認した。



学習内容②：徳田谷の生態を学ぶ

採取した水生生物を種類ごとに分けて、どんな生物がどれだけ生息しているのか確認した。



学習内容③：徳田谷の水質を知る

採水した水の PH,透明度、BOD を調べるとともに、家庭排水からの影響等を調べた。



【学習結果と考察】

・徳田谷にはカワゲラが多く生息していた。
・水質は良好であった。
　以上のことから、徳田谷の水質はきれいで、カワゲラ等の生物がたくさん生息している環境であると考えられる。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

・参加者の多くは砂防河川がない平野部に住んでいる小学生であったが、山からの湧水がある地域の素晴らしさを実感したと思う。

| 備　　考 | 岐阜県自然工法管理士（３人参加） |
|---|---|

| 記入者 | 所属：河川係 | 氏名：山田　真嘉 | 電話番号（内線） | ３７２ |
|---|---|---|---|---|

様式①　　（大垣土木事務所　河川砂防課）

| 支援学校名 | 垂井町立岩手小学校 | 担当教員名 | 大脇先生 | 対象学年・人数 | １，２年生　３５名 |
|---|---|---|---|---|---|
| 実　施　日 | ７月１日（火） | | 実施場所 | 岩手川 | |
| テ　ー　マ | 「河川環境を学ぶ」 | | 分　類 | 治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発 | |
| | | | 連携機関 | | |

学習内容①：　川とのふれあい方を学ぶ

岩手川に実際に入り、水生生物の採取を行うことで、どんな場所にどんな魚が生息しているのか学ぶことができた。



学習内容②：岩手川の生態を学ぶ

岩手川で採取した水生生物を種類ごとに分け、生物を観察することで、身近な川にどのような生物が生息しているのか体感できた。



学習内容③：川の危険性について

梅雨時の台風や豪雨により、身近な川がどのように変化するのか、川の危険性について学ぶことができた。



学習内容④：

【学習結果と考察】

・岩手川上流ではアユなどの魚が採取され、身近な川に珍しい魚が生息していることが学習できた。
・岩手川にアユやめずらしい魚が生息していることから、水質は良いと考えられる。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

・川の危険性などについて学習できた。
・身近な川で水生生物を採取することで川への愛着感が持てるようになったと思う。
・学校側の対応がよく、スムーズに学習できた。

| 備　　考 | 岐阜県自然工法管理士（１人参加） |
|---|---|

| 記入者 | 所属：河川係 | 氏名：山田　真嘉 | 電話番号（内線） | ３７２ |
|---|---|---|---|---|

様式①　　（大垣土木事務所　河川砂防課）

| 支援学校名 | 垂井町立表佐小学校 | 担当教員名 | 野原先生 | 対象学年・人数 | ４年生　４０名 |
|---|---|---|---|---|---|
| 実　施　日 | ７月１５日（火） | | 実施場所 | 相川（地蔵橋上流） | |
| テ　ー　マ | 「河川環境を学ぶ」 | | 分　類 | 治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発 | |
| | | | 連携機関 | | |

学習内容①：水生生物をつかまえよう

相川に入って、生き物調査を実施した。
流れが強く、なかなか捕まえることができず、みんな一生懸命だった。



学習内容②：どんな水生生物がいるかな

相川にはどんな生き物がいたのかを調べるため、班ごとに採取した生き物を確認した。



学習内容③：相川の特徴や危険性について

相川の特徴や地形について説明した。
また、川の危険性を説明し、県が行っている事業についても説明した。



学習内容④：

【学習結果と考察】

・身近な川の生態を詳しく調べることで、生物種が多様であることがわかった。
・子ども達は川へ入り、魚を捕まえる機会が少ないためか、魚を捕まえる子ども達は生き生きとしていた。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

・身近な相川とふれあうことで、愛着がわき、これからも大事にしていこうという意識が芽生えたと思う。
・河川内のペットボトル等のゴミを発見することで、環境についても理解されるようにしたい。

| 備　　考 | 岐阜県自然工法管理士（２人参加） |
|---|---|

| 記入者 | 所属：河川係 | 氏名：山田　真嘉 | 電話番号（内線） | ３７２ |
|---|---|---|---|---|

様式①　　（大垣土木事務所　河川砂防課）

| 支援学校名 | 水門川の川底学習会 | 担当教員名 | ― | 対象学年・人数 | ４−６年生　４０名 |
|---|---|---|---|---|---|
| 実　施　日 | ７月２６日(土) | | 実施場所 | | 水門川（貴船広場周辺） |
| テ　ー　マ | 「第 13 回歩いて観よう水門川クリーン作戦」水門川の現状や環境等を学ぶ | | 分　類 | 治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発 | |
| | | | 連携機関 | 水門川クリーン作戦実行委員会 | |

学習内容①：　水門川の生態を学ぶ

水門川に実際に入って、水生生物の採取を行うことで、どんな場所に生物が生息しているかを学ぶことができた。



学習内容②：水門川の環境を学ぶ

水門川がどのような状態であるか、また、ゴミを拾うことで環境を保つことを学んだ。



学習内容③：水生生物を学ぶ①

水生生物の捕獲方法や各種生物の居場所を知り、どのような生物がどの程度生息しているのかを学ぶことができた。



学習内容④：水生生物を学ぶ②

水生生物の名前や種類を知り、体型や特徴を学ぶことができた。



【学習結果と考察】

- 水門川はドジョウ、アユ、ヨシノボリ、ボラ、スズキ、ニゴイ、フナなどの在来種が多くみられた。
- 海にいるスズキが水門川で捕獲されたことに小学生は驚いていた。
- 水門川には多種多様な生物が生息し、良好な河川環境であると考えられる。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 子ども達は、川の中に魚がたくさんいることに驚いていた。また、スズキがいたことにより、川が海と繋がっていることを実感していた。
- 魚以上にゴミが多いことにも驚いていたため、ハリヨが棲めるようなきれいな川にしたいという、環境に対する興味を持つようになった。

| 備　　考 | 岐阜県自然工法管理士（１５人参加） |
|---|---|

| 記入者 | 所属：河川係 | 氏名：山田　真嘉 | 電話番号（内線） | ３７２ |
|---|---|---|---|---|

様式①　　（大垣土木事務所　河川砂防課）

| 支援学校名 | 養老町立上多度小学校 | 担当教員名 | 河井先生 | 対象学年・人数 | ４年生　２８名 |
|---|---|---|---|---|---|
| 実　施　日 | １０月２日(木) | | 実施場所 | | 小倉谷（砂防えん堤、護岸） |
| テ　ー　マ | 「土砂災害」及び「砂防」について | | 分　類 | 治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発 | |
| | | | 連携機関 | | |

学習内容①：土砂災害と砂防について

土砂災害には、「土石流」「がけ崩れ」「地すべり」があること。また、その発生原因や規模を知ることで、土砂災害から身を守る方法を学習した。



学習内容②：地元の特徴を学ぶ

当地域は養老山系の扇状地に位置し、小倉谷が家や道路などより高い所を流れていること。また、近年西濃地域で土砂災害が実際に起きていることを学習した。



学習内容③：砂防施設の役割について（模型実験）

土石流に対する砂防えん堤やがけ崩れに対する擁壁の機能について、模型を使うことで分かり易く学習できた。



学習内容④：砂防施設の役割について（現地見学）

現地見学により、砂防えん堤の大きさを実際に見て、土石流の恐ろしさを肌で感じることができた。



【学習結果と考察】

・教室のスライドで見た土石流の映像と現地見学で実際の砂防えん堤を比較することで、土石流の恐ろしさを学ぶことができた。
・模型実験では、砂防施設があると、家や橋などの被害が少なくなることを理解できた。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

・土砂災害の恐ろしさや砂防施設の役割について、映像及び模型、現地見学により体感することで、より分かり易くなるよう、配慮した。
・毎年、４年生を対象に総合学習を行うことで、児童を通じて家庭から地域住民までが「土砂災害」について理解し、もしもの時に避難する方法などを考えていただくことを期待している。

| 備　　考 | 岐阜県自然工法管理士（２人参加） |
|---|---|

| 記入者 | 所属：砂防係 | 氏名：伊藤　隆 | 電話番号（内線） | ３７５ |
|---|---|---|---|---|

様式①　　（大垣土木事務所　河川砂防課）

| 支援学校名 | 海津市立下多度小学校 | 担当教員名 | 安藤先生 | 対象学年・人数 | ３年生　１８名 |
|---|---|---|---|---|---|
| 実　施　日 | １１月６日(木) | | 実施場所 | 津屋川 | |
| テ　ー　マ | 「川の環境について学ぼう」<br>津屋川の環境や特徴を学ぶ | | 分　類 | 治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発 | |
| | | | 連携機関 | 海津市役所　建設課 | |

学習内容①：　津屋川の特徴を学ぶ

津屋川の特徴を知るために堤防を散策し、他の河川との違いや養老山地との関わりを学習した。



学習内容②：パックテストについて

パックテストについて説明を行い、河川ごとに検査を行った。



学習内容③：テスト結果の比較

テスト結果について取りまとめを行い、川の水質を比較をした。



学習内容④：

【学習結果と考察】

・パックテストによって、家庭から流されている物がどれだけ川の水質に影響があるのかを比較して学習することができた。
・ハリヨ池（津屋川）などの湧水地と川とではどれくらい水質に違いがあるのか学習できた。
・河川の水質をきれいに保つことの大切さを学習できた。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

・パックテストという簡易な検査で、身近にある河川の水質を調べることで、川に興味を持ってもらえたと思う。
・ハリヨ等の水質のきれいな川に棲む魚への影響について学習することができた。

| 備　　考 | 岐阜県自然工法管理士（１人参加） |
|---|---|

| 記入者 | 所属：河川係 | 氏名：山田　真嘉 | 電話番号（内線） | ３７２ |
|---|---|---|---|---|

様式①　　（大垣土木事務所　河川砂防課）

| 支援学校名 | 大垣市立赤坂小学校 | 担当教員名 | 高見教頭 | 対象学年・人数 | ４年生　７１名 |
|---|---|---|---|---|---|
| 実　施　日 | １１月４日(火) | | 実施場所 | 杭瀬川（赤坂大橋上流） | |
| テ　ー　マ | 「近くを流れる杭瀬川で行われている川の工事と身近な杭瀬川の生物を知ろう！」 | | 分　類 | 治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発 | |
| | | | 連携機関 | | |

学習内容①：　杭瀬川の工事について学ぶ

学校の近くを流れる杭瀬川で、水を流れやすくするための河川工事について学習した。



学習内容②：杭瀬川の環境を学ぶ

工事によって逃げ場を失った水生生物を自然工法管理士等が捕獲し、保護された生物を観察することで杭瀬川の環境について学習した。



学習内容③：水生生物を学ぶ①

大垣市の天然記念物である杭瀬川のホタルについて、その幼虫と餌になるカワニナの現状を観察した。



学習内容④：水生生物を学ぶ②

ホタルやカワニナだけでなく、その外の水生生物も保護し、生息環境について学習した。



【学習結果と考察】

・杭瀬川には、ホタルをはじめ、スナヤツメ、カジカ、などの希少種が多いことが分かった。また、その外にもドジョウ、アユ、ヨシノボリ、ニゴイ、フナなどの在来種が多くみられ、多種多様な生物が生息する河川であることが分った。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

・子ども達は身近な川の中に魚がたくさんいることに驚いていた。また実際に生物とふれあうことで、生物保護の意識を高めてもらえたと思う。

| 備　　考 | 岐阜県自然工法管理士（１５人参加） |
|---|---|

| 記入者 | 所属：河川係 | 氏名：山田　真嘉 | 電話番号（内線） | ３７２ |
|---|---|---|---|---|

様式①　　（揖斐土木事務所　河川砂防課）

| 支援学校名 | 池田町立池田小学校 | 担当教員名 | 五十川先生 | 対象学年・人数 | ５年生　６２名 |
|---|---|---|---|---|---|
| 実　施　日 | ４月２５日(金) | | 実施場所 | 大津谷（大津谷公園） | |
| テ　ー　マ | 土砂災害とは<br>土石流とは<br>砂防えん堤の役割 | | 分　類 | 治水・環境・砂防・安全啓発 | |
| | | | 連携機関 | 池田町建設課 | |

学習内容①：「砂防えん堤」って何？

現地にて「砂防えん堤」とは何か説明した。
また、「土砂災害」、「土石流」、「砂防」についても説明し、砂防の用語について学んだ。



学習内容②：土砂災害について

土砂災害について、模型とパネルを用いて説明を行った。土砂災害の現象とその対策について学んだ。



学習内容③：砂防えん堤の役割

模型によって砂防えん堤が有る場合と無い場合の現象を比べることで、砂防えん堤の役割を学んだ。



学習内容④：自分たちにできること

パネルでは、砂防えん堤の役割の他、自分たちにできることとして、避難所を調べておく、避難袋を用意しておくことも説明した。



【学習結果と考察】

- 自然災害はどのようにして発生するか、どんなところに危険があるかを学んだ。
- 土石流の現象や砂防えん堤の役割について、実際に模型を動かしながら学んだ。
- 砂防施設の役割について学んだ。
- 土石流の現象を学ぶために、模型は非常に分かりやすいアイテムであることが確認できた。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 住んでいる地区から見える山の中に、このような大きな施設があることを再認識し、その役割について理解することができたと思う。
- 資料を用意して、話をするだけではなく、パネルや模型を用いることで、印象強い説明ができた。
- 分かりやすい説明を心がけたが、更に工夫する余地があると思う。次回からは、対象者の年齢や経験等に応じて、平易な言葉で説明する必要があると感じた。

| 備　　考 | 岐阜県自然工法管理士　１人参加 |
|---|---|

| 記入者 | 所属：河川砂防係 | 氏名：上野公彦、永井耕輔 | 電話番号（内線） | ３４２ |
|---|---|---|---|---|

様式①　　（揖斐土木事務所　河川砂防課）

| 支援学校名 | 岐阜県立揖斐特別支援学校 | 担当教員名 | 鈴木先生 | 対象学年・人数 | １−３年生　２１名 |
|---|---|---|---|---|---|
| 実　施　日 | ９月２９日(月) | | 実施場所 | 管瀬川(揖斐川町谷汲名礼) | |
| テ　ー　マ | 管瀬川調査活動 | | 分　類 | 治水・環境・砂防・安全啓発 | |
| | | | 連携機関 | 揖斐川町谷汲振興事務所 | |

学習内容①：水質調査の体験

パックテスト(ＣＯＤ、ＰＨ)を実施した。



学習内容②：水生生物の採取

管瀬川に入って川に棲む生物の採取を行い、生息状況や河川（河床）の状況を確認した。



学習内容③：水生生物を学ぶ

採取した水生生物を自ら仕分けて、有識者より説明を受けた。



学習内容④：　急な増水に備えて

川は急な増水など危険な一面もあることを説明した。



【学習結果と考察】

- 水質調査を行なった結果、良好な水質であった。
- 採取した水生生物の種類は多く、良好な河川環境であることが分かった。
- 自然豊かな地域であることを認識し、自然環境を保全していくことが重要である。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 初めてタモ網を持って川に入った生徒もいたが、楽しく学ぶことができたと思う。
- 実際に川に入ることで、川の流れや水温、河床材料等の状況を実感することができたと思う。
- 採取した水生生物の種類が多かったことから、身近にある河川環境に対する意識の芽生えたのではないかと思う。

| 備　　考 | 岐阜県希少生物保護推進員　１人参加<br>岐阜県自然工法管理士　２人参加 |
|---|---|

| 記入者 | 所属：河川砂防係 | 氏名：大野哲也、上野公彦 | 電話番号（内線） | ３４２ |
|---|---|---|---|---|

様式①　　（揖斐土木事務所　河川砂防課）

| 支援学校名 | 揖斐川町立谷汲中学校 | 担当教員名 | 久保田先生 | 対象学年・人数 | １年生　２７名 |
|---|---|---|---|---|---|
| 実　施　日 | １０月７日（火） | | 実施場所 | 管瀬川 | |
| テ　ー　マ | 管瀬川の水質について<br>管瀬川に生息する生物について<br>身の周りの危険について | | 分　類 | 治水・環境・砂防・安全啓発 | |
| | | | 連携機関 | 揖斐川町役場谷汲振興事務所 | |

**学習内容①：管瀬川の水質調査について**

管瀬川のＰＨ、ＣＯＤを実際に測定することにより、簡易なパックテストの測定方法を学んだ。その結果に基づき、管瀬川の水質状況を把握した。



**学習内容②：生物捕獲調査について**

魚を探し、生物の生息場所を学んだ。また、河川内で活動することにより、川の危険性を体感した。



**学習内容③：管瀬川に生息する生物について**

講師の方に捕獲した生物を説明していただき、地元の河川にどのような生物が生息しているのかを学んだ。



**学習内容④：身の周りの危険について**

県のＨＰで身近の河川の水位や土砂災害の危険区域を簡単に確認できることを学んだ。



**【学習結果と考察】**

- 水質調査の結果、管瀬川は多くの生物が生息できるきれいな河川であることが分かった。
- 実際に管瀬川へ入り、足元を取られる体験や流水の強さを体験することで、川の危険性を学んだ。
- 管瀬川には、絶滅危惧種である「ドンコ」から外来種である「アメリカザリガニ」など多種多様の生物が生息していることを理解した。
- 各県で自然災害が起きているが、地元にも自然災害の危険が潜んでいることを学んだ。

**【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】**

- 子ども達が実際に水辺で遊ぶ機会が少なくなっているため、総合的な学習を通じて、川の危険性を伝えることができた。
- 講師に講義していただくことで、より詳しく印象強い総合的な学習を実施できた。
- ぎふ山と川の危険個所マップを紹介し、身の回りに起こりうる自然災害を確認していただいた。

| 備　　考 | 岐阜県希少生物保護推進員　１人参加<br>岐阜県自然工法管理士　２人参加 |
|---|---|

| 記入者 | 所属：河川砂防係 | 氏名：大野哲也、永井耕輔 | 電話番号（内線） | ３４１ |
|---|---|---|---|---|

様式①　　（揖斐土木事務所　河川砂防課）

| 支援学校名 | 大垣市立綾里小学校 | 担当教員名 | 篠原先生 | 対象学年・人数 | ３年生　２５名 |
|---|---|---|---|---|---|
| 実　施　日 | １０月２７日(月) | | 実施場所 | 大津谷（大津谷公園） | |
| テ　ー　マ | 杭瀬川の上流の川の様子・生き物<br>人と自然<br>砂防ダムとは | | 分　類 | 治水・環境・砂防・安全啓発 | |
| | | | 連携機関 | | |

学習内容①：杭瀬川の上流の川の様子・生き物

小学校の近くの杭瀬川と大津谷を比べて、川の様子や生き物が異なることを説明した。



学習内容②：人と自然

川は生き物が棲んでいるだけではなく、人は川の水を使って生活していること、川は海につながっていることなどを説明した。



学習内容③：土砂災害について

土砂災害について、パネルを用いて説明した。
土砂災害の現象とその対策について学んだ。



学習内容④：砂防えん堤の役割

模型では、砂防えん堤が有る場合と無い場合の現象を比べることで、砂防えん堤の役割について学んだ。



【学習結果と考察】

- 小学校の近くの杭瀬川と大津谷を比べたことで、川の様子や生き物が異なることを理解できたと思う。
- 人は川の恩恵を受けて生活しており、川を身近なものとして関心を持ってもらえたと思う。
- 土石流の現象や砂防えん堤の役割について、実際に模型を動かしながら学んだ。
- 土石流の現象を学ぶために、模型は非常に分かりやすいアイテムであることが確認できた。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 砂防だけでなく、人と自然についても説明したことで河川環境への理解が得られたと思う。
- 資料を用意して話をするだけではなく、パネルや模型を用いることで、印象強い説明ができた。
- 分かりやすい説明を心がけたが、更に工夫する余地があると思う。学校からのオーダーに応えることはもちろん、対象者の年齢や経験等に応じて、平易な言葉で説明する必要があると感じた。

| 備　　考 | 岐阜県自然工法管理士　２人参加 |
|---|---|

| 記入者 | 所属：河川砂防係 | 氏名：大野哲也、上野公彦 | 電話番号（内線） | ３４２ |
|---|---|---|---|---|

様式①　　（揖斐土木事務所　河川砂防課）

| 支援学校名 | 組合立養基小学校 | 担当教員名 | 永田先生 | 対象学年・人数 | ４年生　２３名 |
|---|---|---|---|---|---|
| 実　施　日 | １０月３０日(木) | | 実施場所 | 養基小学校４年２組 | |
| テ　ー　マ | 社会科授業「きょう土を開く」<br>粕川に見られる伝統的防災施設である霞堤について学ぼう | | 分　類 | 治水・環境・砂防・安全啓発 | |
| | | | 連携機関 | | |

学習内容①：霞堤はどのような仕組だったのだろう

粕川の霞堤について、先生と児童とで別時限に現場見学をしてきたことを復習した。




学習内容②：模型実験をしてみよう

霞堤がない場合として、色水を模型に流すことによって、下流市街地に水が溢れるまでの時間を児童達と声を合わせて確認した。



学習内容③：模型実験をしてみよう

霞堤がある場合として、下流市街地に水が溢れるまでの時間を児童達と声を合わせて確認した。
また、霞堤から水が引く様子も確認した。



学習内容④：霞堤のまとめ

実験後に、霞堤が水の勢いや量を調整することによって人々の暮らしを守っていたことを確認した。



【学習結果と考察】

・社会科の授業として、実際に粕川の霞堤について現場見学を行いながら何時間も学習しているため、模型実験を児童の目の前で行うことによって、その仕組みについて児童たちの理解はより深まったと思われる。
・先人の知恵によって作られた霞堤が身近にあることを学習した。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

・模型実験は、設置場所によって思うような結果が出なかったため、前日までに教室での設置実験が必要であり、事前準備は入念に行う必要があると感じた。

| 備　　考 | 岐阜県自然工法管理士　３人参加 |
|---|---|

| 記入者 | 所属：河川砂防係 | 氏名：大野哲也、藤原雅司 | 電話番号（内線） | ３４１ |
|---|---|---|---|---|

様式①　　（美濃土木事務所　河川砂防課）

| 支援学校名 | 美濃市立牧谷小学校 | 担当教員名 | 吉田先生 | 対象学年・人数 | ５年生　１８名 |
|---|---|---|---|---|---|
| 実　施　日 | ６月１６日(月) | | 実施場所 | 板取川（蕨生大橋上流） | |
| テ　ー　マ | カワゲラウォッチング、パックテストを通して板取川の環境について学ぶ | | 分　類 | 治水・環境・砂防・安全啓発 | |
| | | | 連携機関 | | |

学習内容①：板取川の様子、水生生物の生息の様子

小学校の近くを流れる板取川に実際に入って河川水の水温や流速、歩きにくさなどを体感し、どのような場所に水生生物が生息しているかを学んだ。



学習内容②：指標生物による板取川の水質判定

自分たちで捕獲した水生生物を種類ごとに分類し、判定用の下敷などを参考に指標生物を確認し、板取川の水質を判定した。



学習内容③：パックテストによる板取川の水質判定

直接採取した河川水をパックテストにより水質調査した。
河川水との比較として、味噌汁やジュースなどを水道水で希釈したものでもパックテストを実施した。



学習内容④：水難事故に合わないために

水難事故にあわないために心掛けることについて説明した。



【学習結果と考察】

- 捕獲した生物：カワゲラ、ヒラタカゲロウ、オオヤマカゲロウ、コカゲロウ、タニガワカゲロウ、マダラカゲロウ、ヒゲナガカワトビケラ、ヒラタドロムシ
- 指標生物による水質判定：きれい～すこしきたない
- 水道水で 1,000 倍に希釈した味噌汁や水生生物調査の結果から板取川の水質が良好であることを学んだ。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 見た目には非常にきれいに思えていた板取川の水は実際には少し汚れていたことに一様に驚いた様子が印象的であった。
- 味噌汁を 1 滴たらした 1 リットルの水道水を自らパックテストし、魚が棲めない環境であることにも驚いていた。
- 河川環境を保全することの重要性を感じていたと思う。

| 備　　考 | 6 月 21 日(土)中日新聞（中濃版）、6 月 19 日(木)岐阜新聞（中濃版）に総合学習の記事が掲載された。【巻末資料８８頁掲載】子ども達から感想の手紙をいただきました。【巻末資料８９頁掲載】<br>岐阜県自然工法管理士（２人参加） |
|---|---|

| 記入者 | 所属：河川係 | 氏名：遠藤協一 | 電話番号（内線） | ３２１ |
|---|---|---|---|---|

様式①　　（美濃土木事務所　河川砂防課）

| 支援学校名 | 関市立上之保小学校 | 担当教員名 | 長尾先生 | 対象学年・人数 | ４年生　７名 |
|---|---|---|---|---|---|
| 実　施　日 | ６月１９日(金) | | 実施場所 | 津保川（和田野橋下流） | |
| テ　ー　マ | カワゲラウォッチング、パックテストを通して津保川の環境について学ぶ | | 分　類 | 治水・環境・砂防・安全啓発 | |
| | | | 連携機関 | | |

学習内容①：津保川の様子、水生生物の生息の様子

小学校の近くを流れる津保川に実際に入って河川水の水温や流速、川の深さなどを体感し、どのような場所に水生生物が生息しているかを学んだ。



学習内容②：指標生物による津保川の水質判定

自分たちで捕獲した水生生物を種類ごとに分類、判定用の下敷などを参考に指標生物を確認し、津保川の水質を判定した。



学習内容③：パックテストによる津保川の水質判定

直接採取した河川水をパックテストにより水質調査した。
河川水との比較として、味噌汁やジュースなどを水道水で希釈したものでもパックテストを実施した。



学習内容④：水難事故に合わないために

水難事故にあわないために心掛けることについて説明した。



【学習結果と考察】

- 捕獲した生物：カワゲラ、コカゲロウ、カワゲラ、タニガワカゲロウ、ヒゲナガカワトビケラ、ヒラタドロムシ、コオニヤンマ、ヘビトンボ、サナエトンボ、ハグロトンボ
- 指標生物による水質判定：きれい～すこしきたない
- 水道水で1,000倍に希釈した味噌汁と津保川の河川水をパックテストで比較したり、水生生物調査の結果から津保川の水質が概ね良好であることを学んだ。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 学校や家のすぐそばを流れている津保川ではあるが、日頃触れ合うことが少ないように感じられた。
- 調査では指標Ⅲのヒラタドロムシの個体数が最も多かったことから、児童たちは津保川が思った以上に汚れていると感じていた。
- 自分たちは川を汚さないように努めたいという意識が芽生えたように思われる。

| 備　　考 | 岐阜県自然工法管理士（１人参加） |
|---|---|

| 記入者 | 所属：河川係 | 氏名：遠藤協一 | 電話番号（内線） | 321 |
|---|---|---|---|---|

様式①　　（美濃土木事務所　河川砂防課）

| 支援学校名 | 関市立武儀東小学校 | 担当教員名 | 土屋先生 | 対象学年・人数 | ４年生　１４名 |
|---|---|---|---|---|---|
| 実　施　日 | ６月２６日(木) | | 実施場所 | 小学校 | |
| テ　ー　マ | パックテストを通して河川の環境について学ぶ | | 分　類 | 治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発 | |
| | | | 連携機関 | | |

学習内容①：　河川環境全般と水難事故防止啓発

パワーポイントで河川環境と水難事故にあわないための心構えについて説明した。



学習内容②：津保川の河川水の採取

学校の近くを流れる津保川まで歩き、直接河川水を採取した。



学習内容③：パックテストによる水質判定

各児童が家庭から持ってきた日常生活から発生する汚れた水（米のとぎ汁やお風呂の水、食器洗いの水など）と津保川の河川水、味噌汁やジュースの 1000 倍希釈水などをパックテストにより比較した。



学習内容④：

【学習結果と考察】

・各児童はいくつかの検体を使ってパックテストを実施した。
・少しの汚れでも河川水に及ぼす影響は大きいことが分かった。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

・味噌汁の 1000 倍希釈水の COD 値は魚が棲めない環境であることに驚いた様子であった。
・河川環境を保全する意識が根付いたように感じた。

| 備　　考 | 岐阜県自然工法管理士（２人参加） |
|---|---|

| 記入者 | 所属：河川係 | 氏名：遠藤協一 | 電話番号（内線） | ３２１ |
|---|---|---|---|---|

様式①　　（美濃土木事務所　河川砂防課）

| 支援学校名 | 関市立博愛小学校 | 担当教員名 | 松葉先生 | 対象学年・人数 | ５年生　３６名 |
|---|---|---|---|---|---|
| 実　施　日 | ７月１日(木) | | 実施場所 | 武儀川 | |
| テ　ー　マ | カワゲラウォッチングとパックテストを通して河川の環境について学ぶ | | 分　類 | 治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発 | |
| | | | 連携機関 | | |

**学習内容①：武儀川の様子、水生生物の生息の様子**

小学校の近くを流れる武儀川に実際に入って河川水の水温や流速、歩きにくさなどを体感し、どのような場所に水生生物が生息しているかを学んだ。



**学習内容②：指標生物による武儀川の水質判定**

自分たちで捕獲した水生生物を種類ごとに分類し、判定用の下敷などを参考に指標生物を確認し、武儀川の水質を判定した。



**学習内容③：パックテストによる水質判定**

学校の理科室に戻って、武儀川の河川水と味噌汁やジュースの 1000 倍希釈水などをパックテストにより比較した。



**学習内容④：水難事故防止の啓発**

「水辺のハンドブック」を使用して水難事故にあわないようにするためのポイントについて説明した。



**【学習結果と考察】**

- 捕獲した生物：カワゲラ、ヒゲナガカワトビケラ、ヒラタドロムシ、サナエトンボ
- 指標生物による水質判定：きれい～すこしきたない
- 水道水で 1,000 倍に希釈した味噌汁と河川水の水質比較や水生生物調査の結果から武儀川の水質が概ね良好であることを学んだ。

**【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】**

- カワゲラウォッチングでは、少し汚れた川に棲む生物が多く捕獲されたことで児童たちは残念がっていた。
- 味噌汁を 1000 倍の水で希釈しても魚が棲む水質にならないことをパックテストで学び、人間生活が河川環境に及ぼす影響について考えたことで、身近な川の環境をよりよくしていきたい、という思いが感じられた。

| 備　　考 | ７月２日（水）中日新聞（中濃版）、７月２日（水）岐阜新聞（中濃版）に総合学習の記事が掲載された。【巻末資料９０頁掲載】<br>岐阜県自然工法管理士（２人参加） |
|---|---|

| 記入者 | 所属：河川係 | 氏名：遠藤協一 | 電話番号（内線） | ３２１ |
|---|---|---|---|---|

様式①　　（美濃土木事務所　河川砂防課）

| 支援学校名 | 関市立安桜小学校 | 担当教員名 | 石木先生 | 対象学年・人数 | ５年生　９１名 |
|---|---|---|---|---|---|
| 実　施　日 | ７月４日(金) | | 実施場所 | 関川（春日橋下流） | |
| テ　ー　マ | カワゲラウォッチングとパックテストを通して河川の環境について学ぶ | | 分　類 | 治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発 | |
| | | | 連携機関 | 関市役所 | |

学習内容①：関川の様子、水生生物の生息の様子

小学校の近くを流れる関川に実際に入って河川水の水温や流速、におい、歩きにくさなどを体感し、どのような場所に水生生物が生息しているかを学んだ。



学習内容②：指標生物による武儀川の水質判定

自分たちで捕獲した水生生物を種類ごとに分類し、判定用の下敷などを参考に指標生物を確認し、関川の水質を判定した。



学習内容③：パックテストによる水質判定

関川の水を採取し、味噌汁やジュースの 1000 倍希釈水などと一緒にパックテストを実施し、COD 値の比較をした。



【学習結果と考察】

- 捕獲した生物：ウズムシ、サワガニ、カワニナ、コオニヤンマ、コガタシマトビケラ、ヒラタドロムシ、タニシ、ヒル、ミズカマキリ、アメリカザリガニ
- 指標生物による水質判定：すこしきたない～きたない
- 水道水で 1,000 倍に希釈した味噌汁と河川水の水質比較や水生生物調査の結果から関川の環境をもう少し改善したいと考える児童が多かった。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 関市内の市街地を流れている関川は、遊歩道などが整備されており身近な川ではあるが、河川内に入るのは初めての児童がほとんどであった。
- 残念ながらカワゲラを発見できず、ヒラタドロムシやカワビルなど汚れた水の指標生物が多く発見された。その結果を残念に思う児童が多く、身近な関川の河川環境の改善に関心を持つことができた思われる。

| 備　　考 | 子ども達から感想の手紙をいただきました。【巻末資料９１・９２頁掲載】<br>岐阜県自然工法管理士（２人参加） |
|---|---|

| 記入者 | 所属：河川係 | 氏名：遠藤協一 | 電話番号（内線） | ３２１ |
|---|---|---|---|---|

様式①　　（美濃土木事務所　河川砂防課）

| 支援学校名 | 関市立富野小学校 | 担当教員名 | 児山先生 | 対象学年・人数 | ５年生　２０名 |
|---|---|---|---|---|---|
| 実　施　日 | ７月１６日(水) | | 実施場所 | 小野川 | |
| テ　ー　マ | カワゲラウォッチングとパックテストを通して河川の環境について学ぶ | | 分　類 | 治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発 | |
| | | | 連携機関 | | |

学習内容①：小野の様子、水生生物の生息の様子

小学校の近くを流れる小野川に実際に入って河川水の水温や流速、歩きにくさなどを体感し、どのような場所に水生生物が生息しているかを学んだ。



学習内容②：指標生物による小野川の水質判定

自分たちで捕獲した水生生物を種類ごとに分類し、判定用の下敷などを参考に指標生物を確認し、小野川の水質を判定した。



学習内容③：パックテストによる水質判定

小野川の水を採取し、味噌汁やジュースの 1000 倍希釈水などと一緒にパックテストを実施し、COD 値の比較をした。



学習内容④：水難事故防止の啓発

川遊びの際に注意する点などを説明した。

【学習結果と考察】

・捕獲した生物：オオヤマトンボ、コオニヤンマ、コカゲロウ、スジエビ、ヘビトンボ、カワニナシマトビケラ、ヒラタドロムシ、カワニナ、ヒル
・指標生物による水質判定：すこしきたない
・水道水で 1,000 倍に希釈した缶コーヒーと河川水の水質比較や水生生物調査の結果から小野川の環境をもう少し改善したいと考える児童が多かった。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

・小学校のグランド横を流れる小野川は児童たちにとって身近な存在である。カワゲラウォッチングではカワゲラは確認できず、ヒラタドロムシやカワニナが多く捕獲された。児童たちは小野川の水質が少し汚れていたことを残念に思っていた。
・川岸の草地には遊泳魚が多く確認され、川に関心を持てるようにもなった。
・河川環境全般に興味を持つようになったのではないかと感じた。

| 備　　考 | 子ども達から感想の手紙をいただきました。【巻末資料９３頁掲載】<br>岐阜県自然工法管理士（１人参加） |
|---|---|

| 記入者 | 所属：河川係 | 氏名：遠藤協一 | 電話番号（内線） | ３２１ |
|---|---|---|---|---|

様式①　　（美濃土木事務所　河川砂防課）

| 支援学校名 | 関市立金竜小学校 | 担当教員名 | | 対象学年・人数 | ４年生　１２０名 |
|---|---|---|---|---|---|
| 実　施　日 | ９月５日(金) | | 実施場所 | 金竜小学校 | |
| テ　ー　マ | 「防災を学ぶ」<br>昔から伝わる「伝統的防災施設」を学ぶ | | 分　類 | 治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発 | |
| | | | 連携機関 | | |

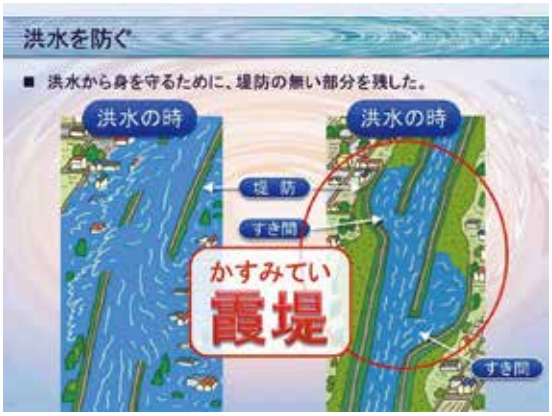
学習内容①：長良川を学ぶ

学校の近くを流れる長良川の普段の様子を知るとともに、河川の仕組み、過去に流域で起きた災害、災害の恐ろしさについて学んだ。



学習内容②：霞堤を学ぶ

昔から伝わる「伝統的防災施設」である霞堤の仕組みを知るとともに、その機能、通常の河川堤防との違いを学んだ。




学習内容③：学校近くの霞堤の場所、機能を学ぶ

霞堤が学校の近くにあることを知るとともに、川の水が増えると霞堤がどのように機能するのか、霞堤がなぜこの地域に存在しているのかをアニメーション動画を通して学んだ。



学習内容④：霞堤の働きを体感する

霞堤の模型を使用し、実際に霞堤がどのような働きをするのか体感し、霞堤の中に建物を建てたらどうなるのか、これから霞堤をどうしていったらよいか考えた。



【学習結果と考察】

・金竜小学校の校舎からは霞堤や内堤の陸閘、開口部から浸水する農地が一望できるため、身近な土地が治水上重要な役割を果たしていることを実感することができた。
・パワーポイントによる座学のみでは霞堤の機能がわかりづらいが、模型を使って実験することで理解ができたようであった。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

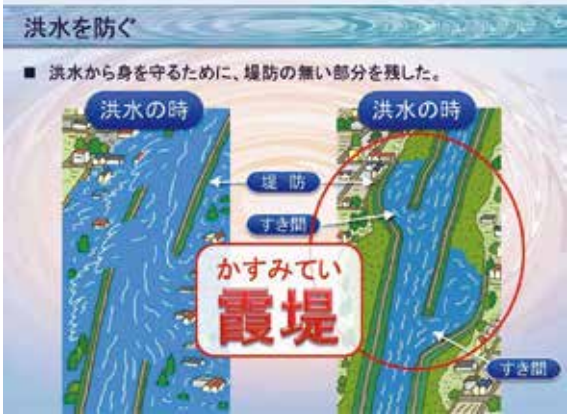
・霞堤の機能を小学校中学年の児童に説明するのは難しいと感じたが、校舎の窓から堤防開口部の様子を観察したり、模型による実験を通して理解できた様子であった。
・地域特有の防災施設について幅広く伝えるために、施設マップを全児童と先生方に配布し、帰宅後に家の方々に説明してもらうようにも依頼した。

| 備　　考 | ９月６日（土）中日新聞（中濃版）に総合学習の記事が掲載された。【巻末資料９４頁掲載】 |
|---|---|

| 記入者 | 所属：河川係 | 氏名：遠藤協一 | 電話番号（内線） | ３２１ |
|---|---|---|---|---|

様式①　　（美濃土木事務所　河川砂防課）

| 支援学校名 | 関市立瀬尻小学校 | 担当教員名 | | 対象学年・人数 | ６年生　６７名 |
|---|---|---|---|---|---|
| 実　施　日 | １１月２５日(火) | | 実施場所 | 瀬尻小学校 | |
| テ　ー　マ | 「防災を学ぶ」<br>昔から伝わる「伝統的防災施設」を学ぶ | | 分　類 | 治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発 | |
| | | | 連携機関 | | |

| 学習内容①：長良川を学ぶ | 学習内容②：霞堤を学ぶ |
|---|---|
| 学校の近くを流れる長良川の普段の様子を知るとともに、河川の仕組み、過去に流域で起きた災害、災害の恐ろしさについて学んだ。 | 昔から伝わる「伝統的防災施設」である霞堤の仕組みを知るとともに、その機能、通常の河川堤防との違いを学んだ。 |
|  |  |
| 学習内容③：学校近くの霞堤の場所、機能を学ぶ | 学習内容④：霞堤の働きを体感する |
| 霞堤が学校の近くにあることを知るとともに、川の水が増えると霞堤がどのように機能するのか、霞堤がなぜこの地域に存在しているのかをアニメーション動画を通して学んだ。 | 霞堤の模型を使用し、実際に霞堤がどのような働きをするのか体感し、霞堤の中に建物を建てたらどうなるのか、これから霞堤をどうしていったらよいか考えた。 |
|  |  |

| 【学習結果と考察】 | 【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】 |
|---|---|
| ・5年生の授業で輪中などの勉強が終わっていることもあり、霞堤の機能や重要性などについて理解できた様子であった。<br>・身近にある霞堤が、下流に住む人々も守っていることも理解できた。<br>・特に模型実験はわかりやすかったようである。 | ・霞堤について、よく理解できたように感じた。<br>・霞堤は堤防を守るためにあること、自分たちの街だけでなく、岐阜市など下流の地域も守る役割を果たしていること、そんな立派な施設が昔から自分たちの身近に存在していることを誇らしく感じた様子であった。 |

| 備　　考 | |
|---|---|

| 記入者 | 所属：河川係 | 氏名：遠藤協一 | 電話番号（内線） | ３２１ |
|---|---|---|---|---|

様式①　　（郡上土木事務所　河川砂防課）

| 支援学校名 | 郡上市立大和南小学校 | 担当教員名 | 滝下先生 | 対象学年・人数 | ４年生　１６名 |
|---|---|---|---|---|---|
| 実　施　日 | ６月１２日(木) | | 実施場所 | 栗巣川（　徳永橋上流　） | |
| テ　ー　マ | 川を題材にした総合学習 | | 分　類 | 治水 ・環境・ 砂防 ・ 安全啓発 | |
| | | | 連携機関 | | |

**学習内容①：　川について学ぶ**

川は、一度にまとまった雨が降ると恐ろしい状態になることを学んだ。



**学習内容②：COD パックテストによる水質調査**

川で採取した水の COD ﾊﾟｯｸﾃｽﾄを行った。
また、風呂水（100 倍希釈）や米のとぎ汁（1,000 倍希釈）も同様にﾊﾟｯｸﾃｽﾄを行った。



**学習内容③：川とのふれあい方を学ぶ**

栗巣川に入って水生生物を採取することで、川の歩き方や水生生物がどのような場所に棲んでいるかなどを学んだ。



**学習内容④：水生生物の調査**

採取した水生生物を調べることにより、川の状況（川のきれいさの判断基準となる生物）がわかり、川に親しみを持つことができた。



**【学習結果と考察】**

- 栗巣川の COD は２～４ppm であった。
- 水生生物について、昆虫ではカゲロウやトビゲラが、魚類ではカワヨシノボリが確認され、水生生物による水のきれいさの判断はⅠであった。

**【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】**

- 水質調査では生活排水（風呂水や米のとぎ汁）と栗巣川の水を比較したため、川の水のきれいさに驚いている児童がいた。
- 川の中で水生生物を採取するときの児童はいきいきしていた。
- 水害の説明では、どのような被害があったかを画像を使うなどして工夫した。
- 防災に関心が持てるよう努力していきたい。

| 備　　考 | 6 月 14 日（土）の岐阜新聞（中濃版）に総合学習の記事が掲載された。【巻末資料９５頁掲載】<br>子ども達から感想の手紙をいただきました。【巻末資料９５頁掲載】 |
|---|---|

| 記入者 | 所属：河川係・砂防係 | 氏名：三宅伸也・森田茂樹・矢代照彦 | 電話番号（内線） | ３４４ |
|---|---|---|---|---|

様式①　　（郡上土木事務所　河川砂防課）

| 支援学校名 | 郡上市立大中小学校 | 担当教員名 | 武藤先生 | 対象学年・人数 | ４年生　２２名 |
|---|---|---|---|---|---|
| 実　施　日 | ６月２５日(水) | | 実施場所 | | 長良川(　大島橋下流　) |
| テ　ー　マ | カワゲラウォッチング | | 分　類 | 治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発 | |
| | | | 連携機関 | | |

学習内容①：川とのふれあい方を学ぶ

栗巣川に入って水生生物を採取することで、川の歩き方や水生生物がどのような場所に棲んでいるかなどを学んだ。



学習内容②：水生生物の調査

採取した水生生物を調べることにより、川の状況（川のきれいさの判断基準となる生物）がわかり、川に親しみを持つことができた。



学習内容③：

学習内容④：

【学習結果と考察】

・水生生物について、昆虫ではカゲロウやトビゲラが、魚類ではカワヨシノボリやアジメドジョウが確認され、水生生物による水のきれいさの判断はⅠであった。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

・川の中で水生生物を採取するときの児童はいきいきしていた。

| 備　　考 | 6 月 17 日　大中小学校にて事前打合せ<br>子ども達から感想の手紙をいただきました。【巻末資料９６頁掲載】 |
|---|---|

| 記入者 | 所属：河川係・砂防係 | 氏名：三宅伸也・森田茂樹・矢代輝彦 | 電話番号（内線） | ３４３ |
|---|---|---|---|---|

様式①　　（郡上土木事務所　河川砂防課 ）

| 支援学校名 | 郡上市立明宝小学校 | 担当教員名 | 古橋先生 | 対象学年・人数 | ４年生　１１名 |
|---|---|---|---|---|---|
| 実　施　日 | ９月１６日(火) | | 実施場所 | | 教室・吉田川(上坂本えん堤) |
| テ　ー　マ | 土石流と砂防えん堤の役割<br>＝郡上市明宝の上坂本えん堤＝ | | 分　類 | 治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発 | |
| | | | 連携機関 | 郡上市 | |

学習内容①：砂防えん堤と災害について学ぶ

現地に向かう前に、教室で砂防えん堤の必要性と災害についての学習を実施し、活発な質問や意見があった。



学習内容②：魚道について学ぶ

上坂本えん堤への道中、吉田川のえん堤に多くの魚道があることをパンフレットを使って説明した。



学習内容③：魚道の中の様子を観察

観察窓から魚道の中の様子を観察した。



学習内容④：魚道の中の様子を観察

箱めがねで魚道の中の様子を観察した。



【学習結果と考察】

- 学校の身近にある川に多くの砂防えん堤があり、自分たちの生活が砂防えん堤によって守られていることを学習した。
- 土石流の映像や災害の事例を見ることで、その怖さを知り、えん堤の必要性を再認識した。
- 魚道の構造を知ることで、魚がどのようにして遡上しているのか、魚の道が川の下流から上流まで繋がっていることなどを理解することができた。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 事前に映像を使って土石流の様子を見せることで川の怖さを実感し、砂防えん堤の必要性を深く理解できたと思われる。
- 移動途中のバスの中から、多くの砂防えん堤の存在が確認でき、えん堤によって自分たちの生活が守られていることを理解してもらうことができたと思われる。
- 魚道にアマゴを放流し観察を行うことで、魚道についてより興味をもってもらうことができた思われる。

| 備　　考 | 7 月 28 日(月) 明宝小学校で事前打ち合わせ。<br>9 月 10 日(水) 上坂本えん堤（魚道）での現場状況確認（担当教員立会） |
|---|---|

| 記入者 | 所 属：砂防係 | 氏 名： 三宅伸也・河村光輝・矢代照彦 | 電話番号（内線） | ３４１ |
|---|---|---|---|---|

様式①　　（郡上土木事務所　河川砂防課）

| 支援学校名 | 郡上市立和良小学校 | 担当教員名 | 古田先生 | 対象学年・人数 | ５年生　１８名 |
|---|---|---|---|---|---|
| 実　施　日 | １月２０日(火) | | 実施場所 | 教　室 | |
| テ　ー　マ | 砂防えん堤の役割と<br>土砂災害に対する備えについて | | 分　類 | 治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発 | |
| | | | 連携機関 | | |

**学習内容①：砂防えん堤の役割について学ぶ**

土砂災害のビデオにより土石流の恐ろしさと砂防えん堤の役割について学習した。



**学習内容②：土砂災害への対応について**

土砂災害の前ぶれや、災害にあわないための日頃の準備について学習した。
また、今年度の郡上市内の災害について説明した。



**学習内容③：模型による土石流のしくみを体験**

模型を用いて土石流の仕組みや砂防えん堤の効果を学習した。また、班ごとにビーズ土石流を発生させ、えん堤の効果を体感した。



**学習内容④：川の危険性について**

川は楽しいところでもあるが、危険な場所でもあるということ、川遊びをする際の注意点を説明した。



**【学習結果と考察】**

- 地元を流れる河川でも、大雨などで土石流が発生することを子ども達が認識した。
- 土石流の映像を見ることでその怖さを知り、えん堤の必要性を学習した。
- 模型実験を通じて、砂防えん堤の効果を理解することができた。
- 自分たちの生活が砂防えん堤によって守られていることや土砂災害に対して日ごろからの備えが大切であることが理解できた。

**【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】**

- 土石流の映像や模型実験により土石流について学習し、砂防えん堤の必要性を理解できたと思う。
- 土砂災害に対して、日ごろから備えておくべきことを理解できたと思う。
- 土砂災害に対する地域防災の大切さを再認識でき、防災につながる砂防事業の進め方を理解してもらうことができたと思う。

| 備　　考 | １２月９日(火)　和良小学校で事前打ち合わせ。 |
|---|---|

| 記入者 | 所属：砂防係 | 氏名：三宅伸也・河村光輝・矢代照彦 | 電話番号（内線） | ３４１ |
|---|---|---|---|---|

様式①　　（可茂土木事務所　河川砂防課）

| 支援学校名 | 七宗町立神渕小学校 | 担当教員名 | 田口先生 | 対象学年・人数 | ４年生　１３名 |
|---|---|---|---|---|---|
| 実　施　日 | ５月２９日(木) | | 実施場所 | 神淵川（中切橋下流） | |
| テ　ー　マ | 「川をきれいに」<br>川に棲む生物や水質などを調べて、今の神淵川の姿を知ってもらう | | 分　類 | 治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発 | |
| | | | 連携機関 | 七宗町農林建設課 | |

学習内容①：　川について学ぶ

プロジェクタを用いて計 37 枚のスライドにより、川に棲む生物のこと、水質と生物の関係を説明した。



学習内容②：水質を調べる

ＣＯＤパックテストを行い、醤油やコーヒーが水質にどう影響するか比較するとともに神淵川の水質を調べた。



学習内容③：カワゲラウォッチング

実際に学校の近くの神淵川に入って生物を採取し、どんなところにどんな生物が棲んでいるのかを学んだ。



学習内容④：カワゲラウォッチング

採取した生物の同定や分類・集計を行い、生物に対する理解を深めた。



【学習結果と考察】

- ごくわずかな汚れであっても、水質に大きく影響することがパックテストを通じて児童にも伝わったと思う。
- 水質や川の上下流等によって棲む生物が異なることなど、改めて生物の多様性を確認できた。
- 生物調査において様々な生物を採取することができ、思った以上に種類が多かったことが確認できた。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 質問も多数寄せられ、積極的な姿勢が印象的だった。
- 身近な川であってもまだまだ興味深い面があることを伝えられたと思う。
- 予習をした上で生物を捕まえるという体験は児童にとっても新鮮だったようで、授業の有意義さを感じられた。

| 備　　考 | 5 月 30 日（金）岐阜新聞（中濃版）に総合学習の記事が掲載された。【巻末資料９７頁掲載】<br>6 月 11 日（水）建通新聞に総合学習の記事が掲載された。【巻末資料９７頁掲載】 |
|---|---|

| 記入者 | 所属：河川砂防係 | 氏名：宮崎　啓行 | 電話番号（内線） | ３２５ |
|---|---|---|---|---|

様式①　　（可茂土木事務所　河川砂防課）

| 支援学校名 | 可児市立広見小学校 | 担当教員名 | 大杉先生 | 対象学年・人数 | ５年生　１２９名 |
|---|---|---|---|---|---|
| 実　施　日 | ６月１０日(火) | | 実施場所 | 広見小学校 | |
| テ　ー　マ | 「２０１０年７月１５日におきた可児川の災害について」 | | 分　類 | 治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発 | |
| | | | 連携機関 | | |

学習内容①：　スライドによる説明

平成２２年度に洪水被害を受けた地区の小学校において防災学習を行い、当時の被災状況や、今後の災害への備え等について説明した。



学習内容②：スライドによる説明

写真や図面を多用し、理解しやすいよう配慮した。
災害時の写真を見せることで、災害の怖さを認識してもらった。



学習内容③：児童による体験談の発表

平成２２年度の災害を経験した児童に当時の様子を発表してもらい、より身近なできごととして学んでもらった。



学習内容④：ハザードマップの作り方

自分たちでハザードマップを作成する方法を説明した。



【学習結果と考察】

・当時の写真や新聞記事を用いて説明し、「何が起きたのか」「なぜ起きたのか」などの理解を深められた。
・児童が自らの体験談を語ることで、自身の行動や意識を再認識してもらうことができた。
・講義での説明と、自身の体験の振り返り、級友からの発表という３つの要素により、効果的に災害や防災のことを学習できたように思う。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

・児童も集中して聴講しており、一定の理解がを図れたように思われる。
・体験談等では自発的・積極的な発言が多く、関心の高さと当時の衝撃の大きさが伝わってきた。
・今後の生徒によるハザードマップ作りによって、地元の危険箇所や、避難所等の把握につなげたい。

| 備　　考 | 子ども達から感想の手紙をいただきました。【巻末資料９８頁掲載】 |
|---|---|

| 記入者 | 所属：河川砂防係 | 氏名：宮崎　啓行 | 電話番号（内線） | ３２５ |
|---|---|---|---|---|

様式①　　（可茂土木事務所　河川砂防課）

| 支援学校名 | 岐阜県立東濃高等学校 | 担当教員名 | 吉田先生 | 対象学年・人数 | ２年生　６名 |
|---|---|---|---|---|---|
| 実　施　日 | ７月２日（水） | | 実施場所 | 東濃高校 | |
| テ　ー　マ | 「土砂災害から学ぶ、災害にそなえる」 | | 分　類 | 治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発 | |
| | | | 連携機関 | | |

学習内容①：　スライドによる説明

平成２３年度に土砂災害を受けた地区の学校において防災学習を行い、当時の状況の説明や、今後の災害への備え等について説明した。



学習内容②：スライドによる説明

プロジェクタを利用して計４５枚のスライドにより説明した。当時の写真や図面を多用し、生徒が理解しやすいように配慮した。



学習内容③：生徒による体験談の発表

自分自身や家族の体験談と、そこから学んだ点などを自発的に発表してもらい、より身近なできごととして共有することができた。



学習内容④：御嵩町のハザードマップ等の紹介

御嵩町の土砂災害ハザードマップや土砂災害警戒情報のパンフレットて説明し、各家庭でも活用してもらうよう呼びかけた。



【学習結果と考察】

・当時の写真や新聞記事を用いて説明し、「何が起きたのか」「なぜ起きたのか」などの理解を深められた。
・生徒が自らの体験談を語ることで、自身の行動や意識を再認識してもらうことができた。
・講義での説明と、自身の体験の振り返り、級友からの発表という３つの要素により、効果的に災害や防災のことを学習できたように思う。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

・高校生ということもあり、土石流、がけ崩れ、地すべりの違いや災害の復旧方法等、詳しい説明ができ、多くのことを知ってもらえたと思われる。
・体験談等では自発的・積極的な発言が多く、関心の高さと当時の衝撃の大きさが伝わってきた。

| 備　　考 | |
|---|---|

| 記入者 | 所属：河川砂防係 | 氏名：宮崎　啓行 | 電話番号（内線） | ３２５ |
|---|---|---|---|---|

様式①　　（可茂土木事務所　河川砂防課）

| 支援学校名 | 川辺町立川辺西小学校 | 担当教員名 | 若泉先生 | 対象学年・人数 | ５年生　４２名 |
|---|---|---|---|---|---|
| 実　施　日 | ７月３日（木） | | 実施場所 | 雄鳥川 | |
| テ　ー　マ | 「川をきれいに」<br>川にすむ生物や水質などを調べて、今の雄鳥川のすがたを知ってもらう。 | | 分　類 | 治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発 | |
| | | | 連携機関 | 川辺町産業環境課<br>県中濃振興局環境課 | |

学習内容①：　川における注意事項

身近な川にどのような危険が潜んでいるかを説明し、水難事故の防止を促した。



学習内容②：カワゲラウォッチング

学校近くの雄鳥川に入って生物を採取し、どんなところにどのような生物が棲んでいるのかを学んだ。



学習内容③：カワゲラウォッチング

採取した生物の同定や分類・集計を行い、生物に対する理解を深めた。



学習内容④：

【学習結果と考察】

- 身近な川でも時には命を落とすような危険性があることを認識してもらったと思う。
- 生物調査では様々な生物を採取でき、種類の多さについては想像以上だった。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 生物採取の際に仲間で協力し合う場面も見られるなど、様々な効果があったと思う。
- 自分たちの身近にある川でも、視点を変えたり、探し方を変えれば、さらに興味深いものになることを伝えられたと思う。

| 備　　考 | 子ども達から感想の手紙をいただきました。【巻末資料９９頁掲載】 |
|---|---|

| 記入者 | 所属：河川砂防係 | 氏名：宮崎　啓行 | 電話番号（内線） | ３２５ |
|---|---|---|---|---|

様式①　　（可茂土木事務所　河川砂防課）

| 支援学校名 | 御嵩町立上之郷小学校 | 担当教員名 | 三原先生 | 対象学年・人数 | ５年生　１５名 |
|---|---|---|---|---|---|
| 実　施　日 | ７月１５日(火) | | 実施場所 | 上之郷小学校 | |
| テ　ー　マ | 「２０１１年９月２０日に御嵩町でおきた災害について」 | | 分　類 | 治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発 | |
| | | | 連携機関 | | |

学習内容①：　スライドによる説明

平成２３年度に土砂災害の被害を受けた地区の小学校において防災学習を行い、当時の状況の説明や、今後の災害への備え等について説明した。



学習内容②：スライドによる説明

モニターを利用して計４７枚のスライドにより説明した。当時の写真や図面を多用し、児童が理解しやすいように配慮した。



学習内容③：児童による体験談の発表

自分自身や家族の体験談や、そこから学んだ点等を自発的に発表してもらい、より身近なできごととして共有することができた。



学習内容④：御嵩町のハザードマップ等の紹介

御嵩町の土砂災害ハザードマップや土砂災害警戒情報のパンフレットについて説明し、各家庭でも活用してもらうよう呼びかけた。



【学習結果と考察】

・当時の写真や記事を用いて「何が起きたのか」「なぜ起きたのか」などの理解を図った。
・災害時の情報収集や避難方法について説明し、児童の防災意識を高められた。
・児童が自らの体験を語ることで、自身の行動や意識を再認識することができた。
・講義での説明と、自身の体験の振り返り、級友の発表という３つの要素により、効果的に災害や防災のことを学習できたように思われる。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

・児童も集中して聴講しており、一定の理解が図れたように思われる。
・多くの児童が積極的に体験談を発表したことから、それだけ衝撃的な災害であったことが伝わってきた。
・次年度以降も災害が発生した地区の小学校において継続的に実施するようにしたい。

| 備　　考 | |
|---|---|

| 記入者 | 所属：河川砂防係 | 氏名：宮崎　啓行 | 電話番号（内線） | ３２５ |
|---|---|---|---|---|

様式①　　（可茂土木事務所　河川砂防課）

| 支援学校名 | 白川町 | 担当教員名 | | 対象学年・人数 | 児童　１０名 |
|---|---|---|---|---|---|
| 実　施　日 | ８月５日（火） | | 実施場所 | 赤川・白川 | |
| テ　ー　マ | 「川をきれいに」<br>川に棲む生物や水質などを調べて、今の赤川・白川の姿を知ってもらおう | | 分　類 | 治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発 | |
| | | | 連携機関 | 白川町建設環境課<br>美濃白川どんぐり会 | |

学習内容①：　川について学ぶ

町長及び美濃白川どんぐり会の講師により、赤川と白川の現状や過去のカワゲラウォッチングの調査結果等を説明した。



学習内容②：カワゲラウォッチング

川に入って生物を採取し、どんなところにどんな生物が棲んでいるのかを学んだ。



学習内容③：カワゲラウォッチング

採取した生物の同定や分類・集計を行った。



学習内容④：カワゲラウォッチング

採取し生物から、川の水質を判断した。
また、美濃白川どんぐり会の講師による生物の生態や特徴の説明があった。



【学習結果と考察】

- 赤川と白川に棲む生物や水質を知ることができ、地元の川についての理解を深められた。
- 川に棲む生物の生態や特徴を知ることができ、そこにいる生物から水質も判断することができるようになった。
- 生物調査において様々な生物を採取することができ、種類も多かったことが確認できた。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 積極的に生物を採取し、楽しくカワゲラウォッチングができたと思われる。
- 保護者と同伴できている児童もおり、親子の交流が深まり、有意義であったと思われる。

| 備　　考 | 岐阜県自然工法管理士（1 人参加） |
|---|---|

| 記入者 | 所属：河川砂防係 | 氏名：宮崎　啓行 | 電話番号（内線） | ３２５ |
|---|---|---|---|---|

様式①　　（可茂土木事務所　河川砂防課）

| 支援学校名 | 白川町立白川小学校 | 担当教員名 | 桂川先生 | 対象学年・人数 | ５，６年生　２０名 |
|---|---|---|---|---|---|
| 実　施　日 | ９月２９日(月) | | 実施場所 | 新田谷 | |
| テ　ー　マ | 「川をきれいに」<br>川にすむ生物や水質などを調べて、今の新田谷の姿を知ってもらう。 | | 分　類 | 治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発 | |
| | | | 連携機関 | 美濃白川どんぐり会 | |

学習内容①：新田谷について学ぶ

事前に職員が捕獲した生物などを見せて、新田谷にどのような生物がいるのかを学習した。



学習内容②：水質を調べる

パックテストを行い、新田谷の水質を調べた。



学習内容③：護岸工事について

破損した護岸や流された岩を見て、水の流れの強さを実感してもらった。



学習内容④：護岸工事について

今後、新田谷を修繕していくにあたり、環境に配慮するためにどんな工夫されるのかを学習した。



【学習結果と考察】

- 新田谷に棲む生物や水質を知ることができ、地元の谷に対する理解を深めた。
- 通常の護岸ブロックとポーラス型との違いを知り、土木工事では環境に配慮するために、様々な工夫が施されていることを学習できた。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 土木工事において、どのように環境に配慮しているかを理解してもらえたと思う。
- 今後、新田谷を経過観察していき、工事によって谷がどう変わるのか、水質や生物にはどれくらい影響があるのかを確認していきたい。

| 備　　考 | 岐阜県自然工法管理士（２人参加） |
|---|---|

| 記入者 | 所属：河川砂防係 | 氏名：宮崎　啓行 | 電話番号（内線） | ３２５ |
|---|---|---|---|---|

様式①　　（可茂土木事務所　河川砂防課）

| 支援学校名 | 美濃加茂市立山手小学校 | 担当教員名 | 長谷川先生 | 対象学年・人数 | ５年生　９０名 |
|---|---|---|---|---|---|
| 実　施　日 | ２月９日(月) | | 実施場所 | | 山手小学校 |
| テ　ー　マ | 「昭和５８年９月２８日豪雨災害について」 | | 分　類 | 治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発 | |
| | | | 連携機関 | | |

学習内容①：　スライドによる説明

昭和５８年度に起きた豪雨災害について、当時の被災状況や、今後の災害の備え等について説明した。



学習内容②：スライドによる説明

プロジェクタを利用して、計５１枚のスライドにより説明した。写真や図を多用し、生徒が理解しやすいように配慮した。



学習内容③：スライドによる説明

当時の写真を見せることで、災害の怖さを認識してもらった。



学習内容④：

【学習結果と考察】

・当時の写真や新聞記事を用いて説明し、「何が起きたのか」「なぜ起きたのか」などの理解を深められた。
・災害当時、小学５年生で被災した市役所職員の話を聞き、災害の悲しい体験を繰り返してほしくないという思いを伝えることができた。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

・児童も集中して聴講しており、一定の理解が図れたように思われる。
・山手小学校は災害の危険が比較的に少ない土地に立地しているため、児童の災害の経験がなかった。したがって、今回の災害学習は、危機感を持ってもらうのに効果的だったと思われる。

| 備　　考 | 2 月 17 日（火）建通新聞に総合学習の記事が掲載された。【巻末資料１００頁掲載】 |
|---|---|

| 記入者 | 所属：河川砂防係 | 氏名：宮崎　啓行 | 電話番号（内線） | ３２５ |
|---|---|---|---|---|

様式①　　（多治見土木事務所　河川砂防課）

| 支援学校名 | 土岐市立鶴里小学校 | 担当教員名 | 小木曽先生 | 対象学年・人数 | ４年生　７名 |
|---|---|---|---|---|---|
| 実　施　日 | ５月１４日(水) | | 実施場所 | 妻木川（学校前） | |
| テ　ー　マ | 「河川環境を学ぶ」<br>川の現状や川とのふれあい方を学ぶ | | 分　類 | 治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発 | |
| | | | 連携機関 | 多治見市土岐川観察館 | |

学習内容①：川とのふれあい方を学ぶ

水生生物がどんな場所にいるのか、川の形状はどうなっているのか、どんな場所が危険なのかを実際に体験しながら川の大切さを学んだ。



学習内容②：川の水質を知る

川で採取した水の水質（ｐＨ、透視度、ＣＯＤ）を検査し、同場所で採取した水生生物の種類の両方から、川がどの程度きれいなのかを学び発表した。



学習内容③：川の生態を学ぶ

川で採取した水生生物を種類ごとに分け、個々の生物の名称や特徴を調べ、身近な川にどんな生き物がどれくらいどうやって生息しているかを学んだ。



学習内容④：川の危険性について

降雨による増水、川の形状による急な深さや流れの変化等川に潜む危険、また治水の必要性について学んだ。



【学習結果】

・pH　7.0　　・透視度　86
・ＣＯＤ　5
・採取した水生生物　14 種類
　カワムツ、カワヨシノボリ、アブラハヤ、ドジョウ、ギンブナ、カマツカ
　ミナミヌマエビ、アメリカザリガニ、オニヤンマ、ギンヤンマ、コオニヤンマ、ヤマサナエ、コオイムシ、トノサマガエル

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

・少人数であったため、一人一人に時間をかけて生物の捕まえ方等を教えることができた。
・写真を用いながら、河川にある構造物が私たちの命や財産を守る役割を果たしているということを説明した。
・子ども達も真剣に話を聞いており、理解してくれたと思う。
・夢中で水生生物を捕まえていて、楽しみながら学習することができていたように思う。

| 備　　考 | 岐阜県自然工法管理士（１人参加） |
|---|---|

| 記入者 | 所属：河川砂防係 | 氏名：遠藤　栄亮 | 電話番号（内線） | ３２０ |
|---|---|---|---|---|

様式①　　（多治見土木事務所　河川砂防課）

| 支援学校名 | 多治見市立池田小学校 | 担当教員名 | 石田先生 | 対象学年・人数 | ４年生　６５名 |
|---|---|---|---|---|---|
| 実　施　日 | ５月２３日(金) | | 実施場所 | 大原川（宝親水公園） | |
| テ　ー　マ | 「河川環境を学ぶ」<br>川の現状や川とのふれあい方を学ぶ | | 分　類 | 治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発 | |
| | | | 連携機関 | 多治見市土岐川観察館 | |

学習内容①：川とのふれあい方を学ぶ

水生生物がどんな場所にいるのか、川の形状はどうなっているのか、どんな場所が危険なのかを実際に体験しながら川の大切さを学んだ。



学習内容②：川の水質を知る

川で採取した水の水質（ｐＨ、透視度、ＣＯＤ）を検査し、同場所で採取した水生生物の種類の両方から、川がどの程度きれいなのかを学び発表した。



学習内容③：川の生態を学ぶ

川で採取した水生生物を種類ごとに分け、個々の生物の名称や特徴を調べ、身近な川にどんな生き物がどれくらいどうやって生息しているかを学んだ。



学習内容④：川の危険性について

降雨による増水、川の形状による急な深さや流れの変化等川に潜む危険、また治水の必要性について学んだ。



【学習結果】

・pH　7.0　　・透視度　100＋
・ＣＯＤ　5
・採取した水生生物　18 種類
　オイカワ、カワムツ、カワヨシノボリ、アブラハヤ、モツゴ、ドジョウ、アカザ、ブルーギル、ミナミヌマエビ、スジエビ、アメリカザリガニ、オニヤンマ、ハグロトンボ、ギンヤンマ、ヒゲナガカワトビケラ、アメンボ、ウシガエル、サカマキガ

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

・護岸や階段の役割を説明し、河川工事の重要性を説明した。子ども達は真剣に話を聞いており、内容を十分理解してもらえたように思われる。
・河川内に水深の深いところが多数存在しており、子ども達に危険であることを説明し、近づかいように努めた。
・積極的に学習に参加する様子が確認できたため、川への関心が高まったと思われる。

| 備　　考 | 岐阜県自然工法管理士（１人参加） |
|---|---|

| 記入者 | 所属：河川砂防係 | 氏名：加藤　知也 | 電話番号（内線） | ３１９ |
|---|---|---|---|---|

様式①　　（多治見土木事務所　河川砂防課）

| 支援学校名 | 多治見市立昭和小学校 | 担当教員名 | 今井先生 | 対象学年・人数 | ３年生　４７名 |
|---|---|---|---|---|---|
| 実　施　日 | ５月２９日(木) | | 実施場所 | | 笠原川（土岐川合流点） |
| テ　ー　マ | 「河川環境を学ぶ」<br>川の現状や川とのふれあい方を学ぶ | | 分　類 | 治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発 | |
| | | | 連携機関 | 多治見市土岐川観察館 | |

学習内容①：川とのふれあい方を学ぶ

水生生物がどんな場所にいるのか、川の形状はどうなっているのか、どんな場所が危険なのかを実際に体験しながら川の大切さを学んだ。



学習内容②：川の水質を知る

川で採取した水の水質（ｐＨ、透視度、ＣＯＤ）を検査し、同場所で採取した水生生物の種類の両方から、川がどの程度きれいなのかを学び発表した。



学習内容③：川の生態を学ぶ

川で採取した水生生物を種類ごとに分け、個々の生物の名称や特徴を調べ、身近な川にどんな生き物がどれくらいどうやって生息しているかを学んだ。



学習内容④：川の危険性について

降雨による増水、川の形状による急な深さや流れの変化等川に潜む危険、また治水の必要性について学んだ。



【学習結果】

・pH　7.0　・透視度　10
・ＣＯＤ　8
・採取した水生生物　14 種類
　オイカワ、カワムツ、カワヨシノボリ、モツゴ、カマツカ、ギンブナ
　ミナミヌマエビ、スジエビ、アメリカザリガニ、コオニヤンマ、コヤマトンボ、ハグロトンボ、アメンボ

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

・魚道の役割等を説明し、河川工事が必ずしも自然を壊しているわけではないことを説明した。子ども達は興味深そうに話を聞いており、関心を持ってもらえたと思う。
・子ども達は水生生物の名前を聞いたり、飼い方を聞いたりと関心を持って学習に取り組んでおり、河川への親しみをもってくれたと思われる。

| 備　　考 | |
|---|---|

| 記入者 | 所属：河川砂防係 | 氏名：遠藤　栄亮 | 電話番号（内線） | ３２０ |
|---|---|---|---|---|

様式①　　（多治見土木事務所　河川砂防課）

| 支援学校名 | 多治見市立南姫小学校 | 担当教員名 | 喜多先生 | 対象学年・人数 | ４年生　４３名 |
|---|---|---|---|---|---|
| 実　施　日 | ５月３０日(金) | | 実施場所 | 姫川（安楽寺付近） | |
| テ　ー　マ | 「河川環境を学ぶ」<br>川の現状や川とのふれあい方を学ぶ | | 分　類 | 治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発 | |
| | | | 連携機関 | 多治見市土岐川観察館 | |

学習内容①：川とのふれあい方を学ぶ

水生生物がどんな場所にいるのか、川の形状はどうなっているのか、どんな場所が危険なのかを実際に体験しながら川の大切さを学んだ。



学習内容②：川の水質を知る

川で採取した水の水質（ｐＨ、透視度、ＣＯＤ）を検査し、同場所で採取した水生生物の種類の両方から、川がどの程度きれいなのかを学び発表した。



学習内容③：川の生態を学ぶ

川で採取した水生生物を種類ごとに分け、個々の生物の名称や特徴を調べ、身近な川にどんな生き物がどれくらいどうやって生息しているかを学んだ。




学習内容④：川の危険性について

降雨による増水、川の形状による急な深さや流れの変化等川に潜む危険、また治水の必要性について学んだ。



【学習結果】

- pH　6.5
- 透視度　43
- ＣＯＤ　10
- 採取した水生生物　18 種類
  オイカワ、カワムツ、カワヨシノボリ、ドジョウ、タモロコ、アカザ、メダカ、キンギョ
  ミナミヌマエビ、アメリカザリガニ、サワガニ、オニヤンマ、コオニヤンマ、コヤマトンボ、ハグロトンボ、コオイムシ、ヒル、カワニナ

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 河床がコンクリートになっている部分があり、滑りやすいので注意するように呼びかけて実施した。
- 積極的に川で遊ぼうとする声があり、今回の総合学習の成果を感じた。
- 雨が降ったら３日間は川へ近づかないようにするなど、川へ入る時の注意点を説明した。

| 備　　考 | |
|---|---|

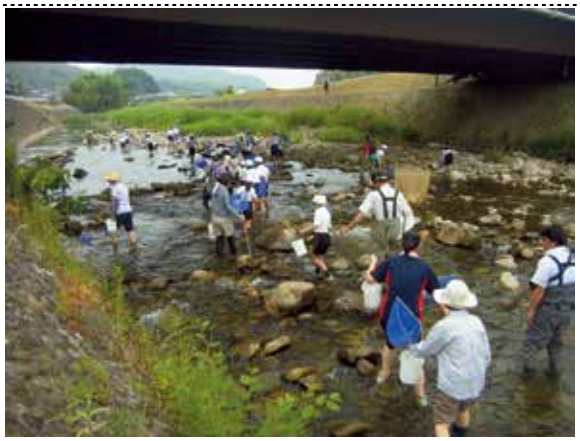
| 記入者 | 所属：河川砂防係 | 氏名：成瀬　誉 | 電話番号（内線） | ３２０ |
|---|---|---|---|---|

様式①　　（多治見土木事務所　河川砂防課）

| 支援学校名 | 瑞浪市立釜戸小学校 | 担当教員名 | 小栗先生 | 対象学年・人数 | ５年生　２８名 |
|---|---|---|---|---|---|
| 実　施　日 | ６月４日(水) | | 実施場所 | 土岐川（釜戸大橋付近） | |
| テ　ー　マ | 「河川環境を学ぶ」<br>川の現状や川とのふれあい方を学ぶ | | 分　類 | 治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発 | |
| | | | 連携機関 | 多治見市土岐川観察館 | |

学習内容①：川とのふれあい方を学ぶ

水生生物がどんな場所にいるのか、川の形状はどうなっているのか、どんな場所が危険なのかを実際に体験しながら川の大切さを学んだ。



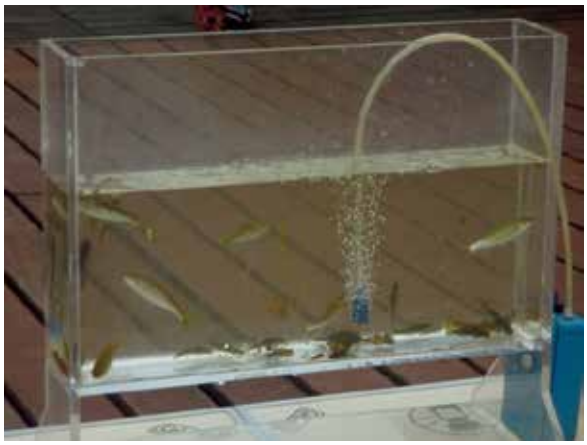
学習内容②：川の水質を知る

川で採取した水の水質（ｐＨ、透視度、ＣＯＤ）を検査し、同場所で採取した水生生物の種類の両方から、川がどの程度きれいなのかを学び発表した。



学習内容③：川の生態を学ぶ

川で採取した水生生物を種類ごとに分け、個々の生物の名称や特徴を調べ、身近な川にどんな生き物がどれくらいどうやって生息しているかを学んだ。



学習内容④：川の危険性について

降雨による増水、川の形状による急な深さや流れの変化等川に潜む危険、また治水の必要性について学んだ。



【学習結果】

・pH　7.5　　・透視度　83.4
・ＣＯＤ　12
・採取した水生生物　16 種類
　オイカワ、カワムツ、カワヨシノボリ、アブラハヤ、ドジョウ、アジメドジョウ、アガザ、ミナミヌマエビ、サワガニ、コオニヤンマ、ハグロトンボ、ヒゲナガカワトビゲラ、ヒラタドロムシ、アメンボ、シマアメンボ、ウシガエル

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

・河川工事によって生物の生息環境を損なう可能性はあるが、人の命や財産を守るうえで、必要不可欠なものであることを写真等で説明した。
・意欲的に川で生物を捕まえる姿が確認でき、川に対する興味を持ってもらえたように思う。

| 備　　考 | 6 月 5 日（木）中日新聞（東濃版）に総合学習の記事が掲載された。【巻末資料１０１頁掲載】<br>岐阜県自然工法管理士（１人参加） |
|---|---|

| 記入者 | 所属：河川砂防係 | 氏名：遠藤　栄亮 | 電話番号（内線） | ３２０ |
|---|---|---|---|---|

様式①　　（多治見土木事務所　河川砂防課）

| 支援学校名 | 多治見市立精華小学校 | 担当教員名 | 宇佐美先生 | 対象学年・人数 | ５年生　１５９名 |
|---|---|---|---|---|---|
| 実　施　日 | ６月６日(金) | | 実施場所 | 大原川（宝親水公園） | |
| テ　ー　マ | 「河川環境を学ぶ」<br>川の現状や川とのふれあい方を学ぶ | | 分　類 | 治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発 | |
| | | | 連携機関 | 多治見市土岐川観察館 | |

学習内容①：川とのふれあい方を学ぶ

水生生物がどんな場所にいるのか、川の形状はどうなっているのか、どんな場所が危険なのかを実際に体験しながら川の大切さを学んだ。



学習内容②：川の水質を知る

川で採取した水の水質（ｐＨ、透視度、ＣＯＤ）を検査し、同場所で採取した水生生物の種類の両方から、川がどの程度きれいなのかを学び発表した。



学習内容③：川の生態を学ぶ

川で採取した水生生物を種類ごとに分け、個々の生物の名称や特徴を調べ、身近な川にどんな生き物がどれくらいどうやって生息しているかを学んだ。



学習内容④：川の危険性について

降雨による増水、川の形状による急な深さや流れの変化等川に潜む危険、また治水の必要性について学んだ。



【学習結果】

・pH　7.0　・透視度　58　・ＣＯＤ　10
・採取した水生生物　20 種類
　オイカワ、カワムツ、カワヨシノボリ、モツゴ、アブラハヤ、ドジョウ、ナマズ、アカザ、ブルーギル
　ミナミヌマエビ、アメリカザリガニ、オニヤンマ、コオニヤンマ、ハグロトンボ、ヒゲナガカワトビケラ、オナガサナエ、ガガンボ、アメンボ、シマアメンボ、ウシガエル

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

・子ども達が水深の深い所や流速の速い所に行かないように配慮した。
・子ども達は嬉々として総合学習に取り組んでおり、川に対する好奇心を抱いてもらえたと思う。
・実際の洪水時の写真等を見せながら、河川工事は人の財産や命を守るために必要であるということを説明した。

| 備　　考 | |
|---|---|

| 記入者 | 所属：河川砂防係 | 氏名：遠藤　栄亮 | 電話番号（内線） | ３２０ |
|---|---|---|---|---|

様式①　　（多治見土木事務所　河川砂防課）

| 支援学校名 | 多治見市立南姫小学校 | 担当教員名 | 喜多先生 | 対象学年・人数 | ４年生　４３名 |
|---|---|---|---|---|---|
| 実　施　日 | ６月１１日(水) | | 実施場所 | 姫川 | |
| テ　ー　マ | 「河川環境を学ぶ」<br>川の現状や川とのふれあい方を学ぶ | | 分　類 | 治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発 | |
| | | | 連携機関 | 多治見市土岐川観察館 | |

学習内容①：川とのふれあい方を学ぶ

水生生物がどんな場所にいるのか、川の形状はどうなっているのか、どんな場所が危険なのかを実際に体験しながら川の大切さを学んだ。



学習内容②：川の水質を知る

川で採取した水の水質（ｐＨ、透視度、ＣＯＤ）を検査し、同場所で採取した水生生物の種類の両方から、川がどの程度きれいなのかを学び発表した。



学習内容③：川の生態を学ぶ

川で採取した水生生物を種類ごとに分け、個々の生物の名称や特徴を調べ、身近な川にどんな生き物がどれくらいどうやって生息しているかを学んだ。



学習内容④：川の危険性について

降雨による増水、川の形状による急な深さや流れの変化等川に潜む危険、また治水の必要性について学んだ。



【学習結果】

・pH　6.0　　・透視度　50
・ＣＯＤ　7
・採取した水生生物　13 種類
　オイカワ、カワムツ、カワヨシノボリ、タモロコ、ドジョウ、フナ類、メダカ
　アメリカザリガニ、コオニヤンマ、ハグロトンボ、コオイムシ、ヒル、ウシガエル

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

・写真を用いながら、河川にある構造物が私たちの命や財産を守る役割を果たしていることを説明した。子ども達は真剣に話を聞いており、河川工事の重要性を理解してもらえたと思う。
・夢中になって生物を捕まえていて、楽しみながら学習することができていたと思う。

| 備　　考 | 岐阜県自然工法管理士（１人参加） |
|---|---|

| 記入者 | 所属：河川砂防係 | 氏名：成瀬　誉 | 電話番号（内線） | ３２０ |
|---|---|---|---|---|

様式①　　（多治見土木事務所　河川砂防課）

| 支援学校名 | 多治見市立滝呂小学校 | 担当教員名 | 熊崎先生 | 対象学年・人数 | ５年生　８９名 |
|---|---|---|---|---|---|
| 実　施　日 | ６月１８日(水) | | 実施場所 | 笠原川（滝呂公園） | |
| テ　ー　マ | 「河川環境を学ぶ」<br>川の現状や川とのふれあい方を学ぶ | | 分　類 | 治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発 | |
| | | | 連携機関 | 多治見市土岐川観察館 | |

学習内容①：川とのふれあい方を学ぶ

水生生物がどんな場所にいるのか、川の形状はどうなっているのか、どんな場所が危険なのかを実際に体験しながら川の大切さを学んだ。



学習内容②：川の水質を知る

川で採取した水の水質（ｐＨ、透視度、ＣＯＤ）を検査し、同場所で採取した水生生物の種類の両方から、川がどの程度きれいなのかを学び発表した。



学習内容③：川の生態を学ぶ

川で採取した水生生物を種類ごとに分け、個々の生物の名称や特徴を調べ、身近な川にどんな生き物がどれくらいどうやって生息しているかを学んだ。



学習内容④：川の危険性について

降雨による増水、川の形状による急な深さや流れの変化等川に潜む危険、また治水の必要性について学んだ。



【学習結果】

・pH　7.0　・透視度　34
・ＣＯＤ　5
・採取した水生生物　16 種類
　オイカワ、カワムツ、カワヨシノボリ、アブラハヤ、モツゴ、フナ類
　ミナミヌマエビ、スジエビ、アメリカザリガニ、サワガニ、コオニヤンマ、コヤマトンボ、ハグロトンボ、ヒゲナガカワトビゲラ、ヒル、ウシガエル

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

・魚道の役割を説明し、私たちが生物や環境に配慮しながら工事を行っていることを説明した。
・川へ入る時は必ず家族と入るようにするなど、川に入る時の注意点を説明した。
・子ども達は楽しそうに学習に取り組んでおり、川への関心を持ってもらえたように思う。

| 備　　考 | |
|---|---|

| 記入者 | 所属：河川砂防係 | 氏名：遠藤　栄亮 | 電話番号（内線） | ３２０ |
|---|---|---|---|---|

様式①　　（多治見土木事務所　河川砂防課）

| 支援学校名 | 多治見市立根本小学校 | 担当教員名 | 浅見先生 | 対象学年・人数 | ４年生　１１６名 |
|---|---|---|---|---|---|
| 実　施　日 | ６月２０日(金) | | 実施場所 | 大原川（学校下） | |
| テ　ー　マ | 「河川環境を学ぶ」<br>川の現状や川とのふれあい方を学ぶ | | 分　類 | 治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発 | |
| | | | 連携機関 | 多治見市土岐川観察館 | |

学習内容①：川とのふれあい方を学ぶ

水生生物がどんな場所にいるのか、川の形状はどうなっているのか、どんな場所が危険なのかを実際に体験しながら川の大切さを学んだ。



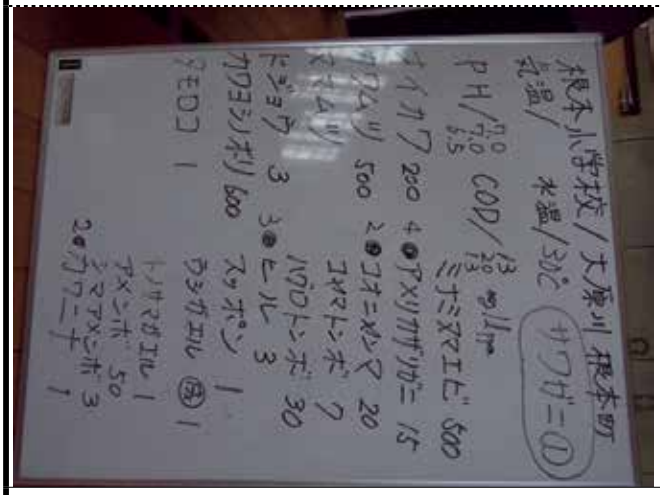
学習内容②：川の水質を知る

川で採取した水の水質（ｐＨ、透視度、ＣＯＤ）を検査し、同場所で採取した水生生物の種類の両方から、川がどの程度きれいなのかを学び発表した。



学習内容③：川の生態を学ぶ

川で採取した水生生物を種類ごとに分け、個々の生物の名称や特徴を調べ、身近な川にどんな生き物がどれくらいどうやって生息しているかを学んだ。




学習内容④：川の危険性について

降雨による増水、川の形状による急な深さや流れの変化等川に潜む危険、また治水の必要性について学んだ。



【学習結果】

- pH　6.8
- 透視度　50
- ＣＯＤ　15
- 採取した水生生物　18 種類

オイカワ、カワムツ、カワヨシノボリ、タモロコ、ドジョウ
ミナミヌマエビ、アメリカザリガニ、コオニヤンマ、コヤマトンボ、ハグロトンボ、カワニナ、ヒル、アメンボ
シマアメンボ、トノサマガエル、ウシガエル、スッポン

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 川は楽しい反面、注意点を守らなければ命を落とす可能性があることを伝えた。子ども達は真剣な表情で話を聞いており、理解をしてくれたと思われる。
- 夢中で生物を捕まえている様子から、川への関心を持ってもらえたように思う。
- 川幅が狭く足場も悪いため、子ども達が怪我をしないように注意した。

| 備　　考 | 岐阜県自然工法管理士（１人参加） |
|---|---|

| 記入者 | 所属：河川砂防係 | 氏名：成瀬　誉 | 電話番号（内線） | ３２０ |
|---|---|---|---|---|

様式①　　（多治見土木事務所　河川砂防課）

| 支援学校名 | 多治見市立滝呂小学校 | 担当教員名 | 佐々先生 | 対象学年・人数 | ２年生　９３名 |
|---|---|---|---|---|---|
| 実　施　日 | ７月１日（火） | | 実施場所 | 笠原川（滝呂公園） | |
| テ　ー　マ | 「河川環境を学ぶ」<br>川の現状や川とのふれあい方を学ぶ | | 分　類 | 治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発 | |
| | | | 連携機関 | 多治見市土岐川観察館 | |

学習内容①：川とのふれあい方を学ぶ

水生生物がどんな場所にいるのか、川の形状はどうなっているのか、どんな場所が危険なのかを実際に体験しながら川の大切さを学んだ。



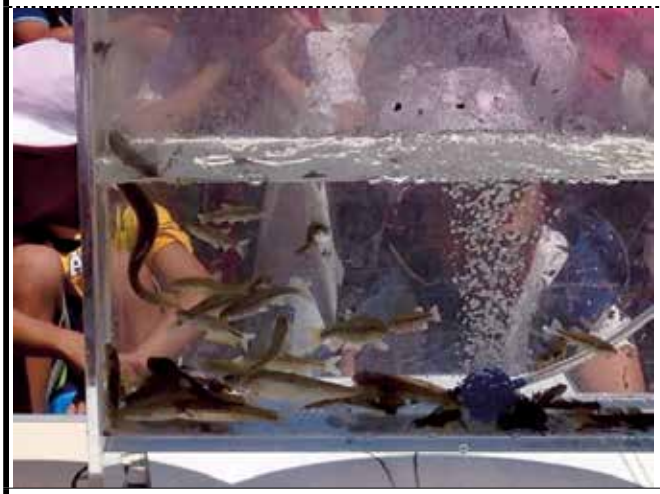
学習内容②：川の水質を知る

川で採取した水の水質（ｐＨ、透視度、ＣＯＤ）を検査し、同場所で採取した水生生物の種類の両方から、川がどの程度きれいなのかを学び発表した。



学習内容③：川の生態を学ぶ

川で採取した水生生物を種類ごとに分け、個々の生物の名称や特徴を調べ、身近な川にどんな生き物がどれくらいどうやって生息しているかを学んだ。



学習内容④：川の危険性について

降雨による増水、川の形状による急な深さや流れの変化等川に潜む危険、また治水の必要性について学んだ。



【学習結果】

・pH　6.8　・透視度　10
・ＣＯＤ　8
・採取した水生生物　17 種類
　オイカワ、カワムツ、カワヨシノボリ、モツゴ、アブラハヤ、オオクチバス
　ミナミヌマエビ、スジエビ、アメリカザリガニ、スジエビ、コオニヤンマ、コヤマトンボ、ハグロトンボ、ヒゲナガカワトビゲラ、クロスジヘビトンボ、ヒル

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

・川へ入る時は必ず大人と入ること、川は雨が降ると急に増水して危険であること等を説明した。子ども達が理解できる言葉で話すことに留意した。
・流れが速い所があり、子ども達が誤って転倒しないように配慮した。
・楽しそうに学習に取り組んでおり、川への興味を持ってもらえたと思う。

| 備　　考 | |
|---|---|

| 記入者 | 所属：河川砂防係 | 氏名：遠藤　栄亮 | 電話番号（内線） | ３２０ |
|---|---|---|---|---|

様式①　　（多治見土木事務所　河川砂防課）

| 支援学校名 | 多治見市立市之倉小学校 | 担当教員名 | 福田先生 | 対象学年・人数 | ４年生　４６名 |
|---|---|---|---|---|---|
| 実　施　日 | ７月２日（水） | | 実施場所 | 市之倉川 | |
| テ　ー　マ | 「河川環境を学ぶ」<br>川の現状や川とのふれあい方を学ぶ | | 分　類 | 治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発 | |
| | | | 連携機関 | 多治見市土岐川観察館 | |

学習内容①：川とのふれあい方を学ぶ

水生生物がどんな場所にいるのか、川の形状はどうなっているのか、どんな場所が危険なのかを実際に体験しながら川の大切さを学んだ。



学習内容②：川の水質を知る

川で採取した水の水質（ｐＨ、透視度、ＣＯＤ）を検査し、同場所で採取した水生生物の種類の両方から、川がどの程度きれいなのかを学び発表した。



学習内容③：川の生態を学ぶ

川で採取した水生生物を種類ごとに分け、個々の生物の名称や特徴を調べ、身近な川にどんな生き物がどれくらいどうやって生息しているかを学んだ。




学習内容④：川の危険性について

降雨による増水、川の形状による急な深さや流れの変化等川に潜む危険、また治水の必要性について学んだ。



【学習結果】

- pH　7.0
- 透視度　44
- ＣＯＤ　10
- 採取した水生生物　11 種類
  オイカワ、カワムツ、カワヨシノボリ、ドジョウ
  ミナミヌマエビ、アメリカザリガニ、モクズガニ、コオニヤンマ、ハグロトンボ、ギンヤンマ

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 普段目にしている護岸や落差工がどのような役割を果たしているかを説明し、河川工事の重要性を説明した。子ども達は真剣な表情で説明を聞いており、理解をしてくれたと思われる。
- 実際に川で生物を捕まえる際に捕まえ方等を説明した。一生懸命生物を捕まえる姿が印象的だった。

| 備　　考 | 岐阜県自然工法管理士（１人参加） |
|---|---|

| 記入者 | 所属：河川砂防係 | 氏名：加藤　知也 | 電話番号（内線） | ３２０ |
|---|---|---|---|---|

様式①　　（多治見土木事務所　河川砂防課）

| 支援学校名 | 瑞浪市立土岐小学校 | 担当教員名 | 小栗先生 | 対象学年・人数 | ５年生　５０名 |
|---|---|---|---|---|---|
| 実　施　日 | ７月２日（水） | | 実施場所 | 土岐川（学校付近） | |
| テ　ー　マ | 「河川環境を学ぶ」<br>川の現状や川とのふれあい方を学ぶ | | 分　類 | 治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発 | |
| | | | 連携機関 | 多治見市土岐川観察館 | |

学習内容①：川とのふれあい方を学ぶ

水生生物がどんな場所にいるのか、川の形状はどうなっているのか、どんな場所が危険なのかを実際に体験しながら川の大切さを学んだ。



学習内容②：川の水質を知る

川で採取した水の水質（ｐＨ、透視度、ＣＯＤ）を検査し、同場所で採取した水生生物の種類の両方から、川がどの程度きれいなのかを学び発表した。



学習内容③：川の生態を学ぶ

川で採取した水生生物を種類ごとに分け、個々の生物の名称や特徴を調べ、身近な川にどんな生き物がどれくらいどうやって生息しているかを学んだ。



学習内容④：川の危険性について

降雨による増水、川の形状による急な深さや流れの変化等川に潜む危険、また治水の必要性について学んだ。



【学習結果】

| | pH | 透視度 | ＣＯＤ |
|---|---|---|---|
| （本川） | 7.8 | 43 | 12 |
| （水路） | 6.2 | 6 | 30 |

・採取した水生生物　17 種類
オイカワ、カワムツ、カワヨシノボリ、モツゴ、カマツカ、ドジョウ、シマドジョウ、メダカ
ミナミヌマエビ、アメリカザリガニ、コオニヤンマ、ハグロトンボ、ヒゲナガカワトビゲラ、アメンボ、トノサマガエル、シュレーゲルアオガエル

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

・土岐川本川と水辺の楽校の２箇所に分かれて学習を行った。
・魚道の役割や、なぜ水辺の楽校を作ったかなどを説明した。
・川は雨が降ると急に増水することがあるため、雨が降った時や降りそうな時は川に近づかないよう注意した。
・楽しそうに学習に取り組んでおり、河川に興味を持ってもらえたと思う。

| 備　　考 | 岐阜県自然工法管理士（１人参加） |
|---|---|

| 記入者 | 所属：河川砂防係 | 氏名：遠藤　栄亮 | 電話番号（内線） | ３２０ |
|---|---|---|---|---|

様式①　　（多治見土木事務所　河川砂防課）

| 支援学校名 | 多治見市立精華小学校 | 担当教員名 | 宇佐美先生 | 対象学年・人数 | ５年生　１５９名 |
|---|---|---|---|---|---|
| 実　施　日 | ９月３日(水) | | 実施場所 | 大原川（宝親水公園） | |
| テ　ー　マ | 「河川環境を学ぶ」<br>川の現状や川とのふれあい方を学ぶ | | 分　類 | 治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発 | |
| | | | 連携機関 | 多治見市土岐川観察館 | |

学習内容①：川とのふれあい方を学ぶ

水生生物がどんな場所にいるのか、川の形状はどうなっているのか、どんな場所が危険なのかを実際に体験しながら川の大切さを学んだ。



学習内容②：川の水質を知る

川で採取した水の水質（ｐＨ、透視度、ＣＯＤ）を検査し、同場所で採取した水生生物の種類の両方から、川がどの程度きれいなのかを学び発表した。



学習内容③：川の生態を学ぶ

川で採取した水生生物を種類ごとに分け、個々の生物の名称や特徴を調べ、身近な川にどんな生き物がどれくらいどうやって生息しているかを学んだ。



学習内容④：川の危険性について

降雨による増水、川の形状による急な深さや流れの変化等川に潜む危険、また治水の必要性について学んだ。



【学習結果】

・pH　6.5　　・透視度　100＋
・ＣＯＤ　5
・採取した水生生物　22 種類
　オイカワ、カワムツ、カワヨシノボリ、モツゴ、タモロコ、アブラハヤ、ドジョウ、ニゴイ、フナ類、アカザ、ブルーギル、オオクチバス
　ミナミヌマエビ、アメリカザリガニ、スジエビ、サワガニ、コオニヤンマ、コヤマトンボ、ヒゲナガカワトビケラ、トノサマガエル、ウシガエル

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

・河川工事を行う前には、事前に生物保護調査を行うなど、工事をする際にどのように自然に配慮しているかについて説明した。
・下流と上流に分かれて学習を行うため、子ども達を見落とすことがないように注意した。
・子ども達は楽しそうに学習に取り組んでおり、川への親しみを持ってくれたと思う。

| 備　　考 | 岐阜県自然工法管理士（１人参加） |
|---|---|

| 記入者 | 所属：河川砂防係 | 氏名：加藤　知也 | 電話番号（内線） | ３２０ |
|---|---|---|---|---|

様式①　　（多治見土木事務所　河川砂防課）

| 支援学校名 | 多治見市立根本小学校 | 担当教員名 | 浅見先生 | 対象学年・人数 | ４年生　１１６名 |
|---|---|---|---|---|---|
| 実　施　日 | ９月２４日(水) | | 実施場所 | 大原川（学校下） | |
| テ　ー　マ | 「河川環境を学ぶ」<br>川の現状や川とのふれあい方を学ぶ | | 分　類 | 治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発 | |
| | | | 連携機関 | 多治見市土岐川観察館 | |

学習内容①：川とのふれあい方を学ぶ

水生生物がどんな場所にいるのか、川の形状はどうなっているのか、どんな場所が危険なのかを実際に体験しながら川の大切さを学んだ。



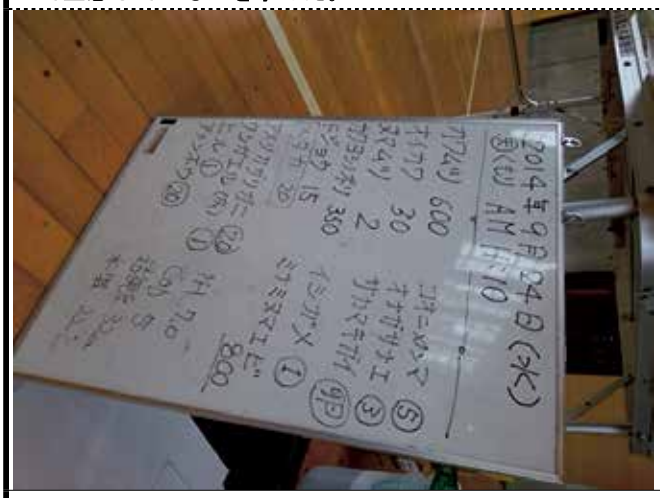
学習内容②：川の水質を知る

川で採取した水の水質（ｐＨ、透視度、ＣＯＤ）を検査し、同場所で採取した水生生物の種類の両方から、川がどの程度きれいなのかを学び発表した。



学習内容③：川の生態を学ぶ

川で採取した水生生物を種類ごとに分け、個々の生物の名称や特徴を調べ、身近な川にどんな生き物がどれくらいどうやって生息しているかを学んだ。




学習内容④：川の危険性について

降雨による増水、川の形状による急な深さや流れの変化等川に潜む危険、また治水の必要性について学んだ。



【学習結果】

・pH　7.0　　・透視度　32
・ＣＯＤ　5
・採取した水生生物　15 種類
　オイカワ、カワムツ、ヌマムツ、カワヨシノボリ、ドジョウ、メダカ
　ミナミヌマエビ、アメリカザリガニ、オナガサナエ、ヒル、アメンボ、サカマキガイ、ウシガエル、イシガメ

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

・洪水時の河川の状況の写真を見せながら、河川工事の必要性を子ども達に分かりやすいように説明した。
・足場が不安定なところがあり、子ども達が転ばないように注意した。
・魚を捕まえた時の子ども達の笑顔が印象的だった。
・自然や川に対して興味を持ってもらえたと思う。

| 備　　考 | 岐阜県自然工法管理士（１人参加） |
|---|---|

| 記入者 | 所属：河川砂防係 | 氏名：成瀬　誉 | 電話番号（内線） | ３２０ |
|---|---|---|---|---|

様式①　　（多治見土木事務所　河川砂防課）

| 支援学校名 | 名古屋市立稲西小学校 | 担当教員名 | 江森先生 | 対象学年・人数 | ３年生　４１名 |
|---|---|---|---|---|---|
| 実　施　日 | ９月２６日(金) | | 実施場所 | 笠原川（合流点） | |
| テ　ー　マ | 「河川環境を学ぶ」<br>川の現状や川とのふれあい方を学ぶ | | 分　類 | 治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発 | |
| | | | 連携機関 | 多治見市土岐川観察館 | |

学習内容①：川とのふれあい方を学ぶ

水生生物がどんな場所にいるのか、川の形状はどうなっているのか、どんな場所が危険なのかを実際に体験しながら川の大切さを学んだ。



学習内容②：川の水質を知る

川で採取した水の水質（ｐＨ、透視度、ＣＯＤ）を検査し、同場所で採取した水生生物の種類の両方から、川がどの程度きれいなのかを学び発表した。



学習内容③：川の生態を学ぶ

川で採取した水生生物を種類ごとに分け、個々の生物の名称や特徴を調べ、身近な川にどんな生き物がどれくらいどうやって生息しているかを学んだ。



学習内容④：川の危険性について

降雨による増水、川の形状による急な深さや流れの変化等川に潜む危険、また治水の必要性について学んだ。



【学習結果】

・pH　　7.0　　・透視度　15
・ＣＯＤ　7
・採取した水生生物　15 種類
　オイカワ、カワムツ、カワヨシノボリ、モツゴ、カマツカ、ニゴイ、フナ類、ナマズ、ブルーギル
　ミナミヌマエビ、アメリカザリガニ、コオニヤンマ、コヤマトンボ、アメンボ

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

・護岸や階段の役割を説明し、河川工事の重要性を説明した。子ども達は真剣に話を聞いており、内容を十分理解してもらえたように思う。
・河川内に水深の深いところが多数存在しており、子ども達に危険であることを示し、近づかないように努めた。
・積極的に学習に参加する様子が見られ、川への関心を持ってもらえたように思う。

| 備　　考 | |
|---|---|

| 記入者 | 所属：河川砂防係 | 氏名：遠藤　栄亮 | 電話番号（内線） | ３２０ |
|---|---|---|---|---|

様式①　　（多治見土木事務所　河川砂防課）

| 支援学校名 | 多治見市立共栄小学校 | 担当教員名 | 今井先生 | 対象学年・人数 | ３年生　７７名 |
|---|---|---|---|---|---|
| 実　施　日 | １０月１日(水) | | 実施場所 | 高田川 | |
| テ　ー　マ | 「河川環境を学ぶ」<br>川の現状や川とのふれあい方を学ぶ | | 分　類 | 治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発 | |
| | | | 連携機関 | 多治見市土岐川観察館 | |

学習内容①：川とのふれあい方を学ぶ

水生生物がどんな場所にいるのか、川の形状はどうなっているのか、どんな場所が危険なのかを実際に体験しながら川の大切さを学んだ。



学習内容②：川の水質を知る

川で採取した水の水質（ｐＨ、透視度、ＣＯＤ）を検査し、同場所で採取した水生生物の種類の両方から、川がどの程度きれいなのかを学び発表した。



学習内容③：川の生態を学ぶ

川で採取した水生生物を種類ごとに分け、個々の生物の名称や特徴を調べ、身近な川にどんな生き物がどれくらいどうやって生息しているかを学んだ。



学習内容④：川の危険性について

降雨による増水、川の形状による急な深さや流れの変化等川に潜む危険、また治水の必要性について学んだ。



【学習結果】

・pH　6.5　・透視度　20
・ＣＯＤ　13
・採取した水生生物　13 種類
　カワムツ、カワヨシノボリ
　ミナミヌマエビ、スジエビ、アメリカザリガニ、コオニヤンマ、コヤマトンボ、コシボヤンマ、ギンヤンマ、ヘビトンボ、ミズカマキリ、カワニナ、ウシガエル

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

・河床がコンクリートになっている部分があり、滑りやすいので注意するように呼びかけて実施した。
・積極的に川で遊ぼうとする声があり、今回の総合学習の成果を感じた。
・雨が降ったら３日間は川へ近づかないようにするなど、川へ入る時の注意点を説明した。

| 備　　考 | 岐阜県自然工法管理士（１人参加） |
|---|---|

| 記入者 | 所属：河川砂防係 | 氏名：加藤　知也 | 電話番号（内線） | ３２０ |
|---|---|---|---|---|

様式①　　（多治見土木事務所　河川砂防課）

| 支援学校名 | 土岐市立肥田小学校 | 担当教員名 | 西尾先生 | 対象学年・人数 | ３年生　５４名 |
|---|---|---|---|---|---|
| 実　施　日 | １０月１０日（金） | | 実施場所 | 肥田川 | |
| テ　ー　マ | 「河川環境を学ぶ」<br>川の現状や川とのふれあい方を学ぶ | | 分　類 | 治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発 | |
| | | | 連携機関 | 多治見市土岐川観察館 | |

学習内容①：川とのふれあい方を学ぶ

水生生物がどんな場所にいるのか、川の形状はどうなっているのか、どんな場所が危険なのかを実際に体験しながら川の大切さを学んだ。



学習内容②：川の水質を知る

川で採取した水の水質（ｐＨ、透視度、ＣＯＤ）を検査し、同場所で採取した水生生物の種類の両方から、川がどの程度きれいなのかを学び発表した。



学習内容③：川の生態を学ぶ

川で採取した水生生物を種類ごとに分け、個々の生物の名称や特徴を調べ、身近な川にどんな生き物がどれくらいどうやって生息しているかを学んだ。



学習内容④：川の危険性について

降雨による増水、川の形状による急な深さや流れの変化等川に潜む危険、また治水の必要性について学んだ。



【学習結果】

- pH　6.5
- 透視度　100＋
- ＣＯＤ　7
- 採取した水生生物　17 種類

オイカワ、カワムツ、カワヨシノボリ、モツゴ、アブラハヤ、フナ類、ドジョウ、アカザ
ミナミヌマエビ、スジエビ、アメリカザリガニ、サワガニ、コオニヤンマ、コヤマトンボ、ヒラタドロムシ、アメンボ、ウシガエ

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 河川工事を行う前には、事前に生物保護調査を行うなど、工事をする際にどのように自然に配慮しているかについて説明した。
- 下流と上流に分かれて学習を行うため、子ども達を見落とすことがないように注意した。
- 子ども達は楽しそうに学習に取り組んでおり、川への親しみを持ってくれたと思う。

| 備　　考 | 岐阜県自然工法管理士（１人参加） |
|---|---|

| 記入者 | 所属：河川砂防係 | 氏名：成瀬　誉 | 電話番号（内線） | ３２０ |
|---|---|---|---|---|

様式①　　（多治見土木事務所　河川砂防課）

| 支援学校名 | 多治見市立池田小学校 | 担当教員名 | 石田先生 | 対象学年・人数 | ４年生　６５名 |
|---|---|---|---|---|---|
| 実　施　日 | １０月１６日(木) | | 実施場所 | 大原川（宝親水公園） | |
| テ　ー　マ | 「河川環境を学ぶ」<br>川の現状や川とのふれあい方を学ぶ | | 分　類 | 治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発 | |
| | | | 連携機関 | 多治見市土岐川観察館 | |

学習内容①：川とのふれあい方を学ぶ

水生生物がどんな場所にいるのか、川の形状はどうなっているのか、どんな場所が危険なのかを実際に体験しながら川の大切さを学んだ。



学習内容②：川の水質を知る

川で採取した水の水質（ｐＨ、透視度、ＣＯＤ）を検査し、同場所で採取した水生生物の種類の両方から、川がどの程度きれいなのかを学び発表した。



学習内容③：川の生態を学ぶ

川で採取した水生生物を種類ごとに分け、個々の生物の名称や特徴を調べ、身近な川にどんな生き物がどれくらいどうやって生息しているかを学んだ。



学習内容④：川の危険性について

降雨による増水、川の形状による急な深さや流れの変化等川に潜む危険、また治水の必要性について学んだ。



【学習結果と考察】

・pH　6.5　・透視度　82　・ＣＯＤ　7
・採取した水生生物　20 種類
　オイカワ、カワムツ、カワヨシノボリ、アブラハヤ、ナマズ、フナ類、アカザ、オオクチバス、ブルーギル
　ミナミヌマエビ、アメリカザリガニ、サワガニ、コオニヤンマ、ギンヤンマ、マシジミ、カワニナ、ヒゲナガカワトビゲラ、アメンボ、シマアメンボ、ウシガエル

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

・普段目にしている護岸や落差工がどのような役割を果たしているかを説明し、河川工事の重要性を説明した。子ども達は真剣な表情で説明を聞いており、理解をしてくれたと思われる。
・実際に川で生物を捕まえる際に捕まえ方等を説明した。一生懸命生物を捕まえる姿が印象的だった。

| 備　　考 | |
|---|---|

| 記入者 | 所属：河川砂防係 | 氏名：遠藤　栄亮 | 電話番号（内線） | ３２０ |
|---|---|---|---|---|

様式①　　（恵那土木事務所　河川砂防課）

| 支援学校名 | 恵那市立岩邑小学校 | 担当教員名 | 井口先生 | 対象学年・人数 | ４年生　３０名 |
|---|---|---|---|---|---|
| 実　施　日 | ６月１７日（火）・６月２３日(月) | | 実施場所 | | 岩村川（岩村橋上流） |
| テ　ー　マ | 「ダム、災害及び河川環境を学ぶ」<br>ダムの役割及び現在の河川環境を学ぶ | | 分　類 | 治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発 | |
| | | | 連携機関 | 恵那市上下水道課 | |

学習内容①：　岩村ダムについての役割を学ぶ

岩村ダムについて説明し、実際にダムの堤体や監査廊を見学することで、ダムの役割について学んだ。



学習内容②：水道水の水源を学ぶ

水道水がどこからきているのか説明し、取水位置の見学をした。



学習内容③：岩村川の生態を学ぶ

実際に川に入って岩村川の水生生物をグループに分かれて採取した。様々な生物の名称を学ぶとともに、どんな生物がどのくらい生息しているかを学んだ。



学習内容④：岩村川の生物から水質を知る

指標生物数を集計し、岩村川の水質について発表してもらった。また、採取した水のＣＯＤを調査した。



【学習結果と考察】

・水生生物を採取し、分類した結果、少しきたない水に生息するとされる生物が多く確認された。
・パックテストの色も緑色を示したため、岩村川の水質は少し汚いと考えられる。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

・普段入ることの無いダムの監査廊や管理棟に入り、岩村ダムの大きさや役割を体感してもらえたと思う。
・「ダムの値段はいくらする？」など、子ども達からの質問もあり、ダムについて興味を持ってもらえたと思う。
・子ども達は積極的に岩村川の中に入り、楽しみながら学習していた。

| 備　　考 | ６月１０日(火)　岩邑小学校で事前打ち合わせ |
|---|---|

| 記入者 | 所属：河川係 | 氏名：市川　裕規 | 電話番号（内線） | ３４７ |
|---|---|---|---|---|

様式①　　（恵那土木事務所　河川砂防課）

| 支援学校名 | 恵那市立大井小学校 | 担当教員名 | 今井先生 | 対象学年・人数 | 4年生 28名(7月1日)<br>4年生 25名(7月2日) |
|---|---|---|---|---|---|
| 実　施　日 | ７月１日（火）・７月２日(水) | | 実施場所 | 横町川（大井小学校前） | |
| テ　ー　マ | 「河川環境を学ぶ」<br>カワゲラウォッチングにより横町川の水質について学ぶ<br>河川水難事故防止について学ぶ | | 分　類 | 治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発 | |
| | | | 連携機関 | なし | |

学習内容①：　横町川とのふれあい方を学ぶ

水生生物はどんな所に棲んでいるか、どのように捕まえるのか、どのような場所が危険なのかを学んだ。



学習内容②：　カワゲラウォッチング

横町川に実際に入り、水生生物を採取することで、川の特徴を知るとともに、どんな場所に生き物が生息しているのかを学ぶことができた。



学習内容③：横町川の生態を学ぶ

採取した水生生物を種類ごとに分け、指標生物を集計し、発表することで、身近な横町川にどんな生き物がどれくらいいるのかを知ることができた。



学習内容④：川の危険性について

近くで雨が降ると川の水が急に増えて危険であるなど、川は時として怖い場所になるということを学んだ。



【学習結果と考察】

・生息を確認できたのは、ヤメトビゲラ、ヒラタカゲロウ、ハグロトンボ、ゲンジボタル、カワニナ、ミズムシ、ヒルなど

きれいな水、少しきたない水の指標生物が多く確認されたことから、横町川は比較的きれいな水質であると考えられる。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

・川の中に入って積極的に生き物を採取する姿がみられた。
・川とのふれあい方を学び、身の周りの環境に対する興味を持ってもらえたと思う。
・非常に暑い日だったため、子ども達が日光の下で長時間活動しないようにした留意した。

| 備　　考 | 6月2日(月)　大井小学校で事前打ち合わせ<br>7月2日(水)　岐阜新聞（東濃版）に総合学習の記事が掲載された【巻末資料１０２頁掲載】<br>子ども達から感想の手紙をいただきました。【巻末資料１０２頁掲載】 |
|---|---|

| 記入者 | 所属：河川係 | 氏名：市川　裕規 | 電話番号（内線） | ３４７ |
|---|---|---|---|---|

様式①　　（恵那土木事務所　河川砂防課）

| 支援学校名 | 恵那市立中野方小学校 | 担当教員名 | 市村先生 | 対象学年・人数 | ４年生　１３名 |
|---|---|---|---|---|---|
| 実　施　日 | ７月３日(木) | | 実施場所 | | 中野方川（中野方ﾀﾞﾑ） |
| テ　ー　マ | 「ダムの役割を学ぶ」<br>中野方ダムの役割である治水・利水・維持流量の確保について学ぶ | | 分　類 | 治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発 | |
| | | | 連携機関 | | |

学習内容①：　中野方ダムについて知る

中野方ダムのパンフレットを配り、中野方ダムの役割についてイラストと併せて説明を行いダムに対する理解を深めた。管理棟にも入り、操作機器の説明を行った。



学習内容②：ダムを“体感”する

ダムの堤体や施設見学を通して、ダム施設の役割や規模の大きさについて体感してもらった。また、近くで見学してもらうことでダムの規模を体感することができた。



学習内容③：管理について学ぶ

ダムの堤体内部にある監査廊を歩いてもらい、ダム内部の施設の役割について説明した。地震発生時は、内部に設置された地震計でダムの異常を速やかに知ることができることなどを説明したところ、子ども達も興味を示していた。



学習内容④：利水・維持流量について学ぶ

ダムの水を浄水場へ送る送水設備や、下流の中野方川への放流状況を見学してもらい、利水・川の流量維持について理解を深めていた。家庭の水道水はダムに貯めた水を使っていることを勉強してもらえた。



【学習結果と考察】

・パンフレットのイラスト通じて、中野方ダム全体の各施設の役割を学んだ。
・ダム堤体内や施設周辺を歩き、ダムの規模を体感した。
・各施設や機器を見学し、それぞれの役割を学んだ。
・管理方法を学ぶことで、ダムの安全性などに対する疑問点を解決することができた。

以上のことから、中野方ダムの役割である治水・利水・維持流量の確保について学ぶことができた。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

・普段はダムの中に入れないため、子ども達は機械などに興味を示していた。
・自分たちの使っている水がダムからくることを知り、驚いている様子であった。

| 備　　考 | |
|---|---|

| 記入者 | 所属：河川係 | 氏名：市川　裕規 | 電話番号（内線） | ３４７ |
|---|---|---|---|---|

様式①　　（恵那土木事務所　河川砂防課）

| 支援学校名 | 中津川市立付知南小学校 | 担当教員名 | 伊藤先生 | 対象学年・人数 | ４年生　３０名 |
|---|---|---|---|---|---|
| 実　施　日 | ７月１５日(火) | | 実施場所 | 付知川（　道の駅花街道付知前　） | |
| テ　ー　マ | 「河川環境を学ぶ」<br>カワゲラウォッチングにより横町川の水質について学ぶ<br>河川水難事故防止について学ぶ | | 分　類 | 治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発 | |
| | | | 連携機関 | 中津川市 | |

学習内容①：　付知川とのふれあい方を学ぶ

水生生物はどんな所に生息しているのか、どのように捕まえるのか、どのような場所が危険なのかを学んだ。



学習内容②：　カワゲラウォッチング

付知川に実際に入り、水生生物の採取を行うことで、川の特徴を知るとともに、どんな場所に生き物が生息しているのかを学ぶことができた。



学習内容③：付知川の生態を学ぶ

採取した水生生物を種類ごとに分け、指標生物を集計し、発表することで、身近な付知川にどんな生き物がどれくらい生息しているのかを知ることができた。



学習内容④：川の危険性について

近くで雨が降ると川の水が急に増えて危険であるなど、川は時として怖い場所になるということを学んだ。



【学習結果と考察】

・生息を確認できたのは、ヤメトビゲラ、ニンギョウトビゲラ、ヒラタカゲロウ、ハグロトンボ、ヨシノボリなど。

付知川では、少しきたない水の指標生物が多く確認された。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

・川の中に入って積極的に生き物を採取する姿がみられた。
・川とのふれあい方を学び、身の周りの環境に対する興味を持ってもらえたと思う。

| 備　　考 | 中津川市主催 |
|---|---|

| 記入者 | 所属：河川係 | 氏名：市川　裕規 | 電話番号（内線） | ３４７ |
|---|---|---|---|---|

様式①　　（恵那土木事務所　河川砂防課）

| 支援学校名 | 中津川市立蛭川中学校 | 担当教員名 | 伊藤先生 | 対象学年・人数 | ３年生　３６名 |
|---|---|---|---|---|---|
| 実　施　日 | ７月１６日(水) | | 実施場所 | 和田川（棚田橋周辺） | |
| テ　ー　マ | 「河川環境を学ぶ」<br>カワゲラウォッチングにより横町川の水質について学ぶ<br>河川水難事故防止について学ぶ | | 分　類 | 治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発 | |
| | | | 連携機関 | 中津川市 | |

学習内容①：　和田川とのふれあい方を学ぶ

水生生物はどんな所に生息しているのか、どのように捕まえるのか、どのような場所が危険なのかを学んだ。



学習内容②：　カワゲラウォッチング

和田川に実際に入り、水生生物の採取を行うことで、川の特徴を知るとともに、どんな場所に生き物が生息しているのかを学ぶことができた。



学習内容③：和田川の生態を学ぶ

採取した水生生物を種類ごとに分け、指標生物を集計し、発表することで、身近な和田川にどんな生き物がどれくらい生息しているのかを知ることができた。



学習内容④：川の危険性について

近くで雨が降ると川の水が急に増えて危険であるなど、川は時として怖い場所になるということを学んだ。

【学習結果と考察】

・生息を確認できたのは、ヤマメトビゲラ、カワニナ、ヒル、サワガニ、メダカなど。

和田川では、きれいな水の指標生物が多く確認された。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

・川の中に入って積極的に生き物を採取する姿がみられた。
・川とのふれあい方を学び、身の周りの環境に対する興味を持ってもらえたと思う。

| 備　　考 | 中津川市主催 |
|---|---|

| 記入者 | 所属：河川係 | 氏名：市川　裕規 | 電話番号（内線） | ３４７ |
|---|---|---|---|---|

様式①　　（下呂土木事務所　河川砂防課）

| 支援学校名 | 下呂市立尾崎小学校 | 担当教員名 | 松井先生 | 対象学年・人数 | ４年生　１４名 |
|---|---|---|---|---|---|
| 実　施　日 | ７月３日(木) | | 実施場所 | 山之口川（位山自然の家） | |
| テ　ー　マ | 身近な河川に棲む生き物を採取・調査し、水質状況を知ることにより水質の保全・浄化の重要性を学ぶ | | 分　類 | 治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発 | |
| | | | 連携機関 | 下呂市役所環境課 | |

学習内容①：　川とのふれあい方を学ぶ

山之口川に実際に入って、水生生物の採取を行うことで、川の特徴を知るとともに、どんな場所に生物が生息しているのかを学ぶことができた。



学習内容②：山之口川の生態を学ぶ

採取した水生生物を種類ごとに分け、様々な生物の名称を知るとともに、身近な山之口川に、どんな生き物がどれくらい生息しているのかを体感することができた。



学習内容③：山之口川の水質を知る

山之口川で採取した水生生物の種類や数、水質について取りまとめ、結果発表した。



学習内容④：砂防について

まとまった雨が降ると、谷に集まった雨が土石流となって住宅を襲う。しかし、砂防施設によって守られているということを模型実験によって学んだ。



【学習結果と考察】

・位山自然の家付近の山之口川はきれいな水に棲むヒラタカゲロウ類やヘビトンボが採取できた。
・水生生物の生息状況、川底の見え方や状態、におい等により、位山自然の家付近の山之口川はとてもきれいな状態が保たれていると考えられる。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

・自然と触れ合うことにより、子ども達は楽しそうであった。
・身近な川のきれいさを知り、環境への関心が高まればよいと思う。
・模型を用いたことにより、砂防に対する理解が深まったと思われる。

| 備　　考 | 岐阜県下呂市役所環境課（２人参加） |
|---|---|

| 記入者 | 所属：河川砂防係 | 氏名：高木隆盛 | 電話番号（内線） | ３２２ |
|---|---|---|---|---|

様式①　　（下呂土木事務所　河川砂防課）

| 支援学校名 | 下呂市立宮田小学校 | 担当教員名 | 山崎先生 | 対象学年・人数 | ４年生　１１名 |
|---|---|---|---|---|---|
| 実　施　日 | ７月４日（金） | | 実施場所 | | 大ヶ洞川（大ヶ洞ダム） |
| テ　ー　マ | ダムの役割について<br>普段飲んでいる水がどこから来るのか | | 分　類 | 治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発 | |
| | | | 連携機関 | | |

学習内容①：　ダムの役割について

ダムはどのような目的のために作られているのか、私たちが普段飲んでいる水はどのようにして作られているのかを学ぶことができた。



学習内容②：大ヶ洞ダムの施設について

大ヶ洞ダムにはどのような施設があり、普段どのようなことを行っているのかを学んだ。



学習内容③：大ヶ洞ダムを感じる

実際にダムの施設を見学し、大ヶ洞ダムの大きさを感じることができた。



学習内容④：大ヶ洞ダムをめぐる

普段入ることができない監査廊などに入り、ダムの中がどうなっているのかを学んだ。



【学習結果と考察】

- 普段飲んでいる水がどのように作られ、供給されているのかを学んだ。
- 大雨が降った時にダムがどのような役割を果たし、我々の生活を守っているのかを学んだ。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- ダムの施設を見学する中で、ダムの役割を理解できたと思う。
- 水の大切さや環境への関心が高まればよいと思う。

| 備　　考 | |
|---|---|

| 記入者 | 所属：河川砂防係 | 氏名：高木隆盛 | 電話番号（内線） | ３２２ |
|---|---|---|---|---|

様式①　　（下呂土木事務所　河川砂防課）

| 支援学校名 | 下呂市立尾崎小学校 | 担当教員名 | 猪俣先生 | 対象学年・人数 | ５年生　１６名 |
|---|---|---|---|---|---|
| 実　施　日 | １２月１１日(木) | | 実施場所 | 尾崎小学校･カラ谷砂防ダム | |
| テ　ー　マ | 土砂災害について | | 分　類 | 治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発 | |
| | | | 連携機関 | | |

学習内容①：　土砂災害について

土砂災害とは何か、どのような種類がありどのような特徴があるかなど、身近にある危険性について学ぶことができた。



学習内容②：砂防ダムについて

小学校の近くで建設中の砂防ダムに行き、土石流を防ぐためにどのような対策が行われているかを学んだ。



学習内容③：砂防ダムについて

建設中のダムに触れ、直接見ることによってダムの大きさを感じることができた。



学習内容④：



【学習結果と考察】

・土砂災害が身近なところで起こる可能性があるということ学んだ。
・土砂災害が発生した際に、どのような行動をとるべきなのかについても学ぶ必要がある。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

・砂防ダムを見学し、砂防とは何かを感じることができ、理解が深まったと思う。
・日々の生活を守るためにどのような公共事業が行われているか、興味を持ってもらえたと思う。

| 備　　考 | |
|---|---|

| 記入者 | 所属：河川砂防係 | 氏名：高木隆盛 | 電話番号（内線） | ３２２ |
|---|---|---|---|---|

様式①　　（高山土木事務所　河川砂防課）

| 支援学校名 | 高山市立宮小学校 | 担当教員名 | 平田先生 | 対象学年・人数 | ５年生　２０名 |
|---|---|---|---|---|---|
| 実　施　日 | ５月２９日(木) | | 実施場所 | 宮川（宮小学校付近） | |
| テ　ー　マ | カワゲラウォッチング<br>川と山の災害について | | 分　類 | 治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発 | |
| | | | 連携機関 | 飛騨振興局（環境課） | |

学習内容①：カワゲラウォッチング

宮川の水質について指標となる水生生物を採取し、どのような生物が棲んでいるのか学んだ。



学習内容②：土砂災害と河川災害について

実際の土石流の動画により土砂災害の恐ろしさと、砂防えん堤によってまちが守られていることを学んだ。



学習内容③：宮川の清濁状況について

パックテストにより宮川の水質を検査し、コーラなどの飲み物が川に流れてしまった場合の影響について学んだ。



学習内容④：結果のまとめ

採取した生物の名前を確認・集計し、宮川の清濁状況について学んだ。



【学習結果と考察】

- 採取された生物やパックテストを通じて宮川がきれいな水質であることを確認した。
- 昨年度より指標生物が多く生息しており、豊かな川であることが分かった。
- 土石流の動画で急に水位が上がり大きな岩が流れていく様子を見て、山で起きる災害の恐ろしさを学習した。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】。

- 川の楽しさを知る一方で、土石流の動画で衝撃を受けた子どもが多くいた。
- 大雨が降る中で山に近づくことがどれだけ危険なのかを周知できたと思う。

| 備　　考 | |
|---|---|

| 記入者 | 所属：河川砂防係 | 氏名：飯島　悠甲 | 電話番号（内線） | ３８２ |
|---|---|---|---|---|

様式①　　（高山土木事務所　河川砂防課）

| 支援学校名 | 高山市立清見小学校 | 担当教員名 | 溝端先生<br>小谷先生 | 対象学年・人数 | ４年生　２５名 |
|---|---|---|---|---|---|
| 実　施　日 | ６月６日（金） | | 実施場所 | | 川上川（清見小学校付近） |
| テ　ー　マ | カワゲラウォッチング<br>川と山の災害について | | 分　類 | 治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発 | |
| | | | 連携機関 | 飛騨振興局（環境課） | |

学習内容①：カワゲラウォッチング

川上川に棲む生物を採取し、名前を調べることで、多種多様な生物に富んでいることを確認した。



学習内容②：土砂災害と河川災害について

実際の土石流の動画により土砂災害の恐ろしさと、砂防えん堤により人が住むまちが守られていることを学んだ。



学習内容③：宮川の清濁状況について

パックテストにより川の水がきれいなことを確かめ、ゴミを捨てることによる川への影響を考えた。



学習内容④：結果のまとめ

採取した生物を集計し、川上川がどのくらいきれいで豊かな川なのかをみんなで確認した。



【学習結果と考察】

- 採取された生物やパックテストを通じて川上川がきれいな水質であることを確認した。
- 流れの速い箇所と緩やかな箇所を比較して、どこに水生昆虫が棲むのかを考えた。
- 土石流の動画や過去に起きた災害の写真、ハザードマップを見ることで、川沿いや山沿いには危険が潜んでいることを確認した。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- ハザードマップという言葉は聞いたことがない子どもが多数だった。
- 平成１６年災害の時に生まれた子ども達が対象であったことから、当時の写真等を見てもらい、災害の恐ろしさを知ってもらえたと思う。
- 土石流の動画には衝撃を受けた子どもがたくさんいたようで、雨の降った山の怖さを知ることができたと思う。

| 備　　考 | 子ども達から感想の手紙をいただきました。【巻末資料１０３・１０４頁掲載】 |
|---|---|

| 記入者 | 所属：河川砂防係 | 氏名：飯島　悠甲 | 電話番号（内線） | ３８２ |
|---|---|---|---|---|

様式①　　（高山土木事務所　河川砂防課）

| 支援学校名 | 高山市立東小学校 | 担当教員名 | 東先生 | 対象学年・人数 | ５年生　９６名 |
|---|---|---|---|---|---|
| 実　施　日 | ７月１日（火） | | 実施場所 | 宮川（万人橋付近） | |
| テ　ー　マ | カワゲラウォッチング<br>川の安全利用講習 | | 分　類 | 治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発 | |
| | | | 連携機関 | 飛騨振興局（環境課） | |

学習内容①：カワゲラウォッチング

宮川（高山市内下流部）に棲む生物を採取し、名前を調べ、多種多様な生物に富んでいることを確認した。



学習内容②：指標生物から川の清濁を知る

採取した水生生物から宮川の下流域の水質を調べた。
結果として、少し汚いことを確認した。



学習内容③：パックテストによる川の清濁状況

パックテストにより川の水がきれいなことを確かめ、ゴミを捨てることによる川への影響を考えた。



学習内容④：川の安全利用講習

６月に起きた水難事故の事例を知り、水難事故にあわないための知識を学んだ。



【学習結果と考察】

- 採取された生物やパックテストを通じて、宮川の下流域は生活排水等の影響から少し汚い水に分類されることを確認した。
- 流れの速い箇所と緩やかな箇所を比較して、どこに水生昆虫が棲むのかを考えた。
- ６月に発生した水難事故を通して、川の危険な部分を学習することができた。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- カワゲラウォッチングを通して川で遊ぶことの楽しさを知る一方で、川の危険な部分の学習もした。
- ヒルが多く確認され、きれいだと思っていた宮川が意外に汚れていることを発見したことから、今後は、川を汚さないことを意識しながらも生活してもらえると思う。

| 備　　考 | |
|---|---|

| 記入者 | 所属：河川砂防係 | 氏名：飯島　悠甲 | 電話番号（内線） | ３８２ |
|---|---|---|---|---|

様式①　　（高山土木事務所　河川砂防課）

| 支援学校名 | 高山市立南小学校 | 担当教員名 | 松尾先生 | 対象学年・人数 | ４年生　５２名 |
|---|---|---|---|---|---|
| 実　施　日 | ７月３日(木) | | 実施場所 | 苔川（岡本橋付近） | |
| テ　ー　マ | カワゲラウォッチング<br>山と川の安全利用講習 | | 分　類 | 治水・環境・砂防・安全啓発 | |
| | | | 連携機関 | 飛騨振興局（環境課） | |

学習内容①：カワラゲウォッチング

身近な存在である苔川に入り、どんな水生昆虫が生息しているのかを調査した。



学習内容②：水生昆虫の同定

採取した水生昆虫をもとに、苔川にはどんな水質に棲む生物が生息しているのかを調査した。



学習内容③：土石流の怖さについて

大雨が降った際に発生する土石流がどういうものかを知り、身近に起こりうるものだということを学んだ。



学習内容④：河川の安全利用について

６月に県内で水難事故があったことから、どういう場所や状況で事故が起こりやすいのかを学んだ。



【学習結果と考察】

- 比較的汚い川にいる生物が確認される一方で、きれいな川に生息する生物が見られ、多種多様な生態系を創出している。
- 普段は何気なく渡る苔川でどんな災害があったのかを知ることができた。
- 川の危険個所を知り、川で遊ぶ際の注意点を学んだ。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 危険ということで川を遊び場とする子ども達は年々減少していることを先生から伺ったため、川で遊ぶ際の注意点を学んでもらうことで、今後は川で遊んでもらえればと思う。
- 平成１６年の災害で苔川付近でも大きな災害があったことを話すと、子ども達は大きく驚いていた。昔の災害を知らない世代に「実は危ないところに住んでいる」ことを認識してもらえたと思う。

| 備　　考 | 学習内容③　出典：国交省(土砂災害映像ライブラリ)http://www.mlit.go.jp/river/sabo/movie_library.html |
|---|---|

| 記入者 | 所属：河川砂防係 | 氏名：飯島　悠甲 | 電話番号（内線） | ３８２ |
|---|---|---|---|---|

様式①　　（高山土木事務所　河川砂防課）

| 支援団体名 | 高山市 | 担当者名 | 寄本さん | 対象学年・人数 | １−６年生　６０名 |
|---|---|---|---|---|---|
| 実　施　日 | ７月２８日(月) | | 実施場所 | | 宮川・苔川 |
| テ　ー　マ | カワゲラウォッチング<br>山と川の安全利用講習 | | 分　類 | 治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発 | |
| | | | 連携機関 | 飛騨振興局（環境課）２名<br>公衆衛生センター3 名　高山市役所 3 名 | |

学習内容①：カワラゲウォッチング

宮川・苔川の上流下流に分かれ、各流域において生物採取を行った。



学習内容②：水生昆虫の同定

採取した水生昆虫を持ち帰り、流域ごとに採取された生物の名前を確認し、集計作業を行った。



学習内容③：流域ごとの集計とパックテスト

流域ごとに集計したものを共有し、水質のチェックを行った。また、採取した川の水をパックテストにより検査した。



学習内容④：土砂災害から身を守るために

土石流の動画をみて、雨の降ったときの恐ろしさについて学んだ。苔川の１０年前の災害を見て身近に起こりうるものであることを知った。



【学習結果と考察】

・流域ごとの調査を行うことで、上流ほど川はきれいになり、下流ほど汚くなることを確認した。
・流域ごとの水質を確認することで、人間の生活が付近の環境に負荷をかけていることがわかった。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

・川遊びを楽しいと考えている子ども達が多く見られた。天気に気を付けて、川に積極的に触れてもらえればと思う。
・長野県で発生した土石流を多くの方が見られたと思うが、ハザードマップを見て、危険な地域に住んでいないかを確認していただけるとよいと思う。

| 備　　考 | |
|---|---|

| 記入者 | 所属：河川砂防係 | 氏名：飯島　悠甲 | 電話番号（内線） | ３８２ |
|---|---|---|---|---|

様式①　　（古川土木事務所　河川砂防課）

| 支援学校名 | 飛騨市立神岡小学校 | 担当教員名 | 鈴木先生 | 対象学年・人数 | ４年生　５４名 |
|---|---|---|---|---|---|
| 実　施　日 | ７月１日（火） | | 実施場所 | 高原川（神岡小学校付近） | |
| テ　ー　マ | 「身近な河川環境」<br>カワゲラウォッチングを通し、河川環境の保全について理解を深める | | 分　類 | 治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発 | |
| | | | 連携機関 | 飛騨振興局環境課<br>飛騨市 | |

学習内容①：高原川の生態を知る

カワゲラウォッチングを行い、高原川に棲む生物の採取を行った。川の中には様々な生物が生息していることを学んだ。



学習内容②：川の水質について学ぶ

高原川の水を採取し、家庭用洗剤を混ぜたものとパックテストにてＣＯＤを比較した。生活排水が増えることによってきれいな水が汚れてしまうことを学んだ。



学習内容③：川の水質について学ぶ

川で採取した生物の種類と数について取りまとめた。
水質判定の指標となる生物を集計し、高原川の水質について結果発表を行った。



学習内容④：川の危険性について学ぶ

川と親しむことの楽しさを知ると同時に、川には危険な側面もあるため、川に入る際には子どもだけではなく、大人と一緒に入るなど安全に気を付ける必要があることを学んだ。



【学習結果と考察】

- カワゲラウォッチングの結果、きれいな水に生息するトビケラ類が多数採取された。以上の結果から、高原川神岡小付近の水質は良好であると考えられる。
- 家庭用洗剤を水に少量混ぜパックテストを行うと、普段の高原川の水より、高いＣＯＤ値が出た。現在は良好な水質も、環境への配慮を怠ることで悪化していく可能性があるとわかった。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 身近に豊かな自然があることを児童に認識してもうとともに、環境を守ることの大切さについて知ってもらうことができた。
- 実際に川に入り調査を行うことで、楽しみながら河川環境について学んでもらうことができた。
- 児童に川で遊ぶ際の注意点等について認識してもらうことができた。

| 備　　考 | |
|---|---|

| 記入者 | 所属：河川砂防係 | 氏名：吉村　優一 | 電話番号（内線） | ２６３ |
|---|---|---|---|---|

様式①　　（古川土木事務所　河川砂防課）

| 支援学校名 | 飛騨市立古川西小学校 | 担当教員名 | 松原先生 | 対象学年・人数 | ４年生　４６名 |
|---|---|---|---|---|---|
| 実　施　日 | ９月３０日（火） | | 実施場所 | | 宮川（古川西小学校付近） |
| テ　ー　マ | 「身近な河川環境」<br>カワゲラウォッチングを通し、河川環境の保全について理解を深める | | 分　類 | 治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発 | |
| | | | 連携機関 | 飛騨振興局環境課<br>飛騨市 | |

学習内容①：宮川の生態を知る。（カワゲラウォッチング）

カワゲラウォッチングを行い、宮川に棲む生物の採取を行った。指標生物の集計を行うとともに、川の中にどのような生物がいるか学んだ。



学習内容②：川の水質について学ぶ。

採取した宮川の水を使い、家庭用洗剤を混ぜたものとパックテストにてＣＯＤを比較した。普段はきれいな水もゴミや生活排水によって汚れてしまうことを学んだ。



学習内容③：川の危険性について学ぶ。

川と親しむことの楽しさを知ると同時に、川には危険な側面もあるため、川に入る際には子どもだけではなく大人と一緒に入るなど安全に気を付ける必要があることを学んだ。



学習内容④：

【学習結果と考察】

・きれいな水から汚い水に棲む生物まで幅広い生態系が確認できた。
・家庭用洗剤を水に少量混ぜパックテストを行うと、普段の宮川の水より、高いＣＯＤ値が出た。人が環境に配慮しなければ、川の水質が悪化してしまうことを学んだ。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

・身近に豊かな自然があることを児童に認識してもうとともに、環境を守ることの大切さについて知ってもらうことができた。
・児童に川で遊ぶ際の注意点等について認識してもらうことができた。

| 備　　考 | 10 月 2 日（木）中日新聞（飛騨版）に総合学習の記事が掲載された。【巻末資料１０５頁掲載】 |
|---|---|

| 記入者 | 所属：河川砂防係 | 氏名：吉村　優一 | 電話番号（内線） | ２６３ |
|---|---|---|---|---|

様式①　　（古川土木事務所　河川砂防課）

| 支援学校名 | 飛騨市立古川西小学校 | 担当教員名 | 上出先生 | 対象学年・人数 | ５年生　４８名 |
|---|---|---|---|---|---|
| 実　施　日 | １１月１９日(水) | | 実施場所 | 古川西小学校 | |
| テ　ー　マ | 「伝統的防災マップを活用した地域防災教育」<br>伝統的防災施設（霞堤・輪中堤）について学び、地域防災について理解を深める | | 分　類 | 治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発 | |
| | | | 連携機関 | | |

| 学習内容①：伝統的防災施設について学ぶ。 | 学習内容②：実験により霞堤について学ぶ。 |
|---|---|
| 伝統的防災施設である霞堤・輪中堤の仕組みや効果を学んだ。霞堤が小学校のすぐ近くの宮川にもあることを説明した。 | 霞堤の仕組みを実感してもらうため、模型を用いて実験を行った。霞堤の働きにより、水の到達を遅らせることができ、その間に避難が可能となることを学んだ。 |
|  |  |
| 学習内容③：霞堤の重要性について考える。 | 学習内容④： |
| 講義と実験で学んだことから、わかったことや感じたことについて発表を行った。 | |
|  | |

| 【学習結果と考察】 | 【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】 |
|---|---|
| ・県内に存在する伝統的防災施設として、霞堤および輪中堤について、その仕組みと効果について学んだ。<br>・模型を用いた実験により、霞堤がある場合はない場合に比べて、川の水位が上がりにくく、住宅地への洪水の到達までに時間が稼げることがわかった。<br>・上記の結果を受けて、児童からは「霞堤があることで、避難する時間ができることがわかった。」、「霞堤を守っていきたい。」等の意見が出た。 | ・伝統的防災施設である霞堤が身近にあることを児童たちに認識してもらうことができた。<br>・実験により楽しんで学んでもらうことができた。また、霞堤の効果について肌で感じることができ、水害から身を守るためには、先人の知恵である霞堤を残していくことが必要であると知ってもらうことができた。 |

| 備　　考 | 11 月 20 日（木）中日新聞（飛騨版）、11 月 20 日（木）岐阜新聞（飛騨版）に総合学習の記事が掲載された。【巻末資料１０６頁掲載】<br>子ども達から感想の手紙をいただきました。【巻末資料１０６頁掲載】 |
|---|---|

| 記入者 | 所属：河川砂防係 | 氏名：吉村　優一 | 電話番号（内線） | ２６３ |
|---|---|---|---|---|

様式①　　（県庁　河川課）

| 支援組織名 | 岐阜治水会<br>（岐阜市広域事業推進課） | 担当市職員 | 山田さん | 対象学年<br>及び人数 | 3 年生 1 名、4 年生 3 名<br>5 年生 13 名、6 年生 10 名 |
|---|---|---|---|---|---|
| 実　施　日 | ８月８日（金） | | | 実施場所 | 長良川うかいミュージアム |
| テ　ー　マ | 地域を洪水から守る「伝統的防災施設（輪中堤・霞堤）」を学ぶ | | | 分　類 | 治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発 |
| | | | | 連携機関 | 岐阜治水会<br>岐阜市広域事業推進課 |

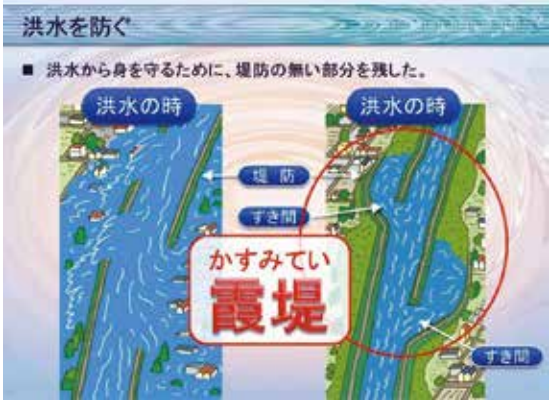
**学習内容①：長良川を学ぶ**

岐阜市を流れる長良川の普段の様子を知るとともに、河川の仕組み、過去に流域で起きた災害、災害の恐ろしさについて学んだ。



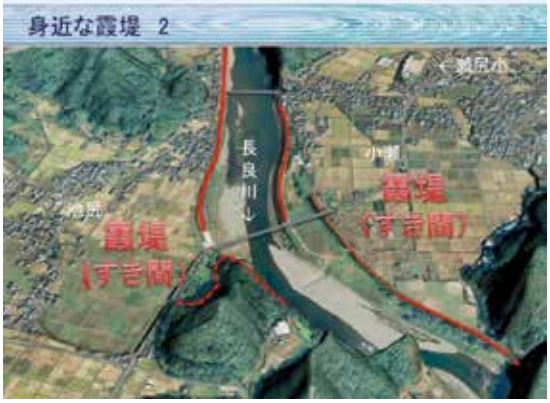
**学習内容②：霞堤を学ぶ**

先人の知恵によって造られた霞堤（伝統的防災施設）の仕組みを知るとともに、その役割や通常の河川堤防との違いを学んだ。




**学習内容③：岐阜市の上流にある霞堤を学ぶ**

関市や美濃市に霞堤があることを知るとともに、川の水が増えると霞堤がどのように機能するのかをアニメーション動画を通して学んだ。




**学習内容④：霞堤の働きを体感する**

霞堤の模型を使用し、実際に霞堤がどのような働きをするのかを体感し、霞堤の中に建物を建てたらどうなるのか、これから霞堤をどうすべきなのかを考えた。

**【学習結果と考察】**

- 親子での参加となったことから、自分達の住む地域の近くに伝統的防災施設があることやその役割について家族で考えるよい機会となった。
- 授業を受けた子ども達からは「自分達が住む下流の洪水を防ぐために、上流で様々な工夫がされていることがわかった」、「霞堤のことを初めて知りました。霞堤を見に行ってみたい。」との感想をいただいた。

**【河川課担当者の所感（当事業の成果等）】**

- 子ども達に川の役割や防災施設の役割を理解してもらえるよう、スライドの他に、冊子（岐阜県伝統的防災施設マップ）やアニメーション動画、模型を使用して説明した。
- 説明に当たっては、子ども達に質問を投げ掛けながら進めることで、子ども達が自ら考えるとともに、子ども達の活発な意見を聴くことができた。

| 備　　考 | |
|---|---|

| 記入者 | 所属：環境係 | 氏名：植山　浩樹 | 電話番号（内線） | ３７３１ |
|---|---|---|---|---|

| 支援学校名 | 北方町立北方西小学校 | （　1　／　2　） | 関連ページ | １３ページ |
|---|---|---|---|---|

【新聞記事】

平成26年11月12日（水）
中日新聞　岐阜版

## 川の魚や貝類 子ども保護
### 北方西小4年

北方町の北方西小学校の四年生三十八人が十一日、同町高屋で建設中の河川平和公園（仮称）を流れる糸貫川で生き物の保護活動に取り組んだ。

今月、工事で一時的に川を約五十㍍締め切るため、工区の外に生物を逃がすのが目的。子どもたちは「見つけた」「大きい魚がいる」と声を上げながら、オイカワやカワヨシノボリなどを網ですくい上げ、貝類や水生昆虫を含め、計十六種を上流に放した。中島愛翔君(八)は「いろいろな魚がいて楽しかった。元気に育ってほしい」と話していた。

この日は岐阜農林高校二年生四十人も同じ場所で保護活動に取り組んだ。公園は来年三月に完成する予定。（磯部旭弘）



生き物を探す子どもたち＝北方町高屋の糸貫川で

平成26年11月17日（月）
岐阜新聞　岐阜版

## 親水公園整備で 児童ら環境調査
### 北方町の糸貫川

県と本巣郡北方町が同町高屋の糸貫川河川敷で整備を進めている河川平和公園（仮称）で、小学生と高校生が河川環境調査を実施した＝写真＝。公園は広さ約1㌶で、芝生広場と川の中に入れる親水空間を整備する。平和の象徴として長崎・広島で被爆したクスノキとアオギリの2世の苗木を植えるほか、小水力発電施設も設ける。多世代が憩い、環境教育と平和を啓発する場とする計画で、国土交通省の「かわまちづくり支援制度」の対象事業に認定されている。来年3月に完成予定。

親水空間を設ける工事で水流を一時締め切る必要があるため、魚類を保護するのに合わせて環境調査を行った。

地元の北方西小学校4年の41人と岐阜農林高校環境科学科2年の40人が参加。川で魚を捕まえた後、種別に分けて糸貫川の水質を考察。きれいな水を好むアブラハヤやカワヨシノボリなどが生息していることから、水質が良好であることを学んだ。その後、工事現場下流に放流した。（瀬見井芳信）



| 記入者 | 所属：河川第一係 | 氏名：小原　光博 | 電話番号（内線） | ２７７９ |
|---|---|---|---|---|

| 支援学校名 | 北方町立北方西小学校 | （　2　／　2　） | 関連ページ | １３ページ |
|---|---|---|---|---|

【児童からの手紙】

生態系調査を終えて　　平成　26年　11月　11日

一口感想

学科名 北方西小学校 4年　　名前　宮崎　日菜莉

最初川に入った時水がつめたくて思わずさけんでしまいました。でも時間がたつとなれて楽に作業が行えました。始めはなかなか魚は取れなかったけど、教えてもらったとおりにやってみると取れました。最後糸貫川はきれいな川だと知って嬉しくなりました。この生物保ご活動を終えてこれからは、もっと生き物を大切にしようと思いました。

生態系調査を終えて　　平成　26年　11月　11日

一口感想

学科名 北方西小学校　　名前 川角奈々

いろいろな生物がわかって良かったです。糸貫川はきれいな水だと知って、もっときれいになるようにポイすてをしている人を見たら注意してよびかけていきたいと思います。

| 記入者 | 所属：河川第一係 | 氏名：小原　光博 | 電話番号（内線） | ２７７９ |
|---|---|---|---|---|

| 支援学校名 | 美濃市立牧谷小学校 | （　1　／　2　） | 関連ページ | ３１ページ |
|---|---|---|---|---|

【新聞記事】

# カワゲラ見つけたよ

## 美濃・板取川　牧谷小生が水質調査

美濃市蕨生の板取川で、地元の牧谷小学校五年生十八人が総合学習の一環で、水生生物を観察して川の水質を調べる「カワゲラウオッチング」を行った。

児童は県美濃土木事務所の職員の指導で川に入り、タモやピンセットで石の裏にいる生物を採取。どんな水質の川にすんでいるかを参考写真と照らし合わせて種類分けした。

調査後、汚い川にいる生物もいたが、カワゲラやヒラタカゲロウなどきれいな水にすむ生物が多くいたため川はきれいだと結論づけた。（成田嵩憲）



水生生物を探索する牧谷小学校５年生＝美濃市蕨生の板取川で

平成26年6月21日（土）　中日新聞　中濃版



◇カワゲラウオッチング　美濃市蕨生の牧谷小学校5年生18人が、同校近くの板取川で行った＝写真＝。

地域の環境について学ぶ総合的な学習の一環。児童は、美濃土木事務所職員から指導を受け、たもやピンセットで石の裏に潜む生物を観察した。カワゲラやヒラタカゲロウなど、きれいな川にすむ生物が多く確認された。尾関桃歌さん(10)は「少し汚い川にすむ生物もいたので、板取川が汚くならないよう気を付けたい」と話していた。

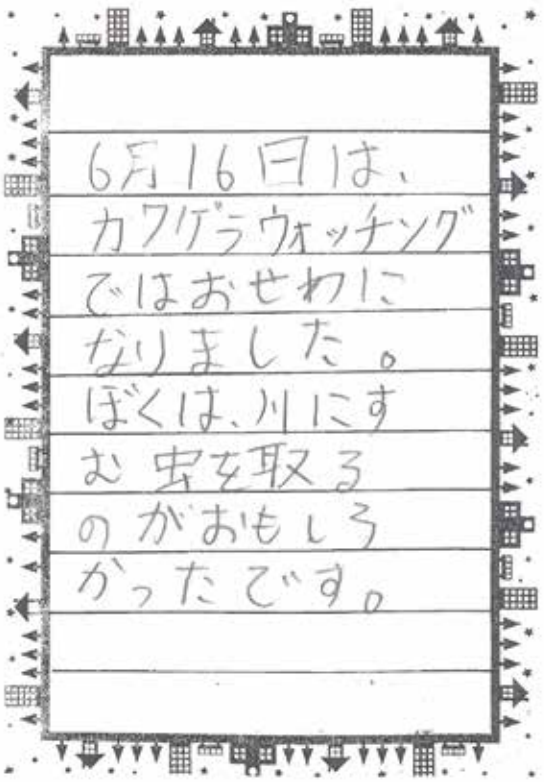
平成26年6月19日（木）　岐阜新聞　中濃版

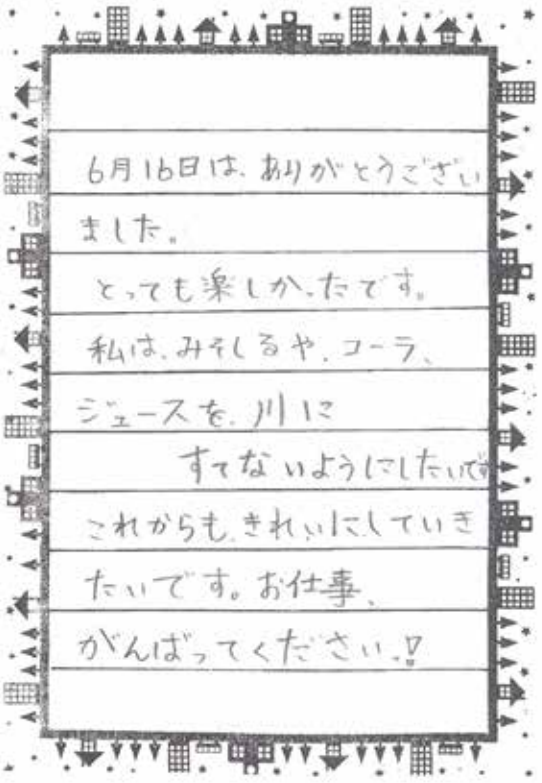
| 記入者 | 所属：河川係 | 氏名：遠藤　協一 | 電話番号（内線） | ３２１ |
|---|---|---|---|---|

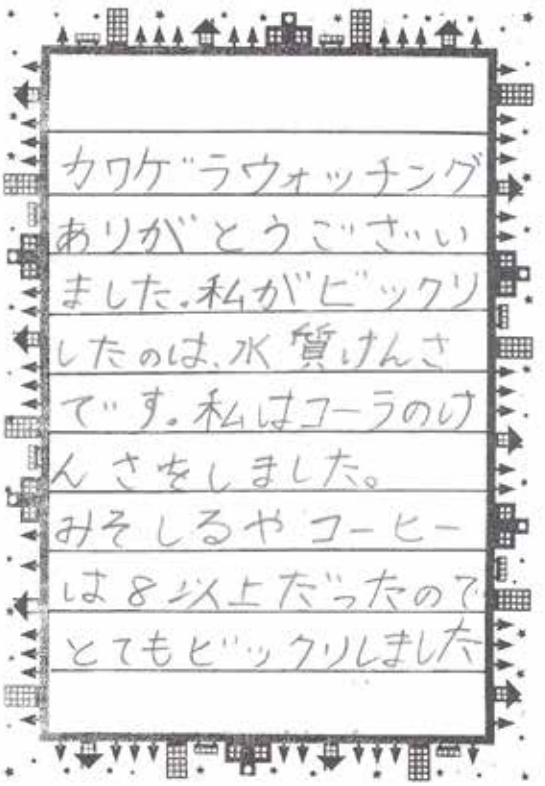
| 支援学校名 | 美濃市立牧谷小学校 | （　２　／　２　） | 関連ページ | ３１ページ |
|---|---|---|---|---|

【児童からの手紙】


わたしは、カワゲラウォッチングをしてみて、意外とたくさんカワゲラがいてよかったけど2匹ヒラタドロムシがいたので、もっと川をきれいにできるようにがんばりたいです。とても楽しかったです。ありがとうございました。


6月16日は、カワゲラウォッチングではおせわになりました。ぼくは、川にすむ虫を取るのがおもしろかったです。


6月16日は、ありがとうございました。
とっても楽しかったです。
私は、みそしるや、コーラ、ジュースを、川にすてないようにしたいです。
これからも、きれいにしていきたいです。お仕事、がんばってください。!


カワゲラウォッチングありがとうございました。私がビックリしたのは、水質けんさです。私はコーラのけんさをしました。みそしるやコーヒーは8以上だったのでとてもビックリしました

| 記入者 | 所属：河川係 | 氏名：遠藤　協一 | 電話番号（内線） | ３２１ |
|---|---|---|---|---|

| 支援学校名 | 関市立博愛小学校 | （　1　／　1　） | 関連ページ | ３４ページ |
|---|---|---|---|---|

【新聞記事】

# 武儀川でカワゲラ発見

## 関市の博愛小児童　水生生物を調査

関市武芸川町高野の博愛小学校5年生34人が1日、近くの武儀川を訪れ、県美濃土木事務所の職員とともに水生生物調査をした。

同校は総合的な学習で「ふるさとの川を守ろう」をテーマに、武儀川の観察や微生物で浄化したプールの水を放流する活動などを続けてきた。今回、県自然工法管理士の資格を持つ職員ら5人を招き、水生生物調査を行った。

児童らは川に入り、浅瀬の石の裏にこびり付いた虫や草むらに隠れた魚をたもなどで捕獲。採集したのは、水がきれいな所にすむカワゲラのほか、コオニヤンマやヒラタドロムシなど。採集した生物を水質で4段階に分けて川のきれいさを判断した。相宮功拓君（11）は「中流域でもカワゲラが見られて、きれいな川だと思った」と話していた。

同事務所職員を招いた環境学習は4日に安桜小（同市いろは町）、16日に富野小（同市西神野）でも開かれる。（亀山大樹）



浅瀬の石の裏に付いた生物を採取する児童ら＝関市武芸川町高野、武儀川

平成26年7月2日（水）　岐阜新聞　中濃版



川べりや底の石を裏返し、ピンセットで水生生物を捕まえる子どもたち＝関市武芸川町の武儀川で

# 水質「ちょっと残念」

## 関の武儀川　児童が生き物調査

川の生き物を集めて水質を調べる「カワゲラウオッチング」が一日、関市武芸川町の武儀川であり、博愛小学校五年生が総合学習の一環で取り組んだ。

児童二十四人は四月から、地元の武儀川を守るため河川環境を学んでいる。今回は、清流の水質や武儀川の特徴を知るため、県美濃土木事務所から河川砂防課職員を招いた。

児童は七班に分かれ、たも網やピンセットを手に川べりや底の石を裏返してカワゲラやヒラタドロムシを集めた。カワゲラは少なく、少し汚い水質に生息する虫が多かった。

生き物を「きれい」「少し汚い」など四種類のトレーに仕分けした高山裕生佳さん（一一）は「ちょっと残念な結果。川の水をどうすればきれいにできるかを考えたい」と話した。

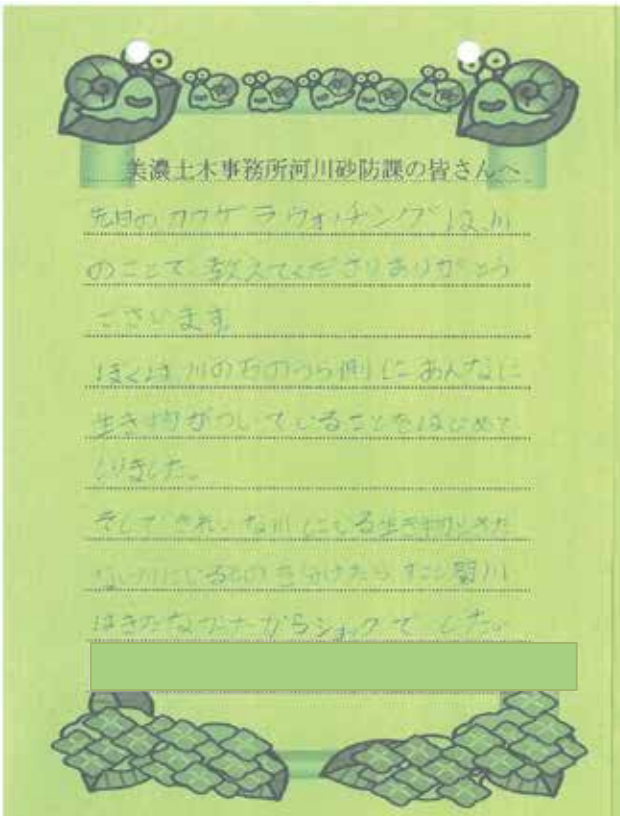
県美濃土木事務所職員が出向くカワゲラウオッチングは、安桜小学校が四日に関川で、富野小学校が十六日に小野川で行われる予定。（成田憲憲）

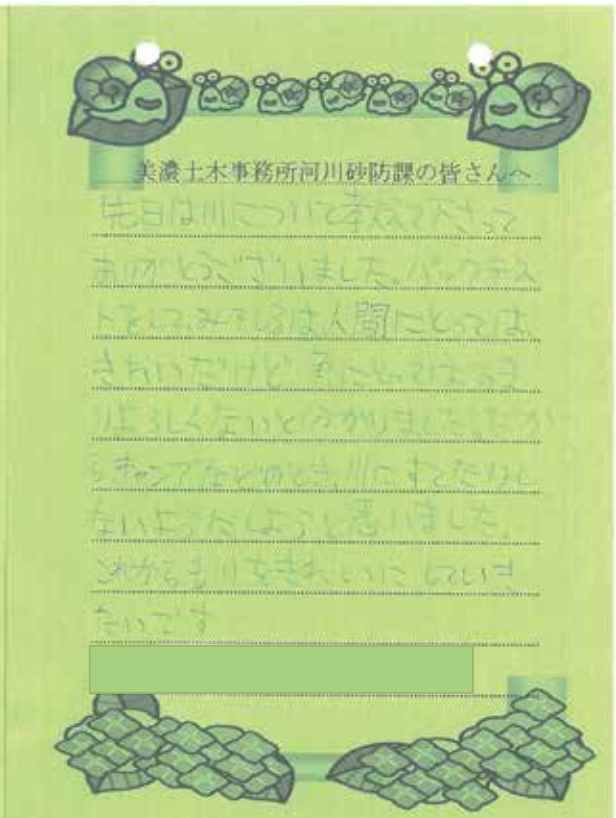
平成26年7月2日（水）　中日新聞　中濃版

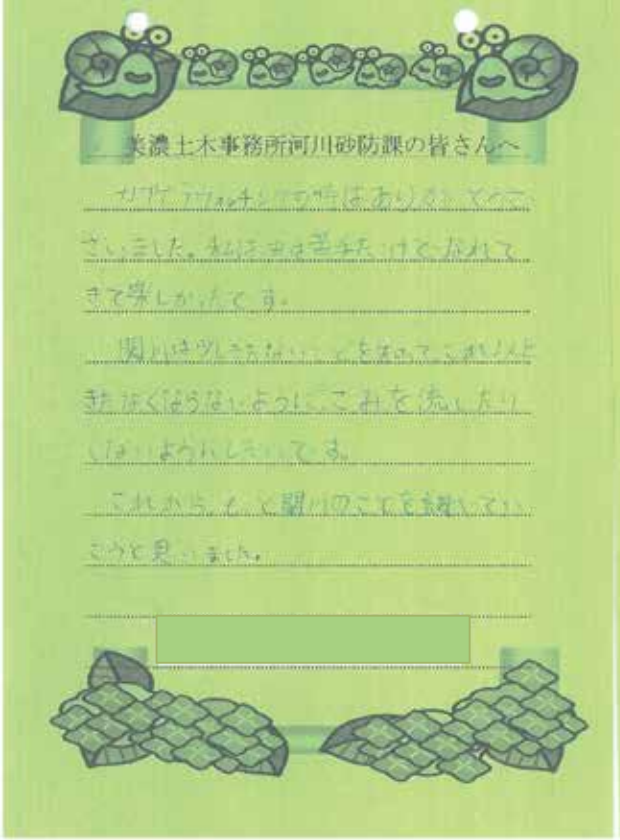
| 記入者 | 所属：河川係 | 氏名：遠藤　協一 | 電話番号（内線） | ３２１ |
|---|---|---|---|---|

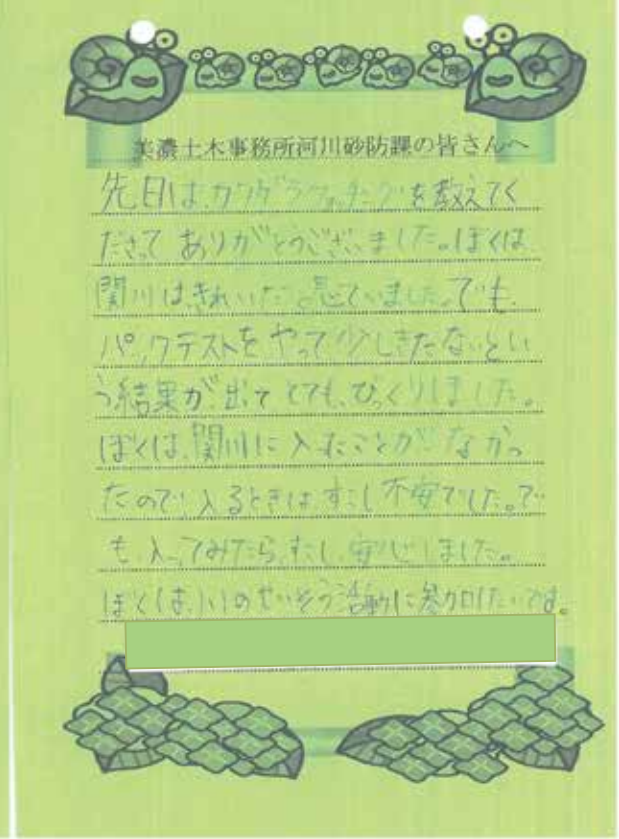
| 支援学校名 | 関市立安桜小学校 | （　1　／　2　） | 関連ページ | ３５ページ |
|---|---|---|---|---|

【児童からの手紙】


美濃土木事務所河川砂防課の皆さんへ
先日のカワゲラウォッチングでは川のことで教えてくださりありがとうございます。
ぼくは川の石の下の方に小さな生き物がいることをはじめて知りました。
そしてきれいな川にも生き物がいないのにはおどろきました。
[redacted]


美濃土木事務所河川砂防課の皆さんへ
先日は川について教えてくださってありがとうございました。パックテストでは、みどりは人間にとっては、さわってだけどそこにはあまりよろしくないとわかりました。たがらチャンプなどのとき川にすてたりしないようにしようと思いました。
これからも川をきれいにしていきたいです
[redacted]

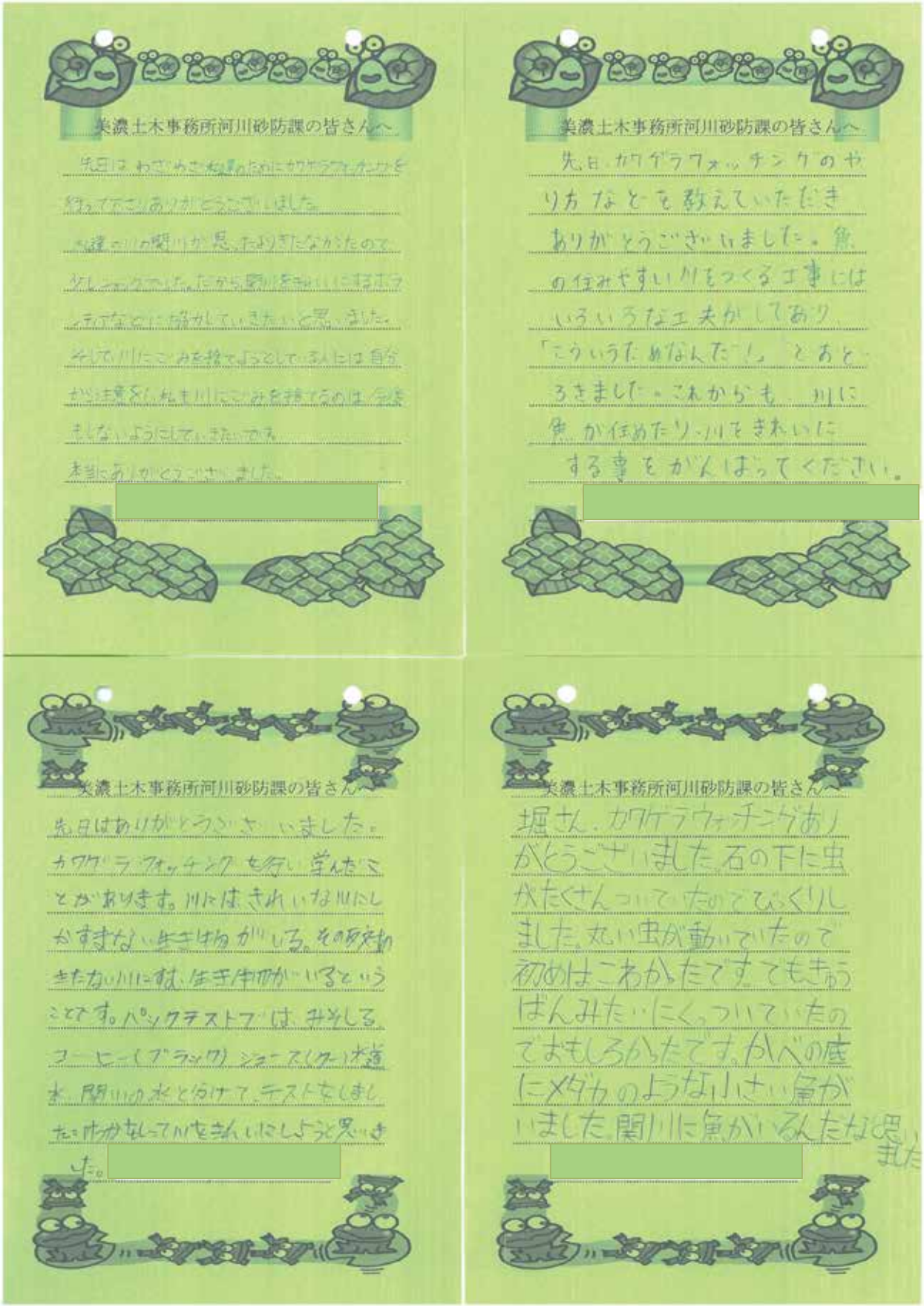

美濃土木事務所河川砂防課の皆さんへ
カワゲラウォッチングの時はありがとうございました。私は虫は苦手だけどふれてきて楽しかったです。
川はゴミなどないことをなのでこれからきたなくならないようにゴミを流したりしないようにしたいです。
これからもっと川のことを調べていこうと思いました。
[redacted]


美濃土木事務所河川砂防課の皆さんへ
先日はカワゲラウォッチングを教えてくださってありがとうございました。ぼくは関川はきれいだと思っていました。でもパックテストをやって少しきたないという結果が出てとてもびっくりしました。
ぼくは関川に入ったことがなかったので入るときはすこし不安でした。でも入ってみたらたのしかったです。
ぼくはこのような活動に参加したいです。
[redacted]

| 記入者 | 所属：河川係 | 氏名：遠藤　協一 | 電話番号（内線） | ３２１ |
|---|---|---|---|---|

| 支援学校名 | 関市立安桜小学校 | （　２　／　２　） | 関連ページ | ３５ページ |
|---|---|---|---|---|

【児童からの手紙】



美濃土木事務所河川砂防課の皆さんへ

先日はわざわざ私達のためにカワゲラウォッチングを行ってくださりありがとうございました。

私達の川は汚いと思っていましたが、カワゲラがいたから思っていたより汚くないと思いました。

そして川にごみを捨てようとしている人には自分がされたらいやだと思うのでごみを捨てるのはやめるようにしていきたいです。

本当にありがとうございました。

美濃土木事務所河川砂防課の皆さんへ

先日、カワゲラウォッチングのやり方などを教えていただきありがとうございました。魚の住みやすい川をつくる工事にはいろいろな工夫があり、「こういうためなんだ！」とあとろきました。これからも川に魚が住めたり川をきれいにする事をがんばってください。

美濃土木事務所河川砂防課の皆さんへ

先日はありがとうございました。カワゲラウォッチングも行い学んだことがあります。川はきれいな川にしおすすめない生き物がいる。その反対きたない川には生き物がいるということです。パックテストでは、みそしるコーヒー（ブラック）ジュース（クリア）炭酸水、関川の水と分けてテストをしました。ゴミがないように川をきれいにしようと思いました。

美濃土木事務所河川砂防課の皆さんへ

堀さん、カワゲラウォッチングありがとうございました。石の下に虫がたくさんついていたのでびっくりしました。丸い虫が動いていたので初めはこわかったです。でもきゅうばんみたいにくっついていたのでおもしろかったです。水べの底にメダカのような小さい魚がいました。関川に魚がいるんだなと思いました。

| 記入者 | 所属：河川係 | 氏名：遠藤　協一 | 電話番号（内線） | ３２１ |
|---|---|---|---|---|

| 支援学校名 | 関市立富野小学校 | （　1　／　1　） | 関連ページ | ３６ページ |
|---|---|---|---|---|

【児童からの手紙】

今日の反省

カワゲラウォッチングがありました。小野川の水はきれいでいてほしかったけど少しきたない水だったのでざんねんです。でもこのおかげでもっときれいにできるように心がけようと思ったし、川で遊ぶときには友達や家族などいっしょにいる人に声をかけたいなと思いました。

今日の反省

今日、小野川でカワゲラウォッチングをしました。虫を見つけました。ひらたどろ虫がいっぱいいてとてもびっくりしました。川によくコーヒーのかんがおちているけどそのコーヒーだけで魚が死んでしまうから今ぼくは、ごみをすててないけどこれからごみをすてないようにしたいです。

今日の反省

今日の3,4時間目のカワゲラウォッチングで話を聞いてから川に入ってさがしたら特にヒラタドロ虫がタクてそのせい虫しはとてもかっこいしました。そのあと結果を調べたら少しきたないだったのでほとしたようながっくりとなったような気がしました。ぼくがはじめてしれた生き物もいたのでよかったです。

今日の反省

今日 カワゲラウォッチングがありました。小野川に入ってたくさんの虫を見つけました。ヒラタドロムシがたくさんいて、小野川は少しきたない水だということが分かりました。最後に実験をしました。コーヒーを1000倍にうすめた水でもほとんど魚が住めたいそうです。だから、コーヒーやお茶などのカンやペットボトルは川にすてずに川をよごさない様にすることを心がけたいです。

| 記入者 | 所属：河川係 | 氏名：遠藤　協一 | 電話番号（内線） | ３２１ |
|---|---|---|---|---|

| 支援学校名 | 関市立金竜小学校 | （　1　／　1　） | 関連ページ | ３７ページ |
|---|---|---|---|---|

【新聞記事】

# 堤防決壊を防ぐ 霞堤の役割学ぶ

関・金竜小児童

堤防の一部を意図的に切って、流域に水を出すことで決壊を防ぐ「霞堤」の役割を学ぶ授業が五日、関市上白金の金竜小学校であった。

同校の校区内にある霞堤を知り、地域の防災意識を高めてもらおうと、県美濃土木事務所の職員が四年生の百二十人に説明。霞堤の歴史や仕組みを解説した後、再現した模型に水を流して効果を実証した。その実験では、霞堤の有無で堤防から水があふれるのにどれだけの時間差があるかを、児童が全員で秒数を数えながら計測。倍近くの時間がかかることを学んだ児童は感心した様子だった。

児童には中濃地区にある霞堤の位置を示した地図も配られた。授業を受けた古川紘聖君（一〇）は「霞堤のおかげで堤防が長く守られていることが分かった」と話した。（大野雄一郎）



伝統的な「霞堤」の模型に水が流れる様子を見つめる児童ら＝関市上白金の金竜小学校で

平成26年9月6日（土）　中日新聞　中濃版

| 記入者 | 所属：河川係 | 氏名：遠藤　協一 | 電話番号（内線） | ３２１ |
|---|---|---|---|---|

| 支援学校名 | 郡上市立大和南小学校 | （　1　／　1　） | 関連ページ | ３９ページ |
|---|---|---|---|---|

【新聞記事】

# “清流”長良川、肌で実感

## 大和南小児童 生き物調査 県職員に水質教わる

郡上市大和町河辺の大和南小学校で12日、川について学ぶ講座が開かれ、4年生16人が県郡上土木事務所の職員4人から清流の大切さなどを教わった。

同事務所ではこれまでダムや砂防えん堤などについて小学生に知ってもらう講座を開いてきたが、川をテーマにしたのは初めて。

講座では「清流の国ぎふ」の基本理念をまとめた「清流の国ぎふ憲章」を示しながら、長良川上流域の身近な川が「宝物」であることを強調。水質検査キットを使って同校近くを流れる粟巣川のきれいさを調った。

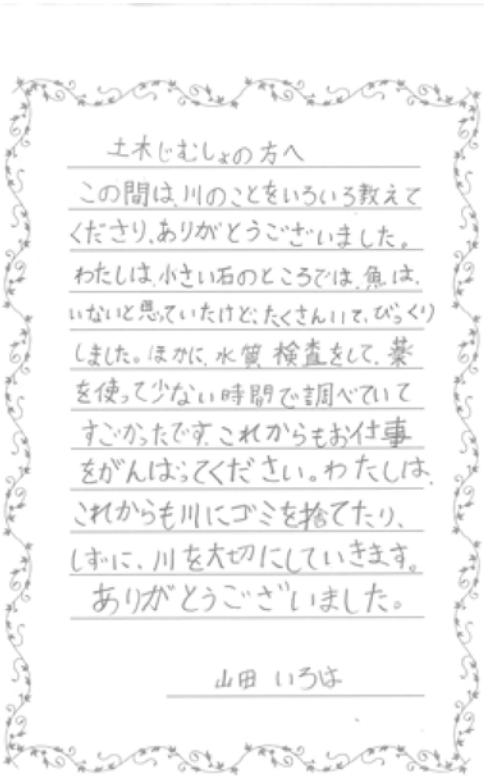
この後、児童たちは実際に粟巣川へ移動。たも網を手に川に入り、石の裏や川床などを探りながら生物を捕まえた。カワヨシノボリやドジョウなどの魚のほか、トビケラやカゲロウなどさまざまな生き物が網にかかり、児童たちは“清流”を肌で実感していた。（古家政徳）



川に入って生き物調査を行う児童たち＝郡上市大和町河辺、粟巣川

平成26年6月14日（土）　岐阜新聞　中濃版

【児童からの手紙】



土木じむしょの方へ

この間は、川のことをいろいろ教えてくださり、ありがとうございました。わたしは、小さい石のところでは、魚は、いないと思っていたけど、たくさんいて、びっくりしました。ほかに、水質検査をして、薬を使って少ない時間で調べていてすごかったです。これからもお仕事をがんばってください。わたしは、これからも川にゴミを捨てたり、しずに、川を大切にしていきます。ありがとうございました。

山田 いろは



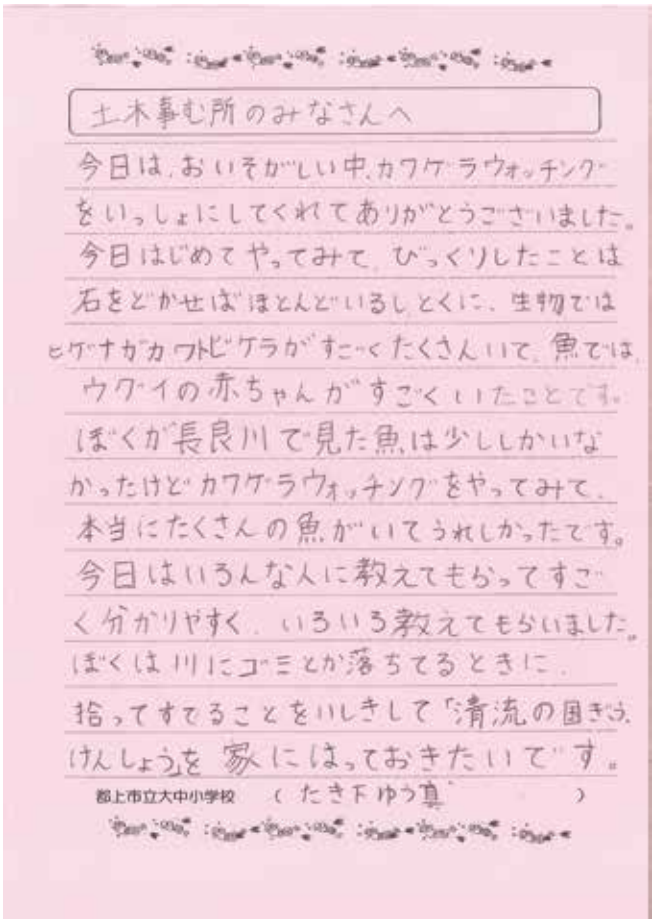
土木じむしょの方へ

この前はぼくたちに、カワゲラウォッチングや水質検査をさせていただきありがとうございました。ぼくはおおさんしょうおを見れたし水の中にいる虫をたくさんつかまえれたのでよかったです。名人なにも前はいなかったけど四人なでがあって分かりやすかったです。あと魚のとりかたなどいろいろ分かったのでそれもよかったです。これからもお仕事をがんばってください。

四年　五子　拓朗より

| 支援学校名 | 郡上市立大中小学校 | （　1　／　1　） | 関連ページ | ４０ページ |
|---|---|---|---|---|

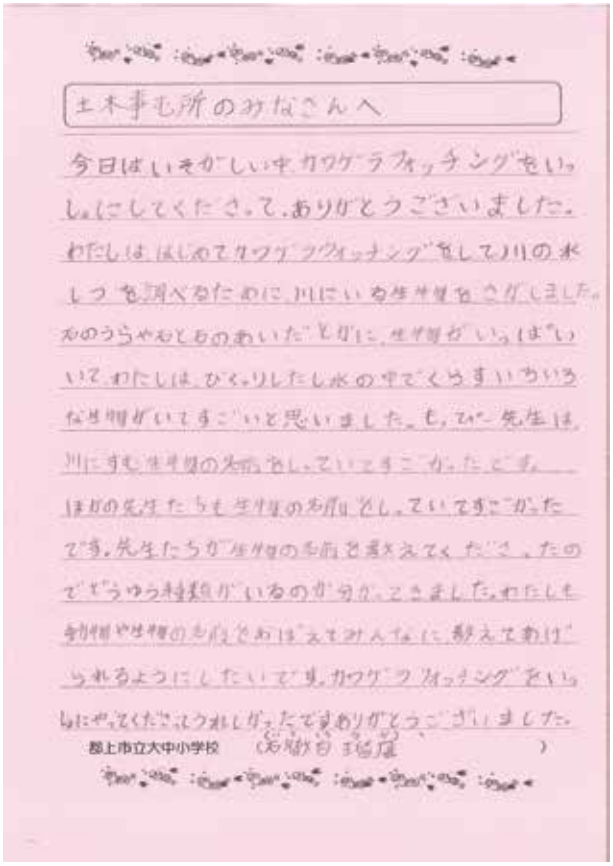
【児童からの手紙】



土木事む所のみなさんへ

今日は、おいそがしい中、カワゲラウォッチング
をいっしょにしてくれてありがとうございました。
今日はじめてやってみて、びっくりしたことは
石をどかせばほとんどいるし、とくに、生物では
ヒゲナガカワトビケラがすごくたくさんいて、魚では
ウグイの赤ちゃんがすごくいたことです。
ぼくが長良川で見た魚は少ししかいな
かったけどカワゲラウォッチングをやってみて、
本当にたくさんの魚がいてうれしかったです。
今日はいろんな人に教えてもらってすご
く分かりやすく、いろいろ教えてもらいました。
ぼくは川にゴミとか落ちてるときに、
拾ってすてることをいしきして「清流の国ぎふ」
けんしょうを家にはっておきたいです。

郡上市立大中小学校　（たき下ゆう真　）



土木事む所のみなさんへ

今日はいそがしい中カワゲラウォッチングをいっ
しょにしてくださって、ありがとうございました。
わたしははじめてカワゲラウォッチングをして川の水
しつを調べるために川にいる生物をさがしました。
石のうらやむこうのあいだなどに、生物がいっぱい
いて、わたしはびっくりしました。水の中でくらすいろい
ろな生物がいてすごいと思いました。もし、先生は
川にすむ生物の名前をしっていてすごかったです。
ほかの先生たちも生物の名前をしっていてすごかった
です。先生たちが生物の名前を教えてくださったので
どういう特徴がいるのか分かりました。わたしも
生物や生物の名前をおぼえてみんなに教えてあげ
られるようにしたいです。カワゲラウォッチングをいっ
しょにやってくださってうれしかったです。ありがとうございました。

郡上市立大中小学校　（石原日菜陽　）

| 記入者 | 所属：河川係・砂防係 | 氏名：三宅伸也・森田茂樹・矢代輝彦 | 電話番号（内線） | ３４３ |
|---|---|---|---|---|

| 支援学校名 | 七宗町立神渕小学校 | （ 1 ／ 1 ） | 関連ページ | ４３ページ |
|---|---|---|---|---|

【新聞記事】



神渕川で水生生物を調査する神渕小児童たち＝七宗町神渕

# カワゲラいるかな？

## 神渕小児童が川の生物調査

### サワガニなど見つける

七宗町神渕の神渕小学校で29日、「川をきれいに」をテーマにした環境学習が行われ、4年生13人が学校前を流れる神渕川で水生生物調査（カワゲラウオッチング）に取り組んだ。（足立泰弘）

県可茂土木事務所が川を題材に「総合的な学習の時間」に取り組んでいる管内の小中学校を支援する一環で実施。教室で同事務所河川砂防課の高橋君治係長から川の環境によって生息する生物に違いがあることを教えてもらい、同川と水道水など4種の水質テストをした。

児童らは3班に分かれて生物調査。石の裏などに生息している生物を追い出し、たも網で捕らえて、生物図鑑などで名前を確認した。

調査地点は同川の中流域に当たり、環境省などが定めた水のきれいさを示す4段階の指標生物では、一番きれいな水にすむヒラタカゲロウの幼虫やサワガニが多く、2番目にきれいな指標のコオニヤンマの幼虫も見られた。

平成26年5月30日（金）　岐阜新聞　中濃版

## 神渕小児童の総合学習支援

可茂土木

岐阜県可茂土木事務所は5月29日、七宗町立神渕小学校の児童を対象に川を題材にした総合学習支援を行った＝写真。環境学習には4年生全員13人が参加した。当日は学校近くを流れる神渕川に入り、カワゲラウオッチングを行い生息種で水のきれいさが分かることなどを学んだ。

また室内学習では「川をきれいに」をテーマに、川の生き物の生態系や水質テスト（COD検査）を行い河川環境に対する理解を深めた。

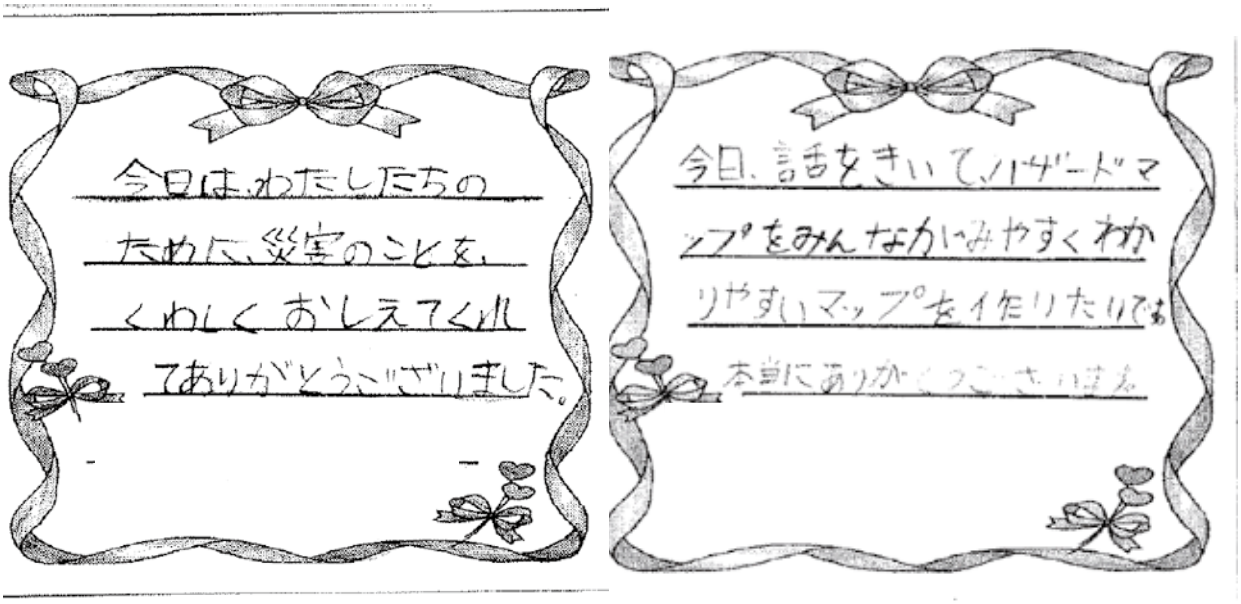


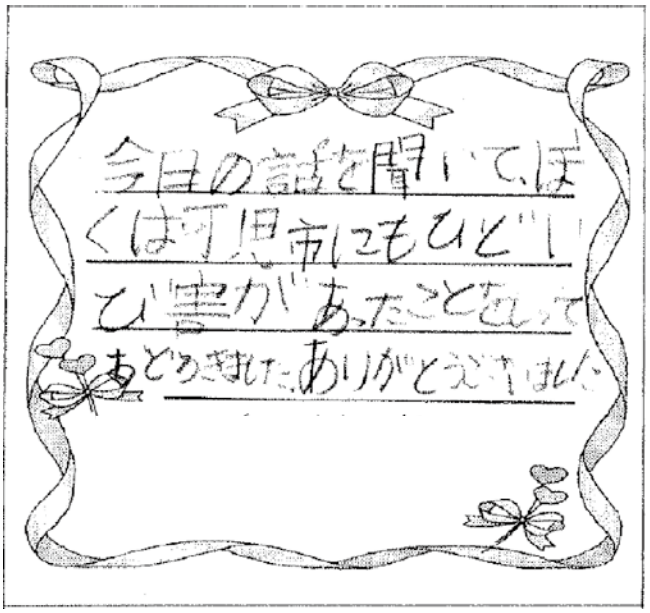
平成26年6月11日（水）　建通新聞

| 記入者 | 所属：河川砂防係 | 氏名：宮崎　啓行 | 電話番号（内線） | ３２５ |
|---|---|---|---|---|

| 支援学校名 | 可児市立広見小学校 | （　1／　1　） | 関連ページ | ４４ページ |
|---|---|---|---|---|

【児童からの手紙】

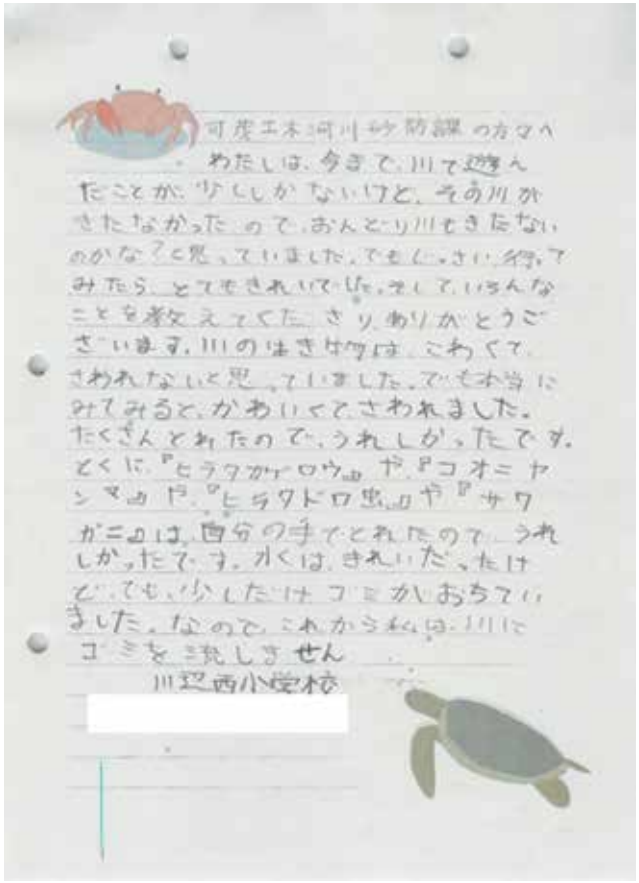


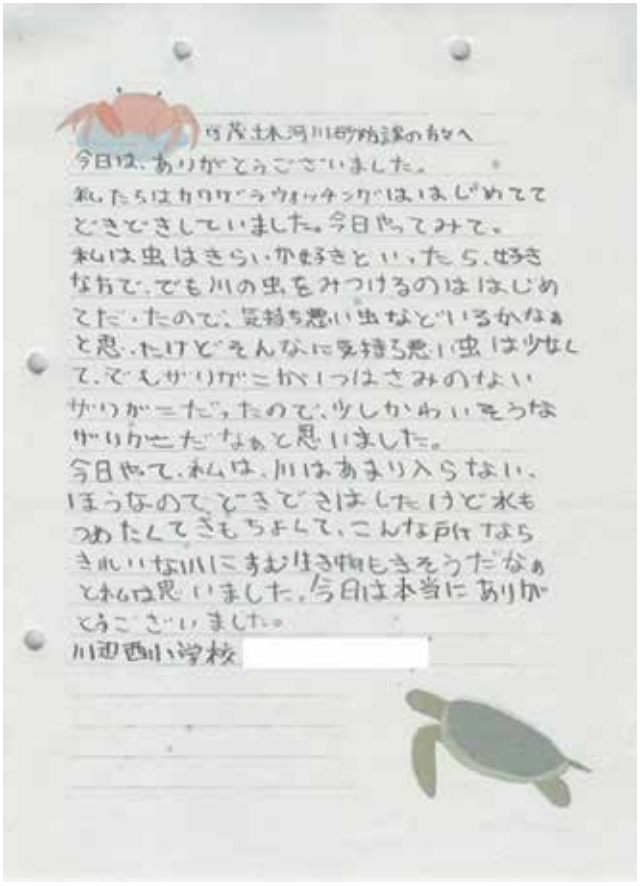

| 記入者 | 所属：河川砂防係 | 氏名：宮崎　啓行 | 電話番号（内線） | ３２５ |
|---|---|---|---|---|

| 支援学校名 | 川辺町立川辺西小学校 | （ 1 ／ 1 ） | 関連ページ | ４６ページ |
|---|---|---|---|---|

【児童からの手紙】



可茂土木河川砂防課のかたへ
わたしは、今まで、川で遊んだことが、少ししかないけど、その川がきたなかったので、おんどり川もきたないのかな？と思っていました。でも、さい初、てをみたら、とてもきれいでした。そして、いろんなことを教えてくださり、ありがとうございます。川のはき物は、こわくて、さわれないと思っていました。でもお当にみてみると、かわいくてさわれました。たくさんとれたので、うれしかったです。とくに『ヒラタカゲロウ』や『コオニヤンマ』や『ヒラタドロ虫』や『サワガニ』は、自分の手でとれたので、うれしかったです。水は、きれいだったけど、でも、少したけゴミがおちていました。なので、これから私は、川にゴミを流しません。
川辺西小学校



可茂土木河川砂防課のかたへ
今日は、ありがとうございました。
私たちはカワゲラウォッチングがはじめてできでさしていました。今日やってみて。
私は虫はきらいかも好きといったら、好きなほうで、でも川の虫をみつけるのははじめてだったので、気持ち悪い虫などいるかなぁと思ったけどそんなに気持ち悪い虫は少なくて、でもがりがりかにがいっぱいさみのないがりがりだったので、少しかわいそうながりがりだなぁと思いました。
今日やって、私は、川はあまり入らないほうなので、できでさはしたけど水もつめたくてさむくて、こんな所ならきれいな川にすむ生き物もきそうだなぁと私は思いました。今日は本当にありがとうございました。
川辺西小学校

| 記入者 | 所属：河川砂防係 | 氏名：宮崎　啓行 | 電話番号（内線） | ３２５ |
|---|---|---|---|---|

| 支援学校名 | 美濃加茂市立山手小学校 | （　１／　１　） | 関連ページ | ５０ページ |
|---|---|---|---|---|

【新聞記事】

可茂土木

## 山手小で防災学習

### 児童ら90人が参加

岐阜県可茂土木事務所は9日、美濃加茂市の山手小学校で防災を題材にした総合学習を行った＝写真。同事務所が行う管内小中学校の「総合的な学習時間」の支援活動。5年生全員（90人）が参加した。



1983年に美濃加茂市、可児市、坂祝町、八百津町で発生した木曽川越水氾濫（9・28豪雨災害）による豪雨災害の教訓を子どもたちに継承し、防災意識を深めることを目的に行った。

可茂土木事務所河川砂防課の職員2人が、当時の被災写真などを使って災害の原因や災害から身を守るための注意事項、対策工事などを説明した。

平成27年2月17日（火）　建通新聞

| 記入者 | 所属：河川砂防係 | 氏名：宮崎　啓行 | 電話番号（内線） | ３２５ |
|---|---|---|---|---|

| 支援学校名 | 瑞浪市立釜戸小学校 | （　1　／　1　） | 関連ページ | ５５ページ |
|---|---|---|---|---|

【新聞記事】

# 土岐川の環境知ろう

瑞浪　釜戸小児童が水質調査



職員らの指導で生き物を捕まえる児童たち＝瑞浪市で

地元を流れる川の環境を知ろうと、瑞浪市釜戸町の釜戸小学校五年生二十八人が四日、学校近くの土岐川で水質調査に取り組んだ。

総合学習の一環。土岐川観察館（多治見市平和町）と県多治見土木事務所の職員計六人が講師を務めた。

児童たちはたもを手に川に入り、三十分かけてカワヨシノボリやコオニヤンマ、アジメドジョウなどを捕まえた。酸性・アルカリ性の程度を示すｐＨや、生息する生物の傾向を調べた結果、環境省が定める水質基準で上位から二番目の評価だった。

調査後、観察館の宮島弘佳館長（六二）が「釜戸の豊かな自然を大切にしてほしい」と呼び掛けた。（中川耕平）

平成26年6月5日（木）　中日新聞　東濃版

| 記入者 | 所属：河川砂防係 | 氏名：遠藤　栄亮 | 電話番号（内線） | ３２０ |
|---|---|---|---|---|

| 支援学校名 | 恵那市立大井小学校 | （　1　／　1　） | 関連ページ | ７０ページ |
|---|---|---|---|---|

【新聞記事】



たもを使い、川の中の生物を捕る児童ら＝恵那市大井町、横町川

# カニやトンボ確認

## 大井小児童ら　横町川で生物調査

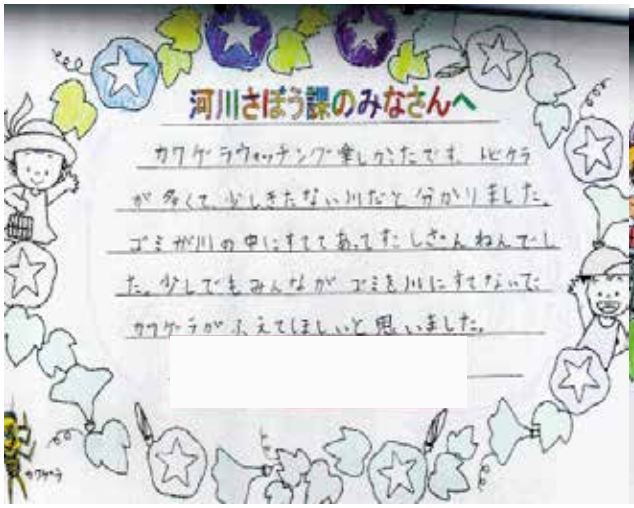
恵那市大井町の大井小学校児童が1日、学校の近くを流れる横町川で、水生生物調査を行った。

環境をテーマにした総合学習の一環。4年1組と特別支援学級の児童28人は、県恵那土木事務所の職員から、きれいな川に生息する水生生物などについて説明を受けた後、川に入った。

児童らは、たもで岸の草むらを探ったり、川の中の大きな石を裏返したりして、見つけた生物をバケツに入れていた。15種類計14匹の生物を捕獲して調べた結果、きれいな川にすむミズカマキリなどを確認した。出口愛翼さん(9)は「川でんの種類の生物がいることがわかった」と話した。（長岡剛久）

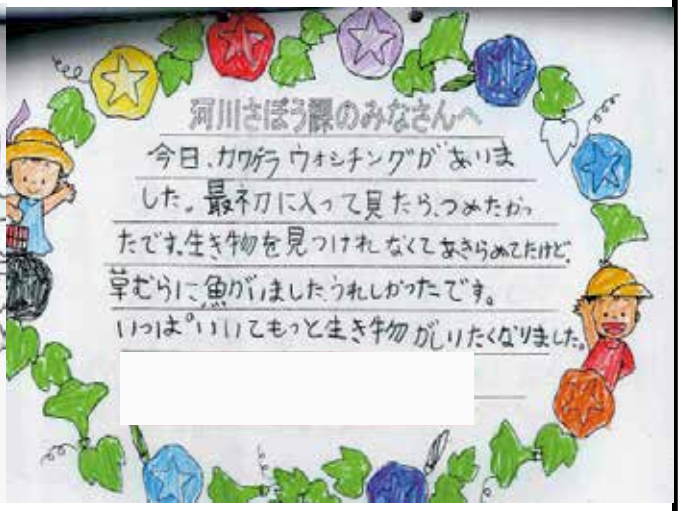
平成26年7月2日（水）　岐阜新聞　東濃版

【児童からの手紙】



河川さぼう課のみなさんへ

カワゲラウォッチング楽しかったです。ヒゲラが多くて、少しきたないかなと分かりました。ゴミが川の中にすてて あってしさんねんでした。少しでもみんなが ゴミを川にすてないでカワゲラがふえてほしいと思いました。



河川さぼう課のみなさんへ

今日、カワゲラウォッチングがありました。最初に入って見たら、つめたかったです。生き物を見つけれなくてあきらめてたけど、草むらに魚がいましたうれしかったです。いつは°いいてもっと生き物がしりたくなりました。

| 記入者 | 所属：河川係 | 氏名：市川　裕規 | 電話番号（内線） | ３４７ |
|---|---|---|---|---|

| 支援学校名 | 高山市立清見小学校 | （　1　／　2　） | 関連ページ | ７８ページ |
|---|---|---|---|---|




残暑　お見舞い申し上げます

敬具

先般は、貴重な時間をあけて、川上川でのカワゲラ・ウォッチングを開催してくださりありがとうございました。

四年生の子どもたちは、日常生活では見かけない水中の生き物に興味津々、講師の先生方にもすぐにうち解けて、カワゲラウォッチングを楽しむことができました。また、水中生物の捕獲の仕方から安全面への配慮まで、温かく子どもたちを見守っていただけたことに心より感謝しています。

これまで、子どもたちは、カワシンジュカイの調査をしたり、ギフチョウの飼育から羽化までの観察をしました。また、大倉滝での自然観察会等を通して、清見町には、美しい自然がいっぱいあることを学んできました。

でも、川上川には、アユやイワナなどの魚がいることは知っているけど、その他に、どのような生き物がいるのかは、あまり知りませんでした。

でも、今回の体験学習を通して、川上川には、カワゲラやトビゲラなど、今まで見たこともない知らない生き物が沢山生息している事を初めて知って、驚いていました。また、河川環境を学ぶ中で、土石流の恐ろしさや、河川護岸工事の意義を学ぶこともできました。

今回の学習では、「疑問→課題→調査→分類→結論」という学習過程を通して、学び方を学ぶ貴重な体験にもなりました。また、仲間と共に活動する中で、協力して活動することの喜びを味わうこともできました。ありがとうございました。

最後に、河川砂防課の皆さまの益々のご健勝とご多幸をお祈りしつつ、お礼の手紙とさせていただきます。　まだまだ、暑い日が続きますがどうぞ、ご自愛ください。

敬具

平成二十六年八月七日

高山市立清見小学校
四年担任　溝端　孝之

高山土木事務所　河川砂防課
飯島　悠甲様

| 記入者 | 所属：河川砂防係 | 氏名：飯島　悠甲 | 電話番号（内線） | ３８２ |
|---|---|---|---|---|

| 支援学校名 | 高山市立清見小学校 | （　2　／　2　） | 関連ページ | ７８ページ |
|---|---|---|---|---|

【児童からの手紙】



カワゲラウオッチングの先生方へ

4年（学年）1組（組）　名前（　　）

こんにちは、この前は川の虫のことをいろいろ教えてくださってありがとうございました。おかげで川の虫のことがよく分かりました。飯島先生は、川の虫のことをよく教えてくれたりして、最後は山や川のことを教えてくれました。とてもうれしかったです。今藤先生は飯島先生と同じで、川の虫のことを教えてくれました。うれしかったです。渡なべ先生は、実験をさせてくれました。おもしろかったです。ぼくは川の事故にあわないように気をつけたいです。





| 記入者 | 所属：河川砂防係 | 氏名：飯島　悠甲 | 電話番号（内線） | ３８２ |
|---|---|---|---|---|

| 支援学校名 | 飛騨市立古川西小学校 | （　1　／　1　） | 関連ページ | ８３ページ |
|---|---|---|---|---|

【新聞記事】

# 宮川でカワゲラ観察

## 古川西小　児童らが環境学習

飛騨市古川町の古川西小学校の四年生が、学校近くの宮川で、水生昆虫のカワゲラを探す環境学習に取り組んだ。

四年生は社会科の授業で上下水道の役割を学んでおり、さらに水への理解を深めようと実施した。

県と市の環境課、古川土木事務所の職員が指導役を務めた。網を手にした児童は浅瀬に入り、きれいな水質の指標になるカワゲラやカゲロウの幼虫などを見つけ、ケースに入れて熱心に観察。場所によっては、よどんだ川にいるタニシなども見つかった。



学校近くの宮川で水生昆虫のカワゲラを探す児童ら＝飛騨市古川町で

平成26年10月2日（木）中日新聞　飛騨版

| 記入者 | 所属：河川砂防係 | 氏名：吉村　優一 | 電話番号（内線） | ２６３ |
|---|---|---|---|---|

| 支援学校名 | 飛騨市立古川西小学校 | （　1　／　1　） | 関連ページ | ８４ページ |
|---|---|---|---|---|

【配布資料】




【新聞記事】



伝統の堤防 役割学ぶ

古川西小 土木事務所が授業

平成２６年１１月２０日（木）中日新聞　飛騨版



防災の知恵、先人に学ぶ

古川西小で河川砂防教室

霞堤の有効性を実験

平成２６年１１月２０日（木）岐阜新聞　飛騨版

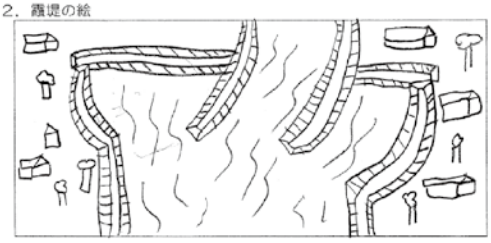
【児童からの手紙】

防災教室を受けて　11月19日
古川西小学校　5年 1組　名前

1．感想

ぼくは、かすみていは、とても役に立っている人だなぁと思いました。わけは、かすみていは、形は変だけど今までに人を何人も守っているから、役に立っていると思いました。
実けんをして思ったことは、ぼくは、今後社会人になって、かすみていの所には家をたてないようにしたいです。わけはかすみていの所に家をたてると水がきて死んでしまうからです。

2．霞堤の絵

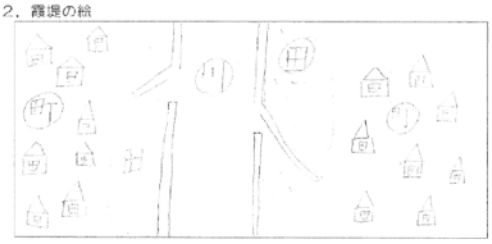


防災教室を受けて　11月19日
古川西小学校　5年 2組　名前

1．感想

私は堤防の役割を改めて分かりました。そして初めて聞いたかすみ堤のことがよく分かったので良かったです。かすみ堤の働きがすごいことが分かりました。昔、西小学校の辺に水害があったけれども、かすみ堤がなかったら大洪水になってしまうことがこわかったです。かすみ堤のおかげで町の人々達を守れることがすごいなあと思いました。前は堤防だけで村や町を守れるのかぎもんに思っていたけど今映像でみてかすみ堤のすごさや、人の命を守ってくれる大切なものということが勉強になりました。

2．霞堤の絵

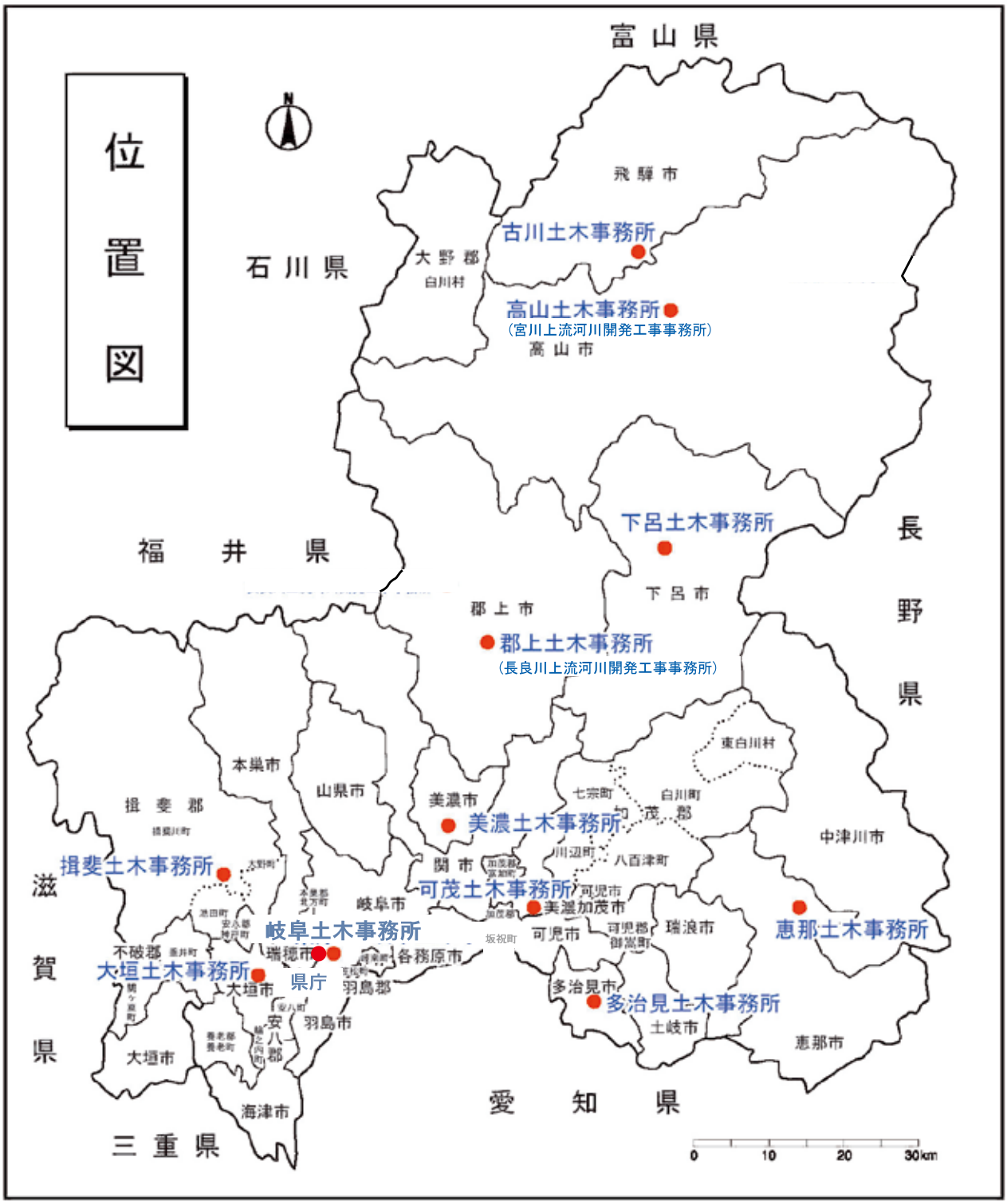


| 記入者 | 所属：河川砂防係 | 氏名：吉村　優一 | 電話番号（内線） | ２６３ |
|---|---|---|---|---|

# 支　援　窓　口　一　覧　表

## 岐　阜　県　管　内　図

平成２７年３月３１日現在



平成27年3月31日現在

| 所属 | 課、担当 | TEL<br>FAX | 所管市町村名 | 所在地 |
|---|---|---|---|---|
| 県土整備部 | 河川課 | 058-272-1111<br>058-278-2753 | 県下全域 | 〒500-8570<br>岐阜市薮田南2－1－1<br>岐阜県庁内 |
| 県土整備部 | 砂防課 | 058-272-1111<br>058-278-2755 | 県下全域 | 〒500-8570<br>岐阜市薮田南2－1－1<br>岐阜県庁内 |
| 岐阜土木事務所 | 河川砂防課<br>河川第一係<br>河川砂防課<br>河川第二係<br>河川砂防課<br>砂防係 | 058-215-0978<br>058-215-0979<br>058-278-0052 | 岐阜市、羽島市、各務原市、山県市、瑞穂市、本巣市、岐南町、笠松町、北方町 | 〒500-8384<br>岐阜市薮田南5-14-53<br>ふれあい福寿会館内 |
| 大垣土木事務所 | 河川砂防課<br>河川係<br>河川砂防課<br>砂防係 | 0584-73-1111<br>0584-82-4960 | 大垣市、垂井町、関ヶ原町、神戸町、安八町、輪之内町、海津市、養老町 | 〒503-0838<br>大垣市江崎町422-3<br>西濃総合庁舎内 |
| 揖斐土木事務所 | 河川砂防課<br>河川砂防係 | 0585-23-1111<br>0585-23-1105 | 揖斐川町、大野町、池田町 | 〒501-0603<br>揖斐郡揖斐川町上南方1-1<br>揖斐総合庁舎内 |
| 美濃土木事務所 | 河川砂防課<br>河川係<br>河川砂防課<br>砂防係 | 0575-33-4011<br>0575-33-4901 | 関市、美濃市 | 〒501-3756美濃市生櫛1612-2<br>中濃総合庁舎内 |
| 郡上土木事務所 | 河川砂防課<br>河川係<br>河川砂防課<br>砂防係 | 0575-67-1111<br>0575-65-4966 | 郡上市 | 〒501-4292<br>郡上市八幡町初音1727-2<br>郡上総合庁舎内 |
| 可茂土木事務所 | 河川砂防課<br>河川砂防係 | 0574-25-3111<br>0574-25-0355 | 美濃加茂市、可児市、坂祝町、富加町、川辺町、七宗町、八百津町、白川町、東白川村、御嵩町 | 〒505-8508<br>美濃加茂市古井町下古井大脇2610-1<br>可茂総合庁舎内 |
| 多治見土木事務所 | 河川砂防課<br>河川砂防係 | 0572-23-1111<br>0572-25-7224 | 多治見市、土岐市、瑞浪市 | 〒507-8708<br>多治見市上野町5-68-1<br>東濃西部総合庁舎内 |
| 恵那土木事務所 | 河川砂防課<br>河川係<br>河川砂防課<br>砂防係 | 0573-26-1111<br>0572-26-0417 | 中津川市、恵那市 | 〒509-7203<br>恵那市長島町正家後田1067-71<br>恵那総合庁舎内 |
| 下呂土木事務所 | 河川砂防課<br>河川砂防係 | 0576-52-3111<br>0576-52-1948 | 下呂市 | 〒509-2592<br>下呂市萩原町羽根2605-1<br>下呂総合庁舎内 |
| 高山土木事務所 | 河川砂防課<br>河川砂防係 | 0577-33-1111<br>0577-33-1086 | 高山市(旧国府町、上宝村を除く)、白川村 | 〒506-8688<br>高山市上岡本町7-468<br>飛騨総合庁舎内 |
| 古川土木事務所 | 河川砂防課<br>河川砂防係 | 0577-73-2911<br>0577-73-3346 | 飛騨市、高山市(旧国府町、上宝村) | 〒509-4263<br>飛騨市古川町上野617-1 |

## 清流の国ぎふ憲章

～豊かな森と清き水　世界に誇れる　我が清流の国～

「清流の国ぎふ」に生きる私たちは、

知　清流がもたらした自然、歴史、伝統、文化、技を知り学びます

創　ふるさとの宝ものを磨き活かし、新たな創造と発信に努めます

伝　清流の恵みを新たな世代へと守り伝えます

平成26年1月31日「清流の国ぎふ」づくり推進県民会議

平成２６年度版　川を題材とした
総合的な学習の時間活動事例集

平成２７年３月発行

編集・発行　岐阜県県土整備部河川課・砂防課

〒500-8570　岐阜市薮田南２－１－１
ＴＥＬ　058-272-1111（代表）
ＦＡＸ　058-278-2753（河川課）
ＵＲＬ　http://www.pref.gifu.lg.jp/kendo/michi-kawa-sabo/kasen/
ＭＡＩＬ　c11652@pref.gifu.lg.jp（河川課）

協　賛　岐阜県河川協会
岐阜県砂防協会